主動的措置にあらず 已むを得ぬ匪賊討伐
日支衝突を豫防し隱忍自重
帝國政府聲明要旨

【東京二十七日發】犬養内閣の滿洲事變に對する第一次帝國政府聲明書は本日午後發表された要旨左の如し

一、滿蒙に於ける治安の維持は帝國政府の常に最も重要視するところにして政府に於ては從來各般の機會に同地方の康寧を保持し且つこれが軍閥爭亂の巷と化するを防ぐため百方適法の手段を講じ來れり

二、錦州方面に於ける第三國武官中支那側に於て何等攻擊の準備をなし居る證左爲しとの報告をなし居る者あるも錦州軍憲が打虎山以西北寧線上及その附近の奥地に巨大なる兵力を養ひ居るは明かにして我軍の周密なる偵察によればこれ等軍隊が錦州其他に着々兵備を整へ居る證跡顯著なるものあるのみならずその前衛部隊を錦州より遙かに東方に在る田庄臺、泰安、白旗堡等遼河右岸の各地を貫く線に配置し居ること確實なり、而して右事態が滿鐵沿線その他數地に分散駐屯せる我滿洲部隊に對する不斷の脅威たるは何人も首肯し得べく殊に北寧線を利用するに於いては打虎山、奉天間及溝幇子、河北間は近々三、四時間内に到着し得べき近距離に在るの事實は該脅威の甚大なるを示すものなり一方前記馬賊等は近時錦州軍多數將卒の改編せられたるものを含みその活動の規模急速に增大し居り馬賊等不逞分子の跳梁に對し我軍討伐を行へば馬賊は逸早く遼西に逃入し我軍を奔命に疲らしむるものあり、而して我軍これを追跡せざりしは錦州正規軍との衝突を避けんがためなり

三、然るに偶々十一月二十四日顧維鈞外交部長より在支列國公使に支那側は山海關以西に撤退するの用意ある旨告げたり、よつて帝國政府は主義上贊成すると共に帝國公使及北平の帝國代表者をして顧部長、張學良にその話合を進めんとせるも顧部長は途中より申出を飜へしたり又學良は十二月七日自發的に撤退すべしと聲明したるもこれを實行せず却つて同方面の兵備を嚴にし居る實狀なり

四、錦州地方撤兵問題に關する交渉開始せられて以來既に約一ケ月に及べるも支那の不誠意なる態度により何等效果を擧げ得べき前途の見透さへつかざる間に前記の如く賊團の活躍益々猖獗を極め來り遂には南滿洲に於ける全般的治安の根底的破綻を招來するの惧れある時代を現出せるにより最近我軍は一齊に出動して從來より比較的大規模の賊團討伐に着手するの止むを得ざるに至れる處我軍に於いて賊團討伐の徹底を期せんがためにはその根據たる遼西方面に進出せざるを得ざる事前述の事情に徵し瞭かなり素より我軍は九月三十日及び十二月十日理事會決議の趣旨に反し好んで支那正規兵に對し攻擊を加ふるが如き主動的措置に出で居るものに非ざること勿論なるも他面匪賊等の討伐に至りては滿蒙現下の特殊狀況に鑑み日本軍に於て引續きこれを行はざるを得ざるところにして右は十二月十日理事會決議採擇の際我代表に於て明確に保留せるところなり

五、帝國政府は聯盟規約、不戰條約その他各種條約及び今次事件に關する理事會兩度の決議を忠實に遵守せむことを期するものにして錦州軍憲の組織的治安攪亂に對する本國民の憤激は甚だしきものありたるにかゝはらず一ケ月の永きに亘り帝國軍に於て該方面に對する匪賊討伐の自由を抑制しその間政府に於いてあらゆる手段を盡し右討伐實行の際惹起することあるべき日支兩軍の衝突を豫防するに努めたる精神誠意と隱忍自重とは全く前記諸條約及び決議に基く義務に忠實ならむとする精神に出でたるものなること必ず世界輿論の認識を得べきを信ず

御裁可を仰いで發令
二宮參謀次長が參内

【東京二十七日發】陸軍では兵匪の暴虐その度を加へ關東軍現在の兵力では軍本來の目的遂行不可能の狀態に陷つたので二十七日午前十時二宮參謀次長は建川作戰部長以下各部長、關係課長等と鳩首熟議の結果增兵に一決取敢ず朝鮮部隊を充當することゝなり荒木陸相は閣議の承認を經たので二宮參謀次長は午後六時參謀總長代理として宮中に參内左の如く御裁可を經て發令された

關東軍兵力增加の件
十二月二十七日陸軍省發表

最近滿洲に於ける支那正規軍及兵匪は錦州政權の統制指導の下に義勇軍及救國軍に改編せられその勢力強大にして戰鬪能力頓に激增し滿鐵本線を脅威し安奉線を襲擊して鐵道橋を破壞し從業員を殺戮するの暴擧を敢てせり、これ等不安の情勢は日を逐ふて熾烈を加ふるに至るべきを以て今に於て鐵道の守備を嚴ならしむると共に他面速かに遼西方面の匪賊掃蕩を敢行するにあらざれば全滿洲の治安は困難を加へるは明かなり、よつてこの際速かに朝鮮軍より師團司令部及混成約一旅團を一時關東軍に增加せしむることゝなり本日午後六時上奏御裁可の上發令せられたり

遼西一帶の兵匪を愈よ掃滅する
全滿各地の不安募る

面この十八日頃からは別働隊の移動を命じ義勇軍白玉巖の部下五百名が盤山、大石橋間をクロスしたのを始め抗日鐵血團その他の兵匪をして盛んに滿鐵本線を突發せしめその數約二萬と云はれ、滿鐵本線並に安奉沿線に出沒し或は驛を襲ひ從業員を殺戮しわが軍の後方攪亂を企て更に一方馬占山、于芷山の軍に對しては日本軍恐るゝに足らず一戰以て潰滅せんと豪語し居るので兩軍の旗幟また鮮明ならず油斷のならない形勢にあり、地方民までがその宣傳に乘せられ稍もすれば皇軍の出動を誤解するので軍では近く皇軍出動の使命を判然認識させる爲め何かの對抗策を採る事となつた、なほ別働隊の活動は以上の如く頗る目醒しいものあるので關東州も何時襲擊を受けるやも知れず警戒の時機は迫つて來たとされてゐる

遼西一帶の地區並に新民白旗堡方面途中、牛莊に跳梁跋扈せる兵匪別働隊、義勇軍等は所在の土民に對して日本軍は無暗矢鱈良民を虐殺し掠奪を恣にしてゐる等あられもない虚僞の宣傳をなしために一般土民は人心著るしく動搖し安全地帶に避難するもの激增して來たこの影響を最も甚だしく受けてゐるのは白旗堡新民等の北寧沿線である、支那側は斯くの如く兵匪の跳梁ばかりでなく一般民衆を動搖せしめその結果南滿一帶の地をあげて逐日不安の狀態に陷いれつゝあり地方の治安を紊すこと甚だしきためいよ〳〵これが掃滅をなす筈である【奉天電話】

廣東派錦州死守を主張

【南京二十六日發】全體會議は今や重大なる暗礁に乘り上げた其の原因は錦州問題に關し南京、廣東兩派の意見の相違によるものである即ち廣東派は飽迄錦州死守を命ずると共に蔣介石も速かに北上對日戰事に當るべし之れがため場合によつては閻錫山の提議を容れ山西軍をして北支を守らせ東北軍や中央軍を關外に出し蔣張をして之を指揮せしめよと主張したるに南京派は右は蔣張追出し策なりと大反對せるためである

學良の命令

北平來電によれば學良は廿三日發錦州邊防公署あて左の要旨の命令を下した

第一、溝幇子は左中右三路の中心なり飽くまでこれを死守すべし

第二、大虎山は溝幇子錦州の門戶なるをもてこゝに一同集結し必要に應じ增援す

第三、敵の右翼兵力優勢なるを以て我軍は務めて盤山を保持し機を見て敵の左翼を廻襲すべし

第四、我左翼部隊は錦州北平間の鐵道警備に任ずべし【奉天電話】

北支那の政情動く
閻錫山中央軍の出兵を提議し
平津地方乘出の魂膽

【上海二十六日發】閻錫山は中央政府に錦州應援の中央軍出兵を提議しこれを機會に失墜した張學良の後を襲つて河北地方を自己の勢力下に置くべく平津に乘り出すものと見られ近く北方政局の變化が期待されてゐる

わが政府の回答書 三ケ國大使に手交
三國政府の警告問題

【東京廿七日發】永井外務次官は犬養外相代理として二十七日午前十時フランス大使マルテル氏英國リンドレー氏及佛フォーブス氏を各別に外務省に來訪を求め錦州不攻略問題に關する三國政府の警告に對する帝國政府の回答書及び二十七日附帝國政府の聲明書を手交した

南京政府干涉を要求

【上海二十六日發】南京來電に依れば昨夜深更まで協議し國際聯盟に干涉を要求する樣支那代表に命じた

外交委員會對策協議

【南京二十七日發】廿七日の特別外交委員會は日曜にも係はらず今朝緊急會議を開き錦州問題對策を協議し政府より理事會に對し滿洲における事態を詳報すると共に日本軍の錦州進擊を阻止するに有效なる措置を執ることを要求せしめかつアメリカを動かして不戰條約適用を發動せしめて我軍事行動を阻止さすことを決定した

新民占領を目指し 錦州軍行動を開始
新民攻擊の意圖濃厚

關東軍司令部發表＝北平より得たる情報によれば騎兵第三旅がその一部を通遼に殘し置き主力をもつて彰武附近に南下せる目的は日本軍の遼西における匪賊討伐を阻止せんがため速かに新民巨流河を占領するにありと又飛行機の偵察によれば廿六日正午約三十騎よりなる騎兵三隊は彰武、臺門道を南下中である、尚支那側某要人のもたらすところによれば義勇軍第四旅司令耿繼周手兵四百名を率ゐて二十六日新民南方約四十支里の某地に至り馬賊頭目君子仁と南方より新民を攻擊すべく協議中である、要するに敵は近く新民に對し攻擊を意圖してゐる徵候いよ〳〵濃厚となつて來た【奉天電話】

學良の後方攪亂に近く對抗策をとる

【東京特電二十七日發】帝國政府は東洋平和のため錦州に兵馬を進め兵匪の掃蕩を行つてゐるが、張學良は舊地盤の奪還を目的に錦州軍に對し若し日本と交戰し敗退する樣であれば再び生還を許さずと嚴命したので錦州軍は同地に堅固な陣地を構築し驛構内には電流を通じ自動車道路を設ける等頑強に抵抗の準備を整へ攻略不落を期する一

張學良免職
南京全體會議の決定

【南京二十六日發】張學良問題に關し全體會議は本日秘密裡に會議を開き協議の結果全國統一の目的は飽くまで果されねばならぬから張學良の免職も已むを得ぬとの意見が勝を占め陳銘樞を使者として午後四時半上海に派し右の意見を孫科、汪精衞等に傳へ兩氏の來京を求むる事となつたがため會議は延長に決し主席各院長及び部長等の選定は來週月曜に持ち越さるゝ事となつた

列國の活動露骨
自國の利益伸張に汲々

【天津二十六日發】列國の北支に於ける活動狀況左の如し

イギリス ランプソン公使は蔣張聯繫を固くし蔣介石の主席復活を畫策し錦州軍潰滅を阻止せんと武官サンヒル氏領事ガイル氏を錦州に派遣し日本軍を牽制し且つ馬賊土匪跳梁する事なしと逆宣傳をなしロイテル通信を改竄して張學良援助を露骨に示すと共に張學良と北方の實力派との團結を圖り學良の地位確保を圖らんとし聯盟調査委員來着を待つて日本を抑へんとす

アメリカ イギリスに調子を合せ商權擴張に專念す

ドイツ 中央軍に顧問百餘名を送り北平陸軍大學教官をも提供する等拔かりなしドイツ新聞は蔣張を援助す

フランス 事變以來避難民收容と稱し佛租界隣接地十萬坪を巧妙に手に入れ租界擴張の宿望を達す

馮玉祥南京へ

【北平二十六日發】支那側の消息によれば馮玉祥は今朝南京に立つた

天津經由南下

【北平廿七日發】馮玉祥氏は南京の全體會議に赴くべく太原より平漢線で北平經由天津に出で南下した蔣介石軍の充滿せる隴海線の近道を避け安全な天津廻りをした處に彼の要心深さがうかがはれる

天津の支那街 防禦作業開始

【天津二十六日發】我が航空隊の來着により當地支那側は極度に神經を尖らせ廿五日又もや支那街要所々々に各種の防備作業を開始したがため人心動搖今朝來英佛租界に避難するもの激增した

鮮鐵緊張

【京城二十七日發】朝鮮軍滿洲增派の報に龍山鐵道局では廿七日午後九時三十分局員の非常召集をなし衛藤運輸課長以下各係員參集配車手配に付萬端の準備を進めつゝあり羅南、會寧、淸津等の各列車區に對しても電話を以て配車用意を命じ軍司令部よりの命令を待つて居る

條約履行を望むのみ
犬養首相の西下車中談

【東京廿七日發】犬養首相は廿七日午後十時十七分東京驛發列車で伊勢神宮に新任報告のため西下したが途中左の如く語つた

過般駐日米大使が自分と會見して錦州攻擊について懇談したがこれは三國干涉なぞと言ふが如きものでない、勿論米大使は我軍の錦州の正規兵を攻擊する事は人心を刺戟すると思ふ旨の事であつたので自分は正規兵と土匪との說明をした、即ち支那の土匪と正規兵の區別は紙一重の相違で判然しない從つて日本は正規兵攻擊の意思はないが土匪を討伐して行くと正規軍との區別がわからなくなる事を述べた、これは諒解されたと思つて居る更に列國が誤解して居ると思ふ事は日本が滿洲の門戶閉鎖をやりはせぬかと考へて居るらしい又支那人中にも日本が滿洲を占領して第二の朝鮮とする考へではないかとみてゐる誤解も甚だしい日本は決して滿洲に對し領土的野心は毛頭持つて居ない、滿洲の如き曠野の多い處を與へると言つても斷りたい位だ、要は條約の履行を望むだけである政府は政綱政策につき事新しく聲明する必要はない、在野時代から發表した政策を實行するだけである議會を解散する事は誰しも嫌ひである、然しこの議會で反對がぶつかつて來れば仕方ない、なぐられて默つて居る馬鹿はあるまいからその時はその時の覺悟である

更に朝鮮部隊を派遣
きのふ閣議にて決定

【東京二十七日發】本日の閣議で滿洲に一部隊を派遣するに決定した、みぎは朝鮮より〇〇〇〇を出す方針である

天野旅團に盤山の總攻擊令下る
今曉、師團司令部は田庄臺へ進出

二十七日營口に移動した多門第〇師團司令部は盤山附近における匪賊益々猖獗跋扈甚だしく我軍に對し熾烈なる攻勢に出で事態切迫したので同司令部では天野〇〇旅團に對し總攻擊を命令し同旅團は二十八日朝九時を期し盤山方面の匪賊に對し一齊に總攻擊することに決定したこれがため多門師團司令部は二十八日午前四時營口より田庄臺に移動することゝなつた

活氣づく師團司令部
田庄臺との間はトラックで連絡

多門第〇〇師團司令部が出征前のあわたゞしい宿營を營口の目抜きの通り千代田街においた、二十七日夜は營口全市にくつきりと戰鬪を生む街の刻印を押した、司令部に繋られた料亭武藏野には夜を籠めてあかあかと灯影がゆらぐ門前の衞兵は砥ぎすました銃劍の先を寒夜の暗に無氣味にひらめかせながら來往する車馬に鋭い眼射しを送り、煌々たるヘッドライトを凍てつく街路に投げてトラックがひつきりなしに司令部の前に往來する、田庄臺と往復する唯一の聯絡機關は此トラックだ、六里半二時間の恐怖に包まれた惡道路を疾驅するトラックの上にモーゼル拳銃を備へた決死の聯絡員が肌をつんざく寒氣と烈風に惱まされ乍ら銃把を固く握つて突つ立つて居た、營口驛はやがて來るべき軍用列車のダイヤグラムを作り我輸送に夜を徹して蟻の群のように孜々として立働く驛員の姿が暗の中に勇ましい【營口電話】

田庄臺の渡河成功を納む

【田庄臺廿七日神藏特派員發】田庄臺における徒河作業は非常に困難なる作業なるにもかゝはらず廿六日工兵隊の援護による野砲七門の作業も良好の成績をもつて成功したが廿七日午後一時半には重量四トンの軍用トラックの輸送試驗を行ひたるに、うまく成功した、この附近の氷は厚さ廿五サンチ乃至四十五サンチでこの軍用トラックの輸送試驗成功はレコード破りと言ふべきである廿七日に到着した步兵第〇〇聯隊と砲兵部隊は何等の危險なく渡河した

わが部隊田庄臺に到着

二十七日午前四時營口を出發した騎兵二個中隊は若松中佐に引率され十時田庄臺に到着したなほ八時に營口を出發した〇〇旅團は午後二時隊伍堂々田庄臺に到着天野旅團長は駐屯の桂大隊長に出迎へられ田庄臺に到着した【營口電話】

多門師團着營

第〇師團司令部は廿七日正午遼陽驛發南下各驛において熱誠なる萬歲歡呼に迎送され同午後二時四十分多門第〇師團長は上野參謀長、宮脇高級副官等幕僚を隨へ營口驛に到着した同日朝第〇〇旅團を田庄臺に送つた營口は師團司令部の來着によつて再び賑はひ驛頭には官民多數小學生等日の丸の旗を振つて出迎へた、多門師團長一行は直に料亭武藏野に入り第〇師團司令部は臨時此處に置かれた【營口電話】

多門師團長

多門〇師團長は幕僚を隨へ廿七日午前十一時五十九分發列車で營口に向け出發した【遼陽電話】

社說

金輸出再禁止の影響
債務者は利し遊民は概ね損失

いふまでもなく經濟界に於ける最近の重大事件は、金の輸出禁止である。其の經濟界に及ぼす影響の廣且つ大なる點に於て、他の如何なる事件よりも重大である。吾人は其の影響の大に就て、一應世人の注意を喚起し置くの必要を感ずる。

◇

金の輸出再禁止の結果として直接影響を被むるものは、我國の輸入貿易である。金の輸出を禁止した爲めに、我對外爲替相場は直ちに暴落した。對米四十九弗以上のものが、一朝にして三十幾弗かに崩落し、其後少しく恢復したけれども、矢張り四十弗前後を往來してゐる。今後時局の發展如何によつては、更に大に低落するやも知れぬ。

かくて對外爲替相場が低落すれば、外國品の輸入が内地に於て高く附くことは勿論である。爲替相場が、假りに二割下落すれば、内地に於ける外國輸入品の代價は、二割騰貴する。爲替相場が三割下がれば、其の代價は三割高くなる。從つて金輸出再禁止の結果として、外國品の輸入が大に阻止せらるゝことは明白である。

既に外國輸入品の内地に於ける代價が騰貴すれば、是等の輸入品と競爭の立場にある内地の事業會社が、大に利益することも亦當然である。現に過般來外國輸入品の競爭の爲めに大に壓迫され、從つて其の前途の甚だしく悲觀せられてゐた製紙會社が、最近急に活氣づき、其の株式相場が一躍二十圓近くも暴騰したるが如き、其の消息を物語るものである。

◇

輸入貿易の阻止せらるゝと反對に、輸出貿易は大に振興するに相違ない。是れは外國に輸出した商品の代價を内地の貨幣に換算すれば、大に高くなるからである。但し對支貿易の如き排日排貨運動の盛なる方面に對する輸出は、此限りにあらざること云ふまでもない。是れは特別の事情に基くもので、現今の排日排貨運動が、根本的に鎭壓されざる限り、對支貿易は到底振興の見込がない。

◇

以上は金輸出再禁止より來る直接即時の影響であるが、今直ちに現はれざるも、其の影響の漸次に來り、且つ其の結果の全國的に行渡つて、最も重大なるものは、蓋し債權債務の關係に外ならぬ。金輸出再禁止の爲めに、我對外爲替相場が二割急落したといふことは、即ち我流通貨幣の價値が二割低落したといふことである。從つて其の再禁止前に負ふたる債務は、禁止の爲めに事實上二割だけ輕減せられたと同樣の結果となる。而して此の作用は、早急には現はれざれども、其の影響するところは、社會の各階級に行渡つて、實に絶大無比とも云ふべきものがある。

吾人の豫て本欄で論述して置いた如く、我國に於ける債權債務の總額は約二百億圓に達する此の二百億圓の債務が、假りに二割輕減さるゝものとすれば、其の負擔は爲めに四十億圓輕減せらるゝ譯である。其の影響も亦大なりと云ふべきだ。是れは獨り個人の債務者ばかりではない。多額の社債其の他の借入金を有する事業會社も總て然りである。

債務者の利益するだけ債權者は損失する。個人關係の債權者は勿論銀行に預金を有するもの、公債社債を有するもの、此等は總て今回の金輸出再禁止によつて損失する。但し此の如き債權者は概ね徒食の遊民であるから大體から云ふて國家社會の爲めには寧ろ賀すべきであらう。是れ吾人の曩に切言したところである。

◇

前段に於て吾人は、我國の債權債務は約二百億圓といふたが公債、社債、若くは地方の如きは別である。此等のものは更に一百億圓以上に達するであらう其の影響も亦頗る著大である。此關係に於て最も大なる債務を負ふものは、何といふても我中央政府である。現に我公債の發行高は六十億圓に達してゐる。其の次ぎは地方に於ける自治體の地方債である。是亦數十億圓の巨額に達する。かくて中央及び地方の政治團體は、實に最大の債務者である。從つて彼等は今回の金輸出再禁止の結果としての最大利益者である。之れが爲めに今後我國の中央及び地方に於ける政治團體の財政が大に樂になることは明白である。其の影響は今直ちに現はれざるも今後漸次現はれるに相違ない。吾人は之を保證する。

獨逸は曩に大英斷を以て、緊急勅令を發して債權債務の切下げを斷行した。日本は金輸出再禁止を斷行した。結果は同一である。

東北各省聯絡會議漸く具體化し來る
年内に新國家の形態を整ふべく臧氏等目覺しい努力

奉、吉、黑、熱四省並に蒙古政權聯絡會議は去る二十二日黑龍江張景惠代表李乾川飛行機にて來奉以來吉林煕洽氏代表王氏、コロンバイル貴福代表謝氏、次いで東邊保安司令于芷山の來奉により個別に開かれ俄かに具體化し來つた、このため臧式毅、趙欣伯氏等は成るべく年内に新國家の體形を整へ新陣容ならんとする南京政府に拮抗し得る内容を備ふべくこの二三日來眼覺ましき活躍をつゞけて居る、聞く處によれば黑龍江省は張景惠、馬占山の提携實現せず結局馬は再び黑河の古巣に引揚げ英順氏警備隊を編成し治安維持に當ることになる模樣である【奉天電話】

滿蒙の禍根を除くは當然
江口副總裁とは二體一身と内田總裁關門で語る

【門司特電二十七日發】内田滿鐵總裁は今朝はるぴん丸で門司着下關午前九時發急行で東上したが自分は國家重大の時期であるから一身の利害關係を省りみず總裁に就任一意國家のために努力して居るのであるが、内閣が更つても自分は止める意志は毛頭持つて居ない今回は新内閣に挨拶と色々と打ち合すこともあり且つ貴族院議員として議會にも出席するために上京するので萬一議會解散にでもなれば直ちに歸任するつもりだ、江口副總裁はもと三菱にゐた關係から今度も色々噂されてゐる樣だが公人としては立派な人であり且つ多數の支那學生に學資を給して學ばせて居る位支那人に同情厚くまた支那事情に精通して居るので自分は副總裁に賴んだ位で自分とは二體一身の間柄であるから同君も自分が辭めぬ限り辭めやしない、英米佛三國がまたしても警告をよこした樣だが滿蒙擾亂の禍根が錦州にある、これを鎭定することは當然の必要である實情を理解しない結果であるからこれを理解させる必要がある、聯盟より派遣する調査委員が早く來ればよい、來ればわかるよ

正副總裁の恒久性
大隈侯らが首相に進言

【東京二十七日發】貴族院議員大隈信常侯、同坂本俊篤男、陸軍中將筑紫熊七三氏は二十七日午前九時四十分官邸に犬養首相を訪問滿洲事件善後處置その他の時局問題に就き意見の交換を行つた後滿鐵正副總裁首腦部の更迭問題に關し之までの例に徵するに内閣が更る毎に正副總裁も更迭してゐるが滿鐵は政黨政派によつて支配すべき性質のものでない、殊に滿洲事變に關し滿鐵は極めて重要諸問題が控へてゐる際であるから濫りに更迭せず恒久性を有せしめるやう御考慮を煩はしたい旨を進言十時十五分辭去した

匪賊と交戰中の我警官隊　鳳凰城にて

安達氏復黨は贊否纏らず
表面的討議は來春か

【東京二十七日發】民政黨内では安達氏の復黨論は廿六日九州團體の希望したことにより俄然表面化し廿七日朝となり贊成反對の兩論對立の形勢となつた近畿團體は全代議士會を開き反對を決議し又關東團體も協議したが意見纏らず未だその時期に非ずとして反對氣勢が濃厚であり更に同十時十五分院内代議士會で復黨反對の意見開陳された然し漸次復黨を希望するもの增加せんとする形勢でその成行は贊否兩論間に感情上のもつれあるべしと觀られその狀勢憂慮され若槻氏もこの際本問題を表面的に討議するのも考へものとし來春に持越され適當な時期に適當な對策が講ぜられんとの意向である

關東廳特別會計歲入出豫算決定
一千八百七十九萬圓

【東京二十七日發】二十七日の豫算閣議にて決定された昭和七年度豫算大綱中關東廳特別會計歲入歲出豫算左の如し

項目	金額
歲入經常部	一二、三六二、四六八
臨時部	六、四二九、三四七
公債金	六〇〇、〇〇〇
補充金	四、〇〇〇、〇〇〇
前年度剩餘金繰入	一、三二二、一九一
その他	五一七、一五六
合計	一八、七九一、八一五
歲出經常部	一五、七三四、八二七
臨時部	三、〇五六、九八八
合計	一八、七九一、八一五

野黨對策協議

【東京二十七日發】民政黨前閣僚らは廿七日午後四時若槻男邸に議會對策會議を開き對選擧策を協議した、なほ安達氏復黨問題も議に上るべしと見らる

懷德縣城貧民に麥粉を與へる
森司令官の温情に神人の仁政と感泣

森獨立守備司令官は過般來新政府の縣長に反抗し兵匪を糾合附近の治安を亂し剩つさへわが軍に對抗するのみならず滿鐵線を脅かすの態度に出でしかもその勢ひ侮りがたい狀態であつたのでわが軍では附屬地の治安維持上去る十七日一擧に懷德に巢喰ふ兵匪を總攻擊しこれを擊滅して十八日入城したが彼等兵匪のため無辜の良民が悉く暴行掠奪されたのでその慘狀を憐れみ廿六日新懷德縣長馬春田氏を通じ麥粉二千五百袋を懷德縣城貧民に惠與するところあり、森司令官のこの擧は懷德縣城居住民に非常な感激を與へ貧慾に次ぐに貧慾の搾取以外何物も知らぬ支那軍閥の苛斂誅求に苦んだ彼等は日本の軍隊は物品を買つてもその代價を立派に支拂ふのみか二千五百袋の麥粉を民衆のため惠與する等神人のほか敢てせぬ仁政だと今更の如く感泣してゐる【長春電話】

愈よ本日から實施
後方連絡の定期飛行

かねて計畫中の軍後方連絡定期航空は諸準備整ひいよく廿八日より實施することゝなつたがその發着時間並に料金は左の如く決定した

一、奉天新義州間（一週火、木、土の三往復）奉天發午前七時十分新義州着午前八時半新義州發午前十一時半奉天着午後零時五十分 但し當分の内は臨時一週六往復とし日曜を除き毎日發着）

二、奉天チチハル間（一週三往復）奉天發（月、水、金）午前八時五十分ハルビン着十一時十七分同發十一時四十分チチハル着午後一時二十分チチハル發（火、木、土（午前十時、ハルビン着十一時半、同發十一時四十分長春着午後一時同發一時十分奉天着二時四十五分但し當分の内ハルピン、チチハル間は中止し（月水、金 右時間表通りハルピンより奉天に折り返し飛行す

三、奉天大連間（定期毎週木曜日一回）奉天發午前八時半大連着午前十時半大連發午後一時、奉天着午後三時十分（但し當分の間火、木、土一週の往復を飛行す）

なほその料金は奉天新義州間十四圓ハルビン、チチハル間十八圓、長春、ハルビン間二十圓、奉天、長春間十五圓、奉天、大連間二十圓、郵便取扱ひは後日決定し軍においては使用せざる座席は求めに應ずる由【奉天電話】

自分はたゞ一心君國を思ふのみ
塚本長官入京語る

【東京特電二十六日發】塚本關東長官は室田秘書官帶同二十六日四時五十五分東京驛着急行にて入京秦拓務大臣、東條代議士、その他民政代議士、西山財務部長、大淵滿鐵支社長、小澤大兵衞氏ほか滿洲關係者多數の出迎へを受け直に市外戶塚の自邸に向つた、之れより先途中まで出迎への本社記者に語る

今度の上京は中央政府に異動があつたので管下事務の打合せをする必要を生じたので取敢ず上京した譯である、新聞で見ると今回の匪賊討伐隊について第三國が干涉がましき事を申出たやうであるが之れが果して事實ならもつての外の事と考へる今回の匪賊討伐は實に見るに見兼ねての歇むを得ざる結果で國際聯盟に於ける十二月十日の會議に留保した匪賊討伐權の行使に外ならないのである、匪賊馬賊は錦州に於ける學良の有力なる舞臺をバックとして彈藥武器の供給、軍費の配給を受けて今や積極的に滿鐵沿線を襲擊してゐる、滿洲の治安維持の

基礎を確立するにはどうしても匪賊馬賊の根據地を衝きその禍根を一掃する必要があると思ふ、この匪賊馬賊の平定した處には自治制が施かれ未だ討伐の行はれてゐない處には自治制が施かれない、要するに滿洲治安維持を念とする以上徹底的に匪賊馬賊の討伐を敢行せねばならぬ、警察官も滿鐵從業員も今や一身同體となつて嚴寒とおよび困苦と之と鬪つてゐる實情を自分は廣く内地の同胞に知らしめたいと思つてゐる、なほ今回の政變に關して兎角の噂をきいてゐるが自分の心事は光風霽月一意君國を思ふのみであつて自己一身の

利害等は眼中にない、只責任だけ果したいとソレのみ考へて己れの力足らざるを憂へるのみである

宮中に參內

【東京二十七日發】二十六日上京した塚本關東長官は二十七日午前十一時宮中に參內天機を奉伺した後午前十一時五十分官邸に犬養首相を訪問着京挨拶を兼て滿洲方面の狀況報告正午過ぎ辭去したが明日前更に犬養首相と會見するが辭表は豫定通り二十八日午前中に提出される筈

閣議決定事項

【東京廿七日發】本年最終の閣議は廿七日午後一時半から永田町の首相官邸に開會犬養首相以下各閣僚出席昭和七年度一般豫算案を決定し次いで滿洲派兵を決定したが植民地長官の異動は來春に廻す事とし午後三時十五分散會した

豫算委員長は川崎克氏當選

【東京廿七日發】二十七日の下院豫算總會第一回は午後零時二十分開會豫算委員長の選擧を行ひ

三五票　川崎　克（民）
二〇票　兒玉　右二（政）
一票　片山　哲（社民）

川崎氏當選委員長席につき左の九氏を豫算委員會理事に指名同四十分散會した

工藤鐵男、坂東幸太郎、山田毅一、定塚門次郎、田中貢（以上民政）原惣兵衞、川島正次郎、風間章（以上政友）倉元要一（以上第一控室）

三委員長決る

【東京二十七日發】衆議院三委員長理事互選の結果左の如し

▲懲罰委員長藤田若水、理事春島東四郎、古島義英、小林錡
▲決算委員長岡崎久次郎、理事三田村甚三郎、土屋寬、後藤亮一、星廉平
▲請願委員長永田善三郎、理事大崎清崎、助川啓四郎、林七六、木村秀興、生方大吉、原吉郎

民政黨質問者

【東京二十六日發】民政黨は二十六日開院式前院内に於て院内外總務會を開き協議の結果來年一月二十一日休會明け議會劈頭に於ける國務大臣の施政方針演說に對して左の諸氏を第一陣に立て徹底的に糺彈質問をなさしめ併せて野黨の態度を宣明することに決し二十六日衆議院事務局に質問通告をなさしめた

一、一般政治問題　齋藤隆夫、鈴木富士彌、武富濟、渡邊泰邦
一、財政經濟問題　小川鄉太郎、山田道兄、勝正憲、前田房之助、堤康次郎、小山邦太郎、宮澤胤男、田中貢
一、外交問題　山道襄一、田中武雄、松本忠雄、高橋壽太郎
一、思想問題　内ケ崎作三郎、工藤鐵男、長尾半平

政友會の委員長以下發表

【東京廿六日發】政友會は二十七日正午幹部會の結果左の如く決定發表した

▲全院委員長土居權大 ▲豫算委員長兒玉右二、理事原惣兵衞、同川島正次郎、委員秋田清以下廿二名 ▲決算委員長寺田市正、理事三井德寶、委員金光庸夫以下十五名 ▲請願委員長豐田收、理事大崎清作、委員八田宗吉以下十五名 ▲懲罰委員長飯村五郎、理事小林錡、委員牧野良三以下八名 ▲政務調査會長濃正雄、副會長松山常次郎、川口義久、加藤知正、理事星廉平、水島彦一郎

實際問題を協議
阿片會議から黑井技師歸任

去月九日から廿七日までシャム國バンコックで開かれた國際阿片會議に出席した關東廳技師黑井博士は廿六日入港のうらる丸で歸任したが同會議には日本の他イギリス、フランス、印度、ビルマ、ポルトガル、オランダ、シャムの七箇國が參加し參會者卅名にのぼるので盛會であつた、尙同會議に日本側の出席者は黑井博士、臺灣下條技師、拓務省棟居書記官、國際聯盟草間要、駐シャム矢田部公使の諸氏であつた、黑井技師は語る

從來國際聯盟では阿片問題が理想論ばかり戰はされてゐたが今回は實際問題にたずさわつてゐたものばかりだから會議もその範圍以上には出なかつた、だから國際聯盟で二十三箇條の新條約案を提出したが議題には上さなかつた、そしてさきに東洋を訪れた國際聯盟視察團の報告案を三案に別つて審議したがその一は密取引に關する事項、二は小賣分賣に關する事項、三は治療並びに社會施設に關する事項であつた、そして結局七ケ條の新條約案が成立したが關東廳として新たに義務を負ふものは何物もなく、現在行つてゐることで二、三施行規則だけを出さればならなくなつた位のものだ

香港丸船客

【門司特電廿七日發】香港丸の主なる船客左の如し

大倉組社長大倉喜七郎、同重役横山信義、同社員平木泰治、新賀保成人、三井社員大野孝雄、海軍省奧田喜久司、明大講師諸尾源藏、關東軍司令部附足立幸一、近藤三裁、三浦延治、大森一聲、鈴木宗正

指導撫育されよ

村田孔鏡

◇惟るに彼の自治指導部並に各地指導員は今や身を累卵の上に置き正に獻身滿蒙大理想國家の建設を大眼目として奮鬪しつゝあり、しかもその前途は甚だ遼遠にして曉未だ遠く、これが成功には大なる困難を伴ふてゐる。

◇これに對して夙に獻身的聲援を給はる人士のあるを聞くに當りては吾人の最も感激おく能はざるところであるが、他の一面において兎角彼等を誹謗するが如きものあるやの傾向あることは、一面認識の不足にあらざるやを疑ひつゝも、吾人の最も遺憾とするところである。

◇人は須く寬仁大度ならざるべからず一個の私心利害得失その他族視等によりて徒らに彼等の言動を云々するは、これ誠に匹夫だに恥づる所にしてしかもこの大業の成ると否とはひいてはわが母國の生命をも左右する偉大なる素因たるべきものであることを思ふにおいては、殊にこの感を深ふするものである。

◇諸賢須らく天皇の大度を鑑として常に萬物を統藏し育生するの崇高にして至誠至純を以て、彼等に誹謗すべき點ありとするもこれを第三者として批判するの立場を棄て常によろしくこれを指導するの立場に立つて共に倶に指導し相助成せしめられんことを祈る。

◇兄等の一言一動によつて彼等の信用を攪亂し或はこれをその蒼古不再出の大好機會を無にせしむることあらんか、その罪の一半は彼等にありと雖も、諸兄もまた天に反するの大罪を犯すものにあらずして何ぞや。

◇よろしく小我を棄て滿蒙大理想桃源國の建設に眞の援助と便宜とを供與し、よくこれを指導し撫育されんことを廣く一般諸賢に希ふてやまぬ。

大觀小觀

わが國權を擁護し滿蒙の平和を招來する重要任務を帶びた皇軍補充部隊の來往頻繁▲「內地から來て見ると大連市中が案外緊張して居ない」といふ非難に憤慨したわけでもあるまいが▲戰線に向ふわが勇士に對する市民の熱狂的歡送迎振り漸く白熱化し來り▲老も若きも男も女も寒氣を冒し埠頭へ、驛頭へ、船ごとに汽車ごとにヒシくと押しかけ「萬歲々々」の聲、天地を壓する勢ひさながら嬉し▲殊に廿七日、わが一兵士に關する遺骸の報が突如傳はるや全市民豫想外のセンセーションを捲き起し刺戟、緊張、亢奮、悲憤の渦を捲した▲戰鬪を前にした一兵士の死が一般に對し、斯くの如く刺戟、緊張を讓つた以上、一死決して無駄ではない、いや斷じて犬死などに終らせる事があつてはならない▲それ見たことか議會の年內解散說は雲散霧消▲來年は？來年のことをいへば鬼が……いや猿さへ嗤ふ、强がりばかりでは戰爭は出來ぬと同樣に解散さても然う容易には出來まい▲まあ年でも越してから緩り、朝野兩派のお手並拜見▲だが何れにしても國步艱難の今日であるのに政黨てものゝ存在は却つてダンくその光を失つて來る▲「カレンダの殘り少く舊びたり」

本日廳報を添ふ

家庭

一般の野菜類今年は安い
蜜柑は銀の影響で二割高　購買力が減つて

年末になると一般に野菜類の値段が多少騰り殊に三ツ葉、芹、山葵などは滅茶苦茶に騰貴するのが例ですのに今年はもうあと四日といふのに一向その氣色がありません大連中央卸賣市場事務所ではそれに就いて次のやうに説明して下さいました

今年は どこの役所や銀行會社も時局柄忘年會、新年宴會を廢止してゐるし一般の人々も料理屋あたりへ出入するのを遠慮してゐるために三ツ葉とか芹とかいふやうな所謂料理屋ものが例年の樣に捌けない結果こんなに安いのです、銀が騰つたから野菜も上るだらうと心配してゐた方もあつたやうですが、此の頃市場へ出てゐる野菜は白菜人參等をのぞいては全部内地物ですし、大連で陸上げされる

野菜は 大てい大連附近で消費される關係から金で勘定されますのでほとんど銀の影響を受けないのです、たゞ蜜柑だけは銀の騰貴につれて二割もあがりましたが、これは相當多量に奥地へ送られるために自然銀に支配されるわけです、今年は野菜類が一般に安く昨年の暮と比較すると約二割方下落してゐますが、これは事變のために奥地への輸送がほとんど杜絶してゐるのと、一つには

不景氣 で一般の購買力がへつて需要がずつと少くなつたせいかと思はれます、例年ですと二三月になれば一般に値が上るのが常ですが、今の樣子では多少の變動はあつてもいつものやうにあがるやうなこともありますまい、で今年は買ひためて貯藏法に腐心せずとも時々に新鮮な野菜を入用なだけづゝ安く買つた方が却つて經濟で合理的でせう、これは當事務所と關係ありませんが、今年は松飾りを大分手控へして仕入れてゐるやうですから或はこの方はおしせまつて品不足のために騰貴しはしないかと見られてゐます

お茶代りの冬向き飲料
冷めたい物、暖かい物

外は何もかも凍りつくやうなこの頃、ポカ〳〵とあたゝかいペーチカや眞赤に燃えるストーヴのそばで頂く冷たい飲物の味は何にも例へられません、總じて洋酒はつめたくして頂く方が洋酒本來の香や味があり飲んだ後の氣分も爽かです、ことにカクテールなどは氷が混合器と同程度に重要な役目をつとめてゐます、しかし追々寒くなるにつれて戸外からかへつて來た時などあたゝかい飲物のほしい時もありますから極簡單に御家庭で出來る冬向のお茶代りに用ひられる薄い飲料で、つめたいものとあたたかいもの數種の拵へ方を申上げませう

レモネード

中型コップに角砂糖二個を入れ水小匙二杯をそゝいて砂糖をよく溶かし、生レモン一個の露を搾りこみ氷の小塊二、三個を入れてソーダ水を八分目まで注ぎ入れ靜かにかき混ぜます、レモネード、ホットの時はソーダ水の代りに熱湯を等量注ぎます、これにレモンの輪切一片を浮べストローを添へて供します、これは酒精が少しもありませんからお子樣方にも大變よろこばれます

クラレットレモネード

中型コップに角砂糖を入れて小匙二杯の水でとかし、カクテールグラス一杯位の赤の生葡萄酒を注ぎレモン半個分の露を加へてよくかき混ぜ氷の小塊二、三個を入れソーダ水を八分目まで注ぎ、レモン一片を浮べストローを添へます

ホット酒ならばソーダ水の代りに熱湯を用ふればよいのです、赤の生葡萄酒がなければポートワインでも蜂葡萄酒でもよく、レモン汁の代りにオレンヂを使つても結構です

ウイスキーソワー

中型コップにレモン半分の露をしぼり入れこれにシラップ、グレナデン、ストロベリー、ラスベリーのうちお好みのもの一種をレモン汁と同量だけ加へ、カクテールグラス一杯位のウイスキーを注ぎ砕き氷を入れてよくかきまはし、これに八分目までソーダ水を滿たしてパイナップルの薄い切かオレンヂの一片を浮べて供します、ウイスキーの代りにブランデー、ジン、ラム酒等を用ひてもよく、ソーダ水の代りに割氷をコップの中まで入れレモンの一片を浮せばコブラーといふ飲み物になります、あたゝかい物がよろしければ氷水の代りに熱湯を注いでスリング、ホットをお拵へなさい、これもなかなか風味があります

ウイスキーホット

中型コップに角砂糖二個を入れ水小匙二杯を加へてよくとかし、カクテールグラス一杯位のウイスキーを加へ熱湯を注ぎ入れてレモンの一片を浮します、ウイスキーの代りにブランデー、ジン、ラム等を御用ひになつてもかまひませんがこれは相當酒精分がつよいのですから婦人や老人向にはポートワインや生葡萄酒、又はキユラソー、マラスキノ等のリキユール酒を代用した方がよろこばれませう、右はいづれもなるべく御手許にあるやうな材料を選びましたし拵へ方も右の通りごく簡單ですからどうぞ御活用下すつて來客や御家族をよろこばして上げて下さい(吉永八郎氏談)

お正月の遊戲に相應しい追ひ羽根カルタ
何れも運動になる
面白い變遷のお話

歴史的 にわが國民に深い關係をもつてゐる古典玩具……羽子つき、カルタ遊びはお正月の樂しい家庭での遊戲として相應しいものでございます、この羽子つきは優雅な古典的遊戲であると共に注意力を練り、筋肉の統制力を練るのに價値があり、カルタ遊びは記憶、注意力を養ひまた敵を觀ふ推理の練習となります、然し運動の點に於ては羽子つきには比較なりません、これら古典的玩具もいろ〳〵變遷してをります、この羽子は昔は古鬼子と稱し、羽子板を胡鬼板と呼んでゐたものです、これは隨分古いもので室町時代には既にあつたものですがこの羽子の古名には深い意味がありこの羽子板の變遷を物語つてゐます

胡鬼と は夷の意味で、胡鬼板とは夷を追ひ拂ふ板と云ふ意味で、最も古い時代には、その板に五神の像を描いて護國の意味を含めたものです、後には殿樣や神樣を描く樣になりましたがこれもやはり護國の象徴であつたのですその後、七福神や三番叟を描いて正月の緣起を尊ぶやうになりましたが、現在では俳優の似顔や當り狂言を現はし、最もモダンなものでは子供の繪などを描かれ時代思想の變遷を如實に現はしてゐます

カルタ には歌カルタ、花カルタ、メクリ札などがあり、いろはカルタは比較的新しいものですが、西洋カルタ——トランプは早く元祿時代に嬪妓間に盛に用ひられてゐます、歌カルタは普通百人一首が用ひられてゐますが、その他古今集、伊勢物語等の歌を用ひたものもあります、花合せ遊びは平安朝時代に貴族の間に四季折々の花、風物を配して遊んだ時代を偲ばせる風流な遊戲です

滿日婦人團へ
慰問金贈呈に對して
中谷警務局長から感謝狀

今中旬滿日婦人團からこの重大時局に際して出動軍人と共に警備の第一線に立つて献身的な活動をつゞけてゐる警察官に對して慰問金を贈つて慰勞の意を表したことは既報の通りですが、これに對し中谷關東廳警務局長から二十一日附にて左の通り鄭重な感謝狀が參りました

謹啓初冬之候益々御清祥奉賀上候陳者今回の事變に關し警備の第一線に勤務致居候警察官の勞苦に對し深甚なる御同情を寄せられ慰問金三百十圓御寄贈に預かり御芳情洵に難有感謝の至りに不堪候、固より秩序の維持、治安の萬全を期するを職司と身する警察官の斯る非常時に際し命を不顧奉公の誠を致す事は當然の事に有之候、斯る御高配を蒙り恐縮の外無之益々以て其の責任の重きを感ずる次第に御座候、早速御趣旨に適ひ候樣州外警察官一同に對し御芳志を頒ち可申候、茲に一同に代り不取敢御禮申上度尚御配慮被下候諸賢に對しては貴殿より宜敷御傳聲願上候　敬具

昭和六年十二月二十一日
關東廳警務局長　中谷政一
滿日婦人團長　松山忠二郎殿

不景氣は同じ暮の日陰町
賣上げは昨年の半分

深刻な不景氣風は限りなく吹き荒み市内陽の街の大小は青息吐息の狀態なのです、斯うした時代にはさぞ例年よりは好成績を擧げてゐるものと日陰町を眺めて見ましたが、いづこも同じといつた陰鬱さです……で某古着屋さんの主人は次の樣に語りました

不景氣 はこちらの方にも影響して例年ですと今頃は忙しくなりますのに今年の不景氣といつたらお話にならず、昨年の半分に滿つか滿たぬの賣上げ狀態です、ボーナスが手に入つた頃少しばかり人足があつただけで全く今年は暮らしい氣分がちつともいたしません、流質品も着物などは花柳界のものが主で流質着を利用する女給向きには柄合袖丈が合はぬため全く駄目なのです、貸衣裳も昭和二年に大連で初めて試みましたが最初の二三年間は非常に結果もよく月三百圓の

利益を 擧げてゐましたのですが最近では婚禮衣裳など六ケ月、十ケ月の便利な月賦販賣法が應用され殆ど借りる者はないやうに尠くなりました、葬式衣裳は用意して置くといふ方は割合に尠い樣で貸衣裳を利用し借りる方が相當ありますが最近は美粧院、葬儀屋などでも損料貸をして居りますのでその結果こちらの方の利用者も減つて來てゐるものと思ひますが兎に角初めた頃に比較しますとまあ四分の一位の利を見る丈でうんと減つてゐます、私の方さ

親類筋 の質屋さんもひどいでせう、入質期限が切れ利が入らぬからと云つて入質品を流すと質屋の損になり、もしかしたら受出しに來るかも知れぬとかすかな希望をもつて質屋では流さず待つといつた調子、お客の方では受出したくとも金の運轉がうまく行かないのと流す質屋の蒙むる損失を知つていつまでも受出さず又利も入れずに放つておくといふ有樣で質屋業も苦しい立場にあるやうです

●訂正● 二十六日本欄所載「動題に因んだ新春の束髪」の寫眞は左右入ちがひになりましたから訂正します

オコトワリ

エモノガタリ『アサヒハノボル』ハイヨイヨオモシロクナツテキマシタガオシヨウグワツヲムカヘルタメニシバラクオヤスミイタシマス

おはなし
いたづら狸(下)
平方久直

いたいはずです。こぶ〳〵したかたい木ぎれを、力まかせになぐりつけるのですから。

「さあ、おれのばんだ」

狸はおかしくてふきだしさうになるのを、やつとこらへて云ふのです。

そして、そつと、かねてから用意しておいた石つころをとりだして、ゴツン!

「あいたツ」

あまりいたいので若者は、ぴよこんととびあがつて、頭をかゝへます。

そこでといふのそこをはたいて狸に渡すと、むくり〳〵とはれあがつたこぶをおさへて、べそをかいてどこかへ行つてしまふのでした。

狸はこんなおもしろいことは、うまれてはじめてなので、まいばん〳〵村をあらしまわりました。

村には、おでこやらびんたやらに、むつくりとだんごを、つくつた人たちが、一ばんごとにふへました、そしてくやしさうな顔をして、あのふしぎな坊主のことについてはなしあひました。

あるばんのこと。

いゝごきげんで狸は、のそりのそりと村にやつてまゐりました。

ちやうど、村の入口にさしかゝると向ふから、これもまた狸とおなじやうなかつこうをした、ちんちくりんの坊さんがちよこちよこやつてまゐりました。

通りすぎやうとして、相手が坊主なのをみかけました。

「あなたかれ、えらくげんこつのつよいおかたは?」

「ウン、おれだよ」

狸はいばつてこたへました。

「わしと一つかけをやりませんかな」

狸はこんなちびがとけいべつしましたが

「いゝとも、やりましよ」

と、すぐひきうけました。

「わしから一つやつてもらひませう」

相手の坊主は、小さな黒まめのやうな頭を、ひよいつと狸の目の前へさしだしました。

狸は「ようつし」と云ふと、いつもの石つころのげんこで、ポカツ!。

が、いやはやその頭のかたいこと!。

キーンと云ふやうな音がして、石つころのすみが、ポロリとこぼれたので——

これにはさすがのたぬ公もどぎもをぬかれて、そろ〳〵きみわるくなつて來ましたが、いまさらいやと云ふわけにはゆきません。

こわ〴〵、そうつと頭を出すと待つてましたと云はぬばかりに、ブーンとおそろしい音をたてゝ、黒い鐵のかたまりのやうなげんこがとんで來ました。

狸は「アツ」と云ふと、ちよつその間あたりがぐら〳〵としましたが、あとは何がなんだかわからなくなつてしまひました。

×

あくる朝、いつも早出の五平爺さんが、大きな狸が、かあいさうに頭をわられてあふむけにひつくりかへつてゐるのをみつけました。それは村の入口の、石地藏のそばでありました。

爺さんは、これは地藏さんのおさづけだと云ひながら、うんしよ〳〵と狸をしよつてかへつて、皮ははいで賣り、肉は料理して狸汁にしてたべました。

「すこし、へんなにほひがするぞ」などゝ、ぜいたくを云ひながら——(をはり)

弱い乳兒の育て方

牛乳、ミルク、重湯育ての人工榮養兒でもかうして立派に發育します

虚弱兒は、何れも健康兒に比べて、身體も小さく、顏は皺だらけで皮膚には光澤がありません。そして泣聲にも力が無く弱々しくて、發育が悪いものであります。

かうした弱い乳兒を持たれた母親の苦勞は並たいていではありませんが、それなら、どうすれば弱い乳兒を丈夫に育て上げることができるかと申しますと、先づ何よりも乳兒の榮養に注意して發育を促すことが第一であります。

乳兒の哺育料として、母乳に優る物の無いことは言ふまでもありませんが、其實際を見ますと、規則正しく授乳しても**綠便**や顆粒便、下痢などを出して榮養發育が不良に陷るものもあります。

これは健康兒でも、乳兒は消化力が極めて弱いものでありますから、充分に消化しきれないために起るのであります。況して、これが弱い乳兒でありますと、消化不良も一層激しいわけであります。

又、母親には何等の症狀も無く至極健康であるにもかゝはらず、乳兒が急性の衝心脚氣に罹つたりすることがあります。これは、母乳成分中のヴイタミンBの不足に原因するものであることは、既に皆樣が御存知のことですが、乳不足とか母親の病氣のためとかで、止むを得ず母乳に劣る牛乳その他の人工榮養料で育てる場合には一層この弊が多いのであります。

ところが面白いことには、最近

牛乳等に加へると、忽ち母乳同等の榮養價が生じ、同時に母乳にも無い消化作用が賦與され、**脚氣**に罹る虞れも一掃されるといふ驚くべき作用を持つた藥物が發見されました。それは、ヘーフエといふ一種の酵母から製られた「錠劑わかもと」といふ藥であります。

これは非常に强力な消化作用をもつてゐますので、乳兒にもつとも多い消化不良には大變よく効きます。綠便や粘液便も普通の健康便となり、人工榮養兒でも安心して育てられます。殊に牛乳育ちの乳兒には**便秘**が多く、所謂石鹸便といつて、白いコロ〳〵した固い便が出たりして困るものですが、この藥を常用させますと、非常に好い具合の軟便が毎日あり、人工榮養兒におそろしい消化不良や榮養不良の危險も防止されます。

また虚弱兒には腺病質で風邪をひき易く、神經質で肝が强く、**夜泣**といつて、別に譯もなしに夜分泣き叫び、よく眠らぬことがありますが、この「錠劑わかもと」には、身體の抵抗力を强め、神經を靜める作用もありますので、それらの乳兒にも賞用されます。

乳幼兒の成育に必要な榮養成分
澤村博士の苦心によつて理想的の榮養酵素劑成る

乳兒の發育成長に必要な榮養素は二三に止まりませんが、中でも最も缺くべからざる物は、ある種の蛋白質の中に含まれてゐるリヂン、チスチン、ヒスチヂン及びヴイタミンA、B、Dであります。

蛋白質中に含まれてゐる前述の成分が、乳兒の發育成長に著るしい效力を有し、何れも血となり肉となる貴重な榮養素であることは内外諸學者の嚴密な**動物**試驗に據つて實證されたところでありますが、ヴイタミンのみに就て申しましても、其のAは身體の抵抗力を强める效があり、殊に結核に罹り易い腺病質な小兒に必要です。同じくBは一般に脚氣に對する效能ばかりが知られて居りますが、一方には成長を**促進**する作用があります。同じくDは骨格の形成に無くてはならないもので、これが缺乏しますと骨が軟かくなつて所謂佝僂病になります。

生後五六ケ月を經た人工榮養兒には、一日二三回粥、野菜、人蔘、大根等の野菜汁や果物の汁をよく與へますが、これはそれらの汁の中に含まれてゐるヴイタミンの攝取によつて、乳兒の發育をよくするのが目的であります。前項でもちよつと述べました「錠劑わかもと」の成分には此のヴイタミンA、B、D、Eを初め前述のリヂン、チスチン、ヒスチヂン等を實に多量に含んでゐるのであります。

我國榮養學の泰斗として有名な東京帝國大學名譽教授**澤村**眞博士は多年苦心研究の結果、獨特の特許方法によつて、此のヘーフエ酵母の全成分に米胚芽の有效成分を加へて、この「わかもと」を創製することに成功されました。

かんたんに防げる
乳不足と乳兒脚氣

赤ちゃんが生れた時お乳のよく出ないのには、殊に初産の若いお母樣はよくお困りになつて、やれ、鯉こくだの、お餅だのとお上りになりますが、近頃では澤村博士の「錠劑わかもと」をお服みになつて、乳不足から救はれた方が隨分澤山ございます。これは乳を出すだけの藥ではなく、榮養劑として、胃腸藥として、非常に廣い效能を持つて居りますが、催乳の作用では他の催乳藥や、乳のマッサージを凌ぐ效果をもつて居ります。

それにヴイタミンB其他の榮養素も豊富ですから、産後の衰弱を恢復させる效著るしく、産前産後の脚氣はもとより、乳兒脚氣に對しても専門の脚氣藥にまさる效果があります。

錠劑「わかもと」は粉末新藥の他に服用者の便宜のため、錠劑として一般に頒布されてゐますから此の錠劑「わかもと」を碎いて牛乳や重湯等に加へますと、脱脂乳同樣の榮養價が生じ、充分に消化吸收されますので、發育困難とされてゐる人工榮養兒でも、丸々と立派に育成されます。

右の「錠劑わかもと」はわが國民の健康増進、乳幼兒の死亡率遞減のために種々の社會事業を行はんとする榮養と育兒の會から左記の如き大衆的廉價で發賣されてゐます。御希望の方は發賣元、東京市芝區愛宕下大門際六、榮養と育兒の會(振替東京一七〇〇〇番)へ藥價だけ御送金になれば送料は會で負擔して急送されます。藥價は二十五日分一円六十錢。八十三日分

「わかもと」粉末＝新劑 九〇瓦入 卅日分一圓六十錢
「錠劑わかもと」同樣各藥店に販賣

母の手記

生後六ケ月で重い消化不良の子と常習便秘の六歳兒が生れ變つた健康兒に

(東京)横山繁子

私は六歳と二歳になつた二人の子の母でございます。下の子は生れつき弱さうな子でしたが、果して生後六ケ月の頃から、胃腸をこはしてしまひました。手を替へ品をかへ藥も樣々なものを服ませましたが少しも快くなりません。むつがつて、乳ものまず、夜もろく〳〵眠りませんので、まるで骨と皮とになつてしまひました。主人も、**一層**自分が身代りになれるものならなどとも云ひましたが、いくらあせつても捗々しくないので、私までがすつかり疲弊して半病人になりました。すると或日、知合ひの方が來られて、よい藥があるから是非試してみてはどうかといつて、「わかもと」のことを知らせて下さいましたので、早速附近の藥店から買求めて與へて見ました。

處が二三日の間にもう効驗が見えまして、これ迄永い間一日に五六回もいやな便がありましたのが、二三回位に減り、それが又段々と回數も少く、便の質もよいのが出る樣になりました。そして夜もよく眠り、お乳もよく飲みだしましたのでほつと致しました。其後は毎日缺かさず頂かしてをりますが、此頃ではまる〳〵と肥つて、迚も元氣になりました。また六歳になります上の子供は小さいのとは**反對**に五日も六日も通じが無く、時々浣腸をせねばならぬ有樣で、食事も充分に頂かず、顏色もすぐれず他家の子供に比べものにならぬ程不活潑でしたが、「わかもと」を毎日頂かす樣になりましてからは、食事も餘程おいしく食べる樣になりまして、肉つきもめつきりよくなりましたので、家内中大喜びでございます。そして主人などは、「わかもと」のお蔭で助かつたのだと毎日の樣に申してをります。

姫路部隊のわが勇士勇躍して壯途へ
ゆふべ大連驛を出發

滿蒙の治安を紊し各地に跳梁跋扈する兵匪馬賊は益々その勢ひを逞しうする折、この暴戻無比なる兵匪馬賊を膺懲掃蕩してわが權益を擁護する重大使命を帯び全國民の信頼を双肩に荷ひ白鷺城下をあとに勇躍、雪の滿洲にと去る廿六日來連した小林少佐の率ゆる中國健兒姫路部隊の勇士〇〇〇名は大連において滿洲での第一日をおくり廿七日愈々〇〇へ出發した

大連驛頭を埋めた盛んな見送り
萬歳、軍歌の津浪に送られて先づ第一列車出發

市内に散宿した勇士は午前すでに出發の準備なり午後三時半各中隊毎に集合、宿營地市民の見送りを受てそれ〴〵大連驛に到着驛前に整列する固く結んだ脣、緊張した顔、防寒具に身を堅めたがつちりした體軀、その颯爽たる軍裝の姿は見送る者に心強さを與へる、午後四時三十分全〇隊の集合を完了し午後五時〇五分乘車を終る、これより先勇士の壯途を祝せんとする市民達は續々とつめかけ午後五時には第一第二兩フオームは全くの人の山と化す、期せずして起る歡呼のどよめき、萬歳の嵐、高張提灯と日の丸の小提灯の火の波、一中、大商の太鼓隊がこゝを先途と打ち鳴らす、車窓よりはこれに應へる勇士の軍歌が高らかに、これに見送りの人々も和して絶叫する、何と云ふ感激の情景だらう午後五時三十分村井清規少將が青木富田兩副官、中薗、櫻井兩參謀の幕僚を從へ其長軀をフオームに現はし見送りの市民に一々擧手の禮を以て答へるや市民の感激と亢奮はその極に達する、萬歳々々の歡呼の津浪「こゝは御國の何百里」の軍歌の動搖めきが怒濤の如く大連驛をゆるがせる、かくて午後六時一萬餘の官民の湧き起る萬歳の聲に送られ重大なる使命をはたす必死の色を眦に現はしたわが姫路部隊の精鋭は勇躍して汽笛一聲〇〇差して壯途に就いた

鐵路までも見送市民で埋る
續いて第二列車出發

引き續き午後九時第二軍用列車で山本篤之助少佐指揮の小倉部隊が壯途に上つたが、市民は續々とつめかけ午後八時半には第一フオームは勿論第二フオームは次々から見送りに來る老若男女のため遂に線路を埋めその數實に一萬五千を算し定刻輸送指揮官山本少佐以下〇〇〇名の北九州の健兒は潑剌としてこれまた怒濤の如き萬歳の喚聲に送られ日の丸の小旗、提灯の亂舞に見送られ再び〇〇へと向つた

出發の直前に決意を語る
驛貴賓室の村井少將

出發に先立ち村井少將は驛貴賓室で語る

我等の決心は昨日到着した時申上げた通りだ、今朝自分は磐城町一商店と云ふ差出人から手紙を受取つた、內容は熱烈なる辭句を以て綴られ、金三十圓也が同封してあつた、全く感慨の外はない

又第〇大隊長小林少佐は左の如く語る

昨夜御當地に宿營するに對し官民諸氏の御懇切な御世話を深く感謝致して居ります、またかほどまで熱誠な御見送りを受けて全く感慨して居ります、乘り込んで參りました以上生命を賭して戰ふつもりですから御安心下さい、何卒貴紙を通じてよろしく皆さまに御傳へ下さい

昨夜大連驛の姫路部隊出發

奉天近郊に匪賊猖獗
石佛寺中心に

關東軍當局談＝奉天西北地區の匪賊猖獗狀況左の如し

一、奉天を西北方に距る三十粁の石佛寺方面唐三家子には最近わが守備隊法庫門附近匪賊討伐のため北上の虚に乘じ約五六百の匪賊來襲し暴虐を極めつつあり

二、廿三日朝石佛寺に騎馬隊約二百名來襲し公安隊と交戰後逃走せり

三、既報の板橋子北方八粁の四臺子附近に廿五日約八百名の兵匪現はれ目下南下中【奉天電話】

海城縣下の慘害
破害村落九十九ケ村

匪賊の暴虐が如何なる慘害を良民に與へてゐるかを知る一適例として海城縣公安局が縣內の滿鐵線西部地方の匪害狀態を調査せるところによれば次の如き驚くべき數字を示してゐる

▲第五區　被害地域二十五ケ村、被害者戸數三百七十二戸、二千五十人、燒失家屋百二十四戸、破損家屋三百二十五戸、人質五十七人、人質となつて逃歸つた者三十三人、死者三人

▲第八區　被害地域十六ケ村、被害者二千八百九十戸、二萬十八人、燒失家屋三十五戸、破損家屋二百六戸、人質二百四十五人、人質となつて逃歸つた者百八十三人、死者八人

▲第九區　被害地域十二ケ村、被害者一千九百五戸、九千四百八十八人、燒失家屋四十七戸、破損家屋百五十二戸、人質六十八人、死者四十四人

▲第十區　被害地域六ケ村、被害者六十四戸、三百六十二人その他不明

▲合計　五十九ケ村、五千二百三十一戸、三萬一千九百十八人、燒失家屋二百六戸、破損家屋六百八戸、人質三百七十八人、人質となつて逃歸つた者二百十六人、死者五十五人

なほ第六、第七兩區は現在完全に匪賊に占據せられて調査不能であるが被害程度は以上各區に比し更に甚だしきものがあらう、この方面の匪賊は老北風、海紅、海樂、青山等を頭目とするもので總計二萬に達すると【海城電話】

鳳凰城驛地下室の避難民

安奉線各驛の警官は從來の五倍を增置
まだ〳〵警官は不足

被害續出せる安奉沿線附屬地の警備充實は今や不安に驅られてゐる居住民の等しく待望してゐるところで軍部乃至關東廳警務局でも過般來の馬賊襲擊に目下出來得る限りの軍警を同地方に派遣し極力賊團の襲來に備へてゐるが、右に關し事變以來專ら警備事務に忙殺されてゐる中谷警務局長を訪へばいやどうも安奉沿線は御承知の通り山谷が迫つてゐて地理に明るい賊團が單線のため思ふやうに應援も繰り出せないといつた警備薄の地點を出沒襲擊して來るわけなので仲々警備も骨です錦州地方を牽制して置いて安東沿線を騷し遼西地方の官匪と相呼應して奉天を攪亂しやうといふ彼等の計畫は此處を先途と今後は益々油斷ならぬ次第だ、こんなことは當局でも初めから分つてゐたので取敢へず二百名增員の分を同地に派遣したがまだ〳〵こんなことではとても駄目だから先般來なほ千四百人ばかりの大增員を行ひたいと思ひ滿鐵にも交渉したし政府にも追加豫算を要求中であるが追加豫算は議會の協贊を要し滿鐵の方もまだ海のものとも山のものともつかぬし兩者とも今の處急場の間に合ひそうにもない、併し安東線各驛には最近軍隊も增派され警察官もこれ迄の約五倍を增置してゐるのでさして心配はない

賊團は密偵を放ち我軍の配備を知る
驚くべき速さで規則的に行動
二十七日草河口にて　島田特派員發

二十六日未明より鳳凰城を襲擊した部鐵梅を頭目とする匪賊約一千名は目下鳳凰城より程遠からぬ城西溝に部隊を集結せしめ負傷者の手當をなして居るとのことであるが鳳凰城驛に臨時移動し鷄冠山守備隊では啻にこの一味のみならず最近盛に安奉沿線に出沒し猛威を逞しうする匪賊團を一擧に掃蕩し安奉沿線をして安全地帶たらしめることに決し姫路〇〇旅團より〇〇名の增援を得て愈々二十七日午後二時より大隊長板津直純中佐總指揮の下に鳳凰城を中心とした匪賊掃蕩を開始することになつた、出動に先立板津大隊長語る

事變以來他の鐵道に比して安奉線は實に平凡であつた、然し平凡といつても決して匪賊が居ないのではなく寧ろ滿山皆な匪賊ともいへる程賊は優勢であつたが幸にして我守備が嚴重であつたために流石の匪賊も安奉線には手出しは出來なかつたのだ、然るに軍の命令によつて聊かわが守備が手薄となつたこと逸早く知つた賊は忽ちその牙を現はしかの秋木莊驛襲擊となり今回の鳳凰城事件となつたのだ、賊がわが守備隊の配備を知るとは驚くべき早やさで勿論總べて密偵によつてされるものと思はれるその他においても彼等の行動は非常に規則だち一例を擧げればその陣容だが先づ山の峰々に一人二人の歩哨を立て第二線には二三十名、更に第三線第四線を深く構へるといふ遣方で確實に錦州政府より指導員が派遣されるものと思はれる、然し皇軍の威力を以て徹底的にやつゝける考へだ

湯山城襲擊に兵匪百五十名出發

安東在鄉軍人分會に二十七日午後七時三十分ごろ五龍背より達せる情報によれば鳳凰城附近に集結し居る祭頭目の率ゐる約百五十名の一隊は湯山城を襲擊すべく出發せりと【安東電話】

四臺子で斥候衝突
鳳凰城へ安東から守備兵增派

四臺子派出所より安東署に達せる情報によれば廿七日午後五時ごろ同地警戒中の警官隊は長岡村上兩巡查を南方に斥候に向はせたるに同七時ごろ敵の斥候二名と出會ひ交戰の末擊退した、なほ北方に派遣の斥候はまだ歸來せず同地附近は嵐の靜けさの如き有樣である、安東守備隊兵〇〇名は二十七日午後六時三分發列車にて鳳凰城に出動した【安東電話】

旅順全市に特別警戒
衛戍勤務增員

廿七日突發した故小野上等兵殉職事件に對し旅順に於ては非常なる緊張振りを呈し旅順警察署は從來の警備力を一層充實すると共に在鄉軍人分會でも衛戍勤務に對し增員を行ひ又民政署に於ても水源地その他重要地點に對しては二十七日夜から非常特別警戒を行ふ事となつた

最近流行する新語

引ッ切りなしに產れ出る尖端語には全く驚らせられるが「現代」新年號の別冊附錄「新語新知識」を見れば新語なら一切合切分り重寶無比なので物凄い人氣である。

和かな陣中風景
田庄臺方面の兵匪を掃蕩して英氣を養ふわが勇士
二十七日田庄臺にて　神藏特派員發

長春、吉林、チチハル等で殊勳を現はした旅順駐剳第〇〇聯隊は田庄臺方面における兵匪を完全に掃蕩し市中の治安は支那側保安隊をして維持せしめわが軍は兵員の休養に努めてゐる、一方二十五日營口に到着した遼陽駐剳第〇〇聯隊公主嶺駐剳騎兵部隊及び野砲山砲の各部隊はぞく〳〵遼河を渡つて田庄臺に到着それ〴〵部署につき天野旅團司令部は廿七日第〇師團司令部は廿八日何れも田庄臺に到着するので命令一下北寧線上に進出せる錦州軍の指揮する匪賊の後方を斷つべく準備を整へ全軍の士氣は遼西の曠野を壓し天を衝き旺盛である、遼河は昨今の寒氣ですつかり凍結し厚さ三十五サンチに達し野砲の渡河には全く不安を伴はない、田庄臺市中はわが軍の入城後全く平穩に歸つたが、なほ便衣隊敗走兵、匪賊の潜伏を虞り嚴重な家宅搜索を行つたが、變裝した賊はなほ多少市中に潛伏せるもの〻如く大商店は閉鎖したまゝである、盤山縣一帶は有名な遼西馬賊の跋扈する地方なのでこの機會に乘じて掠奪を開始するやも知れず住民は戰々兢々として不安にかられ日本軍の出動を心から歡迎してゐる、第〇〇聯隊の將士は二、三日來敵の主力が撤退し今は全く銃聲さへも聞こへないので「これでは演習よりも樂だ」と脾肉の嘆聲があちこちから漏れる二十六日には風呂にも入る酒も出る將士一同は大嬉びである、やがて一兩日に迫つた戰ひを前に武人の嗜みだと言つては床屋を呼んで髭をつむやらストーブをかこんで雜談にふけるやら「この太陽」や「東京行進曲」の合唱に嵐の前のなごやかな陣中風景である

散宿の代りにと慰問金を贈る
磐城町の一商店から村井旅團長に宛て

廿七日午後一時ごろ遼東ホテル內村井〇〇旅團司令部へ村井旅團長宛の封書を置いて立ち去つた一日本人があつた、村井旅團長が開封して見ると「磐城町一商店」として國事のため出動される閣下初め將士に對し我々國民は何んと感謝してよいか云ふ言葉を知りません、實は今回御上陸に際し私宅へも御散宿願へることゝお待ちしてありましたところ遂に割當てが廻らず殘念に思つてゐます、よつて少額ですが慰問金のうちに繰り入れて下さいといふ意味の赤誠こもる手紙を添へて現金三十圓封入してあつた、村井旅團長も一市民のほとばしる熱誠にしばし感激の面持であつた

小型電線電話で通信連絡を圖る
考案者小澤大尉來る

【東京二十七日發】小型無線電話の考案者步兵三十七聯隊附日本大學大阪中學服務小澤大尉は長谷部旅團長が以前三十七聯隊長當時小澤氏の研究を援助した關係から今回臨時關東軍司令部附に任命され二十六日午後十時十二分大阪發渡滿した、その目的は全線との通信連絡に新考案機を使用せしむるためで今回昂々溪の場合の如き全く全線との通信連絡上非常な困難を感じた結果もあり之が改善は焦眉の急とされてゐる

廿九日の朝內地へ
傷病兵出發

二十七日朝着連した傷病兵八十六名は昨夕刊既報の如く關東軍衛戍病院分院に收容されてゐるが、一行は二十八日は一日休養の上二十九日午前十一時出帆の（昨夕刊二十八日發は誤り）御用船平仁丸にて廣島衛戍病院に送還される筈である

スポーツ課稅反對運動開始

【東京二十七日發】野球のみならずスポーツ一般に課稅を行はんとする機運再度紛擾具體化せんとして來たのに對し鷹田氏他十四、五名のスポーツ團體代表は二十六日午前十時半文部省に集合、鳩山文相に面會課稅反對の陳情書を提出懇談後更に打揃つて大藏、內務等關係省並に東京府知事を歷訪同様陳情書を提出猛運動を開始した

スケート選手權大會は中止

明年一月十七日奉天に於て開催することになつてゐた滿洲體育協會主催の全滿スケート選手權大會は時局のため中止することゝなつた

增援警官出發

大連警察署より沿線に轉勤を命ぜられた警察官五名（撫順署四名、開原署一名）は二十七日二十一時三十分發列車で夫々任地に赴いた

安東の警備

安奉線高麗門、鳳凰城附近に兵匪の跳梁のため安東より各地に應援のため軍警出動し安東警備手薄のため新義州より守備兵〇〇〇名來安安東の治安に務めてゐる【安東電話】

足立氏から謝電

時局後援會より派遣され內地を遊說中の足立幸一氏は廿七日門司より本社に左の電報を寄せた

貴社御厚意により內地遊說任務達成謝す、大阪京都東京各地熱狂す感激のあまり素封家より家傳の銘刀寄贈を受く廿九日着連の豫定皆さんによろしく

暴風警報

二十七日午後十一時遼東半島及近海一帶を警戒す

安樂椅子

內田滿鐵總裁が東上した驛頭の寒風に吹かれ竹中理事が外套も着ず餘り厚そうでない紺の背廣服のまゝで防寒服に包まれた人々に混つて平然としてゐた

◇

「寒くはありませんか」といふと「氣の持ちやうで何ともありませんよ」と相不變外套なしの姿をよく見受ける、あの一見蒲柳の質らしく見えるが、あれで却々の健康體である。

◇

この夏も暑い眞最中に薄くない洋服を着て必ずチヨッキをつけて、一向暑そうでない「氣の持ち樣でネ」と遂にチヨッキを外さず何時も三つ揃で夏を征服し寒さにも暑さにも素晴らしい超越振りを發揮してゐる

◇

また令夫人も夫君に負けず平氣で電車內で巡回文庫の雜誌を讀んで見栄に拘らない氣持のいゝつゝましやかな超然振りを示してゐる。

曙の鐘 (152)

倉田潮　河野想多畫

山の夜（五）

たえ子はあけみの言葉にますます怒りをあふられた。

「あけみさん」ときつと居住居を正して、彼女は云つた。「私、春木を絞首臺にのせても悔いない、なぞと云つた覺えはありませんわ。あなたの仰有ることを默つて聞いてゐると、私、失禮ですが、執念の蛇につきまとはれてゐるやうな氣がしますのよ。道理にもとつたあなた達の意思をのみ、何處までも通さうとして、周圍を全然かへり見ないんですもの。私、こわいわよ。でも、あけみさん、今のたえ子は昔よりずつと强くなつてゐるわ。それに此處はあなたの御屋敷とは少し譯が違ひますから、あなたが何んなに高壓的に出ても、無理は決して通りませんわ。たゞあなたが春木さんのことを案じてとにかく遠くから御出でたのですから、今後私が夫の春木を救ひ出さうとして取らうと思ふ行爲を參考までに御知らせして置きますわ。あけみさん、私は明日にも上京して、御承知か何うかしりませんが、淺草に駒太郎さんと云ふ、私達二人の恩人がゐる――その駒太郎さん夫婦に事情をよく打ちあけて、一緒に警察へ行つて貰はうと思ふのよ。そして、あなた方御兄弟が私に加へた暴虐の最初から、あの洋館の最後まで、洗ひざらひ正直に打ちあけてしまはうと思ふのだわ。あなたの家には大變不名譽ですまないけれど、夫の春木を救ふ爲には、私は他をかへり見てゐる閑がないのよ。これが私の春木を救ひ出す爲めに、先づ取られねばならぬ要としての手段ではないかと思ふのですわ」

あけみは憎惡に燃える瞳で、燒きつくさうとするやうにたえ子の眼をにらんでゐた。が、たえ子は勝ちほこつて

「それにあけみさん」とあけみを冷やかに見下して言葉をついだ。「今夜あなたが此處で云はれたことも、大變御氣の毒ですけれど、私、出るところへ出ればそのまゝ云はねばならないと思ふのですわ。私、何處までも眞すぐな道を通つて、正面から救ひの門を開き度いと思ふのですから、あなたも私の性質を考へて許して下さい。私、春木に限つて決して人を殺すやうなことはしないと思ふのですが、もし春木が私の爲に人を殺したとすれば、その時は私も潔よく死ぬ覺悟ですわ。死んでも私、一度身をゆるした春木と別れる氣にはなれないのよ」

あけみはその言葉を聞いてゐるに堪へぬやうに憎々しげに顔をしかめてゐたが、言葉がとぎれると

「たえ子さん」と唇をわなゝくと顫はせながら、低い聲で云つた。

「そんなことであなた、春木さんが救ひ出せると思ひますか」

「私、正しいことは最後には勝利を得ると思ふのよ」

「では、やつてごらんなさい。私の家の内幕や今私がこゝで申しあげたことは、何處の誰に云つたとて、私、決して恨みには思ひませんわ。やつてごらんなさい」

「やりますとも」

「たゞ私、その爲に春木さんを殺してしまはねばならぬ結果になるのが殘念です。でも、かうなつてはもう仕方がありませんわ」

あけみは思ひがけない靜な低い聲でさう云つて、そのまゝ座を立ちあがつた。

「私、では、おいとまするわ」

「でも、あなた、こゝには宿は一軒しかないのよ」

「それは知つてゐるわ。私、山をこれから下るつもりよ」

「こんな夜更けに」

「夜はかへつて氣持ちがいゝぢやないの」

あけみはさう云つて、何んなにとめても聞き入れずに宿を出た。

たえ子が歸りがけに廊下を眺めると、月の山路を落ちついた足並でぶらぶらと歩いてゆくあけみの背ろ姿が眼に止まつた。その並外れた氣强さに、たえ子はまた驚かずにはゐられなかつた。

新刊紹介

▲爾靈（第三〇四號）價三十錢、關東廳内務局内南滿洲警察協會
▲ぬかご（新年號）價四十錢 東京市本郷駒込曙町二番地俳句月刊社
▲願祭（十二月號）價四十錢、東京市外大崎町谷山二二三一願祭發行所
▲教育問題研究（十二月號）價四十錢、東京市麴町區四番町七第一出版協會
▲棋道（十二月號）價五十錢、東京市麴町區永田町二丁目一番地日本棋院
▲中央佛教（第十二號）價三十五錢、東京市牛込區矢來町五十七番地中央佛教社
▲拓殖公論（十二月號）價三十五錢、東京市麻布區六本木町三二番地拓殖公論社

けふの放送　大連 JQAK

十二月二十八日

▲午後三時三十分　ニュース
▲午後六時十分　ニュース
（以下内地中繼六時三十分）
▲掛合噺「藏拂ひ」大丸民之助、同海老一菊藏、同芳之助、同淸繁、柳家さし松、囃子連中
▲放送舞臺劇（大阪より）曾我廼家五郎一座「笑を忘れた人々」（堺漁人作）（場景）一（雪の夜の工場裏空地）二、福井家の庭先、町内の夜警（一朝）質屋の店員（五六）同番頭（蝶六）同作（林蝶）同隱居（五樂）同嫁（時和）同主人（一郎）同女給（葉蝶）老たるルンペン小林平吉（五郎）或る會社の重役（四郎）大工の棟梁（時右衞門）重役の夫人（五郎丸）鐘詰問屋福井卯之助（蝶六）其の娘高子（秀蝶）福井の娘藤子（桃蝶）若きルンペン三浦幸一（五月）福井家下女おさき（蝶幸）同下男久八（小次郎）同仲働きお小夜（蝶壽）藤子の母おつれ（大磯）其他囃子連中
（以下大連放送局より）
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニュース

兒童敎訓の良雜誌

幼年倶樂部が常に家庭に於ける兒童の智、德、敎育に就き其他この繪畫等最善の留意を拂つてゐる特に新年號には東京高等女學校長棚橋絢子先生が「國を盛んにするには敎育の振興にある事勿論であるが、別けても幼少年時代の敎育こそ國家の消長を左右する大問題である」との尊い敎訓は各家庭必讀のものである

現代（新年號）

卷頭の時局論に民政の永井、政友の鳩山の對立、聯盟の影武者米のドース、英の新聞王エキスプレス紙のビーヴァブルーク卿の對立論戰、創作は久米、武者小路、青果其他の文豪のオンパレード、附錄として「短篇集」「最新新語新知識」「最近海外百話」「最近化學の實際化」其他新年讀物をし推奬すべき記事豐富

メヌマ化粧品本舗　井田京榮堂新築成り

大量生產と品質向上に努力す

メヌマ、ポマード及クリームで有名な井田共榮堂では創業以來僅か十年にして一躍化粧品界の寵兒となり異常の發展をとげ從來の店舗では狭隘を感じつゝあつた爲今春來東京市本所區林町に宏壯な邸宅及近代科學の粋を盡した宏大なる工場及事務所を新築中であつたが此程竣成した、新工場は模範的の諸設備を有し規模に於ても從來の數十倍の製造能力を持つ理想的工場でメヌマ化粧品が減產化粧品界に萬丈の氣を吐くものである過般丸の内東京會館にて得意先其他二百數十名を招き盛大なる新築披露の宴を催し名士多數參會盛況であつた、同社の前途益々有望である（寫眞は新築のメヌマ化粧料本舗工場）

満洲日報

今曉巡察中のわが兵 大連市内で射殺さる
匪徒は直ちに逃走逮捕されず 暴威遂に大連に迫る

満蒙の險惡なる狀勢、就中錦州附近に占據して張學良軍隊の眼覺しき活動に鑑みて十二月二十六日大連に上陸した姫路〇〇隊は同夜大連市内に警戒宿營したが、今曉二時ごろ〇〇中隊小野美騎兵中尉の指揮する巡察兵が市内龍田町陸軍倉庫附近を通行中突然便衣隊らしきものから拳銃をもつて狙撃された、その際先頭に立ち勇敢に行動をして居た小野一等兵は臨機の措置をなしたにも拘らず胸部貫通銃創をうけ瀕死の重體に喘ぎ乍ら巡察長等に救けられ最寄りの憲兵分隊に一時收容せられ軍醫の手當をうけたが二十七日午前三時遂に悲壯なる最後を遂げた、急報に接するや憲兵隊長は直に部署を區分し大連憲兵分隊こ共に極力匪徒の搜査に努めつゝあるも未だ逮捕に至らない、同一等兵は特別進級により上等兵となる＝號外再錄＝

攪亂された大連の平穩
豫期出來ぬ匪徒の行動

殘虐極まりなき支那兵の暴威は遂に大連市内にまで及び今曉龍田町陸軍倉庫附近に於て巡察中の姫路部隊小野一等兵が便衣隊員らしき者に突如射殺された重大事件が突發してより市内の平穩は忽ち攪き亂されて、歳末の繁雜と共に不安は刻々募つて來た、これより先二十六日夜張學良の密令を帶べる抗日義勇軍、抗日鐵血團の決死隊十數名が大連市内に潛入、皇軍の攪亂を策しつゝありとの報に接し軍部及び警察方面では水も洩らさぬ嚴重警戒網を張つてゐたところ、突如我兵の射殺事件が發生し神出鬼沒の便衣隊員の行爲には驚くの外なく死もの狂ひとなつた便衣隊員が今後如何なる行動に出づるとも計られない危險狀態で、今や市民は支那兵の暴威を前にして戰々兢々たるものあり、軍隊及び警官增員の聲は今や大連市民の輿論となつて擡頭してゐる

小野一等兵遭難模樣

巡察中匪賊に狙撃され賊彈に斃れた小野一等兵は同夜巡察長下士一名と共に宿營せる清水町一帶から馬繫場を巡察任務に服し馬繫場の巡察を終り馬繫場に赴く途中旭町の東北隅から陸軍倉庫の東側廣場に出んとした際小野一等兵は巡察長に前方を見るからと巡察長より約百米突前進した時突然三發の銃聲が聞へたので巡察長が駈けつけて見ると小野一等兵は左胸部に貫通銃創を受け銃を持つたまゝ路上に仰向けとなつて倒れてゐたので急報により旅團司令部よりは加藤二等軍醫正等が駈つけ酸素吸入其他で應急手當を加へたが遂に蘇生せず午前三時悲壯なる最後を遂げた、匪賊の所持せる拳銃はブローニングにて附近には三發分の藥莢が遺棄されてあり人數は少數のものらしい

小野一等兵遭難現場　矢印の場所

犬養首相參內

【東京廿六日發】犬養首相は午後一時十五分參內陛下に拜謁仰せ附けられ英、米、佛三國よりの錦州攻略に對する帝國政府の回答ならびに帝國政府の聲明書及び錦州方面の情況等に關し委曲奏上御下問に奉答した

匪徒搜査 手掛りなし

巡察中匪賊のため狙擊され小野上等兵卽死したとの急報に接した大連憲兵分隊には卽時旅團司令部附憲兵隊と協力して全市に亘り非常警戒線を張り匪賊逮捕に努めたが二十七日正午に至るも何等手がゝりなく引續き警戒中

小野一等兵遭難現場附近略圖(×印)

殘念に堪へないが 一死無駄ではない
全軍將士に非常に緊張を與へた
村井旅團長暗然と語る

潛らずも上陸第一夜において愛する部下の一名を潛入便衣隊の狙擊な魔手によつて失つた村井姫路〇〇旅團長を遼東ホテルの司令部に訪ふと軍務に忙殺されて居る旅團長は寸暇を割き暗然として語る

戰地といふのでもないのに未だ滿洲の土を踏んだばかりで不意討を喰つてこんな最後を遂げさしたのは洵に可哀想である、私としても假令一名でもこんな處で部下を失はふとは豫期して居なかつたので頗る殘念である、支那人のやることは全く判らない油斷も隙きもならぬから我々は十分警戒せねばならぬ、小野上等兵の死はわが旅團の全軍に非常な緊張を與へた、士氣は却つて鼓舞されて居る、上陸して以來いろく御厄介になりながら斯ういつては甚だ失禮であるが大連に來て見て感じたのは市中の人が案外未だ緊張して居ない、こゝだ、斯う云ふ不幸な出來ごとでもそれが市民に對する刺戟となつて一層の緊張を誘つたならば一死決して無駄ではないと思ふ、われくはこの兵卒を犬死に終らせ度くない決心を十分に持つて居る

射擊の名手 模範兵士だつた
中隊長不破大尉語る

巡察中不幸匪賊のため狙擊され勇敢なる部下小野上等兵を戰死せしめた中隊長不破大尉は哀然として語る

小野上等兵は岡山縣倉敷町出身で平素非常に溫厚なそして責任感念の強い模範兵士で初年兵の時既に上等兵候補者となり出發前には聯隊の上級佐官附き當番で當時の佐官は渡滿せず本人は自分の希望で出征して來た出動後も率先して涙ぐましい傳令にかけても非常な名手で聯隊でも名聲ある射擊章を貰つてゐたので花々しい戰ひもせず上陸の第一夜匪彈に倒れたことは誠に可愛想なことをした私はもうこれ以上何んにも言へませんどうか察してやつて下さい

滿存の不破大尉も暗涙にむせびながら「キット部下の敵は討つてやる」と固い決心の程を示し隊内も異常な緊張振りを示してゐる

湖北の興安 共產軍占領

【漢口二十六日發】湖北省興安で共產軍に包圍された中央軍第三十一師張印相は決死的戰鬪に依り活路を見出し二十四日拂曉全軍城外に突擊したが共產軍に擊退され師長以下各旅長等全部戰死し同縣城は共產軍の手に陷り武漢は直接脅威を受くるに至つた又天門でも討伐軍は共產軍の包圍を受け大損害を蒙り共產軍の勢力優勢を示してゐる

北支軍長會議

【天津廿六日發】學良を中心とする北方各軍長官會議は昨日北平で開かれ錦州作戰協議の結果左の如く決定した

一、錦州方面が危機に瀕せば關內の北軍は全軍を擧げて應援に出動し平漢、平綏兩線は山西軍、津浦線は山東軍が警備する

塚本長官辭任

【東京二十七日發】去る十五日附を以て塚本關東長官の辭表提出しあり年內に後任決定の筈である

植民地長官更迭 明春早々解決か
首相、拓相等協議

【東京二十六日發】秦拓相は二十六日午後四時半犬養首相を私邸に訪問植民地長官更迭問題につき協議したが犬養首相は朝鮮總督問題並に滿鐵正副總裁の更迭問題は明春早々解決する意嚮で年內には植民地人事には手を附けぬ方針である

關東長官は山岡氏有力

【東京廿六日發】秦拓相は關東長官の後任を詮衡中なるが山岡萬之助氏最も有力一兩日中に正式決定を見る模樣である

將士感謝文可決 全院委員長選擧
日曜日の衆議院本會議

【東京二十七日發】衆議院本會議は二十七日午前十時半開會劈頭陸海軍將士に對する感謝決議文を滿場一致可決我權益擁護のため酷寒の滿洲に奮戰しつゝある將士に對し國民の總意を代表して深き感謝を捧げた、この日全院委員長、常任委員長の選擧を行つたが野黨は各委員長を獨占して絕對多數の威力を發揮し之を以て院內書記官は舉げて野黨の占むる處となり政府野黨は愈々するどい對立を見せつゝ、休會明けを待つ事となり休會明け劈頭の解散は最早必至の事となつた、午前十時廿分振鈴と共に議員着席又犬養、大角、荒木、前田秦の各閣僚も本會議に於て初めて大臣席に就く午前十時三十五分中村議長開會を宣し起立して總員起立の內に勅語を捧讀す次いで一松定吉氏の動議により議事日程變更小山松壽氏外四十二名提出の陸海軍將士に對する感謝決議案を上程

一松定吉氏登壇

一松定吉氏(民)

酷寒の野に戰つてゐる我忠勇なる將士に對し國民の意志を代表して感謝の意を表明したい、これは我全國民の切なる意志であると述べて降壇滿場拍手裡に可決決定す

大角海相

滿場一致を以て可決された決議に對しては感謝の外ありません、直に全軍に傳達致します

荒木陸相

我陸軍は海行かばみづく屍の心を以て命を國家に捧げて我生命線確保に轉戰してゐるます、然るにこの溫かき決議に對しては將士も感泣するであります、軍も今後奮鬪これ努め御期待に反かないことを期する積りであります

と謝意を述べ次で

增田副議長

投票總數 三六二票
二一九票　鳩澤　宇八(民)
一四一票　土井　權大(政)

外大竹貫一、太田信治郎各一票、鳩澤氏絕對多數で全院委員長に當選十一時二十五分休憩、午後零時五分再開、增田副議長議長席に就き休憩中に行はれた常任委員選擧の結果を報告したる後

本會期中本會議を〔……〕院委員長の選擧に入り堂々廻りとなる、開票の結果

文の議事を終り各閣僚退出次で全と熱と力の感謝演說を行つて決議

貴院全院委員長 松平賴壽伯當選

【東京二十七日發】貴族院本會議は午前九時五分振鈴と共に德川議長純白燦たる大禮服にて眞先に着席次いで各議員入場衆議院の解散氣構へも一向に響かずなごやかに開會劈頭德川議長より二、三報告あり昨日の開院式に賜りたる勅語に對する奉答文の議事に入り全會一致可決、議長奉答文捧呈のため同九時十四分離席す、副議長議長席に就く議事日程に入り全院委員長の選擧を行ふ其の結果投票總數百九十五票の內

一八九票　松平　賴壽
二票　細川　護立

その他四票蜂須賀、柳澤、本間氏らに一票無效一票斯くて松平伯全院委員長に當選次いで常任委員の選擧を行ふこととなり同九時卅五分休憩、午前十時五十五分再開德川議長は一同の起立を求め勅語を朗讀す、次で一條實孝公の動議に依り日程を追加陸海軍將士に對する感謝の決議案を上提提案の理由を說明し別項の感謝文を朗讀し滿場一致可決さる、次で答禮のため大角、荒木海陸相續いて登壇感謝の意を述べ滿場拍手を以てこれを迎ふ、終つて德川議長より本院は一月二十日まで休會すと宣し十一時十五分散會した

議日は火木土とする事委員會日は月水金とする事に異議ありませんかと諮りこれを可決し增田副議長より明廿八日より明年一月二十日迄休會する旨を述べ午後零時十三分散會し年內における政戰は一先づ幕を閉ぢた

陸海軍將士感謝決議案

【東京二十七日發】衆議院各派交涉會は二十七日午前九時開會陸海軍將士に對する感謝決議案上提に關し協議の結果本日本會議日程を變更し開會劈頭左の決議案を上程し滿場一致可決することに決定して散會した

陸海軍將士に對する感謝決議案

我陸海軍は近時頻發する滿洲北支方面の禍亂を掃蕩し以て帝國の權益を保全し居住臣民の擁護に盡瘁す、これ國民の感激措く能はざるところなり、時寒に際し將士の勞苦更に大なるものあらむ、衆議院は茲に院議を以て感謝の誠意を表す

右決議す

貴族院奉答文

【東京二十七日發】貴族院奉答文內容左の如し

貴族院議長臣德川家達誠恐誠惶謹て奏す　天皇陛下に上謹て叡聖文武茲に第六十回帝國議會開院の盛典を行はせられ優渥なる勅語を賜ふ臣等謹て叡旨を奉體し慎重審議協贊の任を竭し以て皇猷を贊襄せむことを期す臣家達恐懼の至に堪へず謹て奉答す

貴族院決議文

【東京二十七日發】貴族院の陸海軍將士に對する感謝決議文左の如し

滿洲事變勃發以來我帝國陸海軍は勇戰奮鬪支那兵匪の暴逆を膺懲してこれが掃蕩の功を奏し今又酷寒風雪の中に艱苦行動して克く我同胞の生命財產保護と我權益の擁護とに任ぜり、貴族院は忠勇なる陸海軍將士の功勞に對し深く感謝の誠意を表す

荒木陸相西下

【東京廿七日發】荒木中將は陸相新任報告のため廿八日午後十時十五分東京發西下の豫定である

蛇角

衆議院、劈頭陸海軍將士に對する感謝狀を決議す、之れこそ全國民意思を代表する者。

◇

滿洲の土を踏んだばかりの小野上等兵匪徒の狙擊を受け悲壯の最後を遂ぐ、遺憾、氣の毒、憤慨。

◇

全滿匪徒の活躍、便衣隊の出沒我軍の任務愈々大、其勞苦益々多し

◇

奉天自治指導部の于沖漢、先づ匪賊を討伐せねば自治の基礎は出來ないと力說す、匪賊の討伐には先づ其の操縱者から片づけるべし

◇

英米佛獨、蔣張を助け日本を抑へんとす、是れ固よりあるべき事

◇

南京特別委員會、機に乘じて國際聯盟に干涉要求電を發す、我國民愈々臍を固めて、協力奮鬪の秋來る。

◇

廣田大使の暗殺計畫者は、チエッコスロバキヤ公使官書記官、日露戰を起して、世界戰爭誘發の魂膽と分る、露國其手に乘らなかつたは賢明。

◇

チエッコスロバキヤ人は多く親日感謝を抱く、そこにもこんな危險人物が居る、亂を好む世界人心の彌漫、油斷ならず。

◇

南京執監全體會議、張學良罷免の議あり、又蔣張は兵を率ゐて關外に赴き失地回復に當る可く、北平は閻錫山をして守らしめんとの說あり、何れも蔣張を窮地に陷いれる策本策。

芳澤大使出發

【パリ二十六日發】芳澤大使は外務大臣就任のため歸朝を命ぜられたが明二十七日午後一時十五分パリ發歸國する事となつた

佛國から勳章

【パリ二十六日發】フランス政府は二十七日午後一時パリ發歸國の途に就く芳澤大使に對し日佛親善上の貢獻及び國際聯盟理事會としての世界平和のための活動を讚辭するため二十六日レジヨン、ドノール大十字章を授與した

天津領事會議

【天津二十六日發】我軍の錦州進擊切迫せるを感知したアメリカ領事の主唱により天津の治安維持白河の航行を維持するため日本を除く領事會議を開く事となり今明日中に開會の筈である

東亞の謎 (161)
國枝史郎
挿畫 伊藤順三

黃帮の巢窟 (一)

伯は次郎をかへり見て云つた。

「人質どもが邸から出た。あの連中が後方から、自動車庫の方へ驟ひかゝつたら、僕達の軍は完全に勝つがれ」

「彼等は也該運を憎んでゐるのですから、さういふことになりませうよ」

「さうだ僕もさう思ふ。……オツ見給へ！武村ぢやアないか！ヤツ小夜子さんをひつ攫つて行く！」

「大變だ、伯爵、武村です！」

「さうだ、こいつ、うつちやつては置けない！よし、僕、追つかけて行かう！……次郎君、洋子が心配だ！すぐに、君は、將校宿舍の方へ！……彼奴、馬だな！……ど

つ張り馬で、たつた今しがつた」

「そりやア大變だ？さうして一人で？」

「さうです、一人で、だから心配です……」

「よーし！」

と南部は叫ぶやうに云つた。

「僕、行かう、伯一人ぢやアあぶない！」

さう云つた時にはもう南部は、數間の彼方を馳せてゐた。

次郎は安心して將校宿舍の方へ走つた。

× × ×

沙漠を二騎が走つてゐた。

その後方に火の手があがつてゐた。

音車領城の一廓が、盛んに燃えてゐるのであつた。

こかに馬が！」

「馬ならあります、あそこに一頭！」

すぐ側の建物の門口に、黑馬が一頭つないであつた。

伯は走つて行つて夫れに乘つた

さうして武村の後を追つた。

次郎はちよつとの間見送つたが將校宿舍の方へひた走つた。

さ、その時南部正雄が、騎馬で此方へ馳せて來た。

「おゝ次郎君、味方勝利だ。……伯爵は何處にゐられ、え、伯爵は！……人質どもが此方方になつてれ、それで旨く成功した。……伯爵は何處にゐられ、え、伯爵は？……數十臺の自動車、數十頭の馬こいつが此方のものになつた。だから直ぐに其奴を利用し、此處を出て沙漠を越さうといふのだ、音車領城を脫出しやうといふのだ！……伯は何うしたれ、え、伯は？」

「大變です、南部さん、武村の奴が、小夜子さんを攫つて、馬に乘つて、向ふへ行つたんです。……ですから伯がそいつを追つて、矢一

それが一里の後方にあつた。行手も左右も漠としてゐた。

戈壁の沙漠だ、戈壁の沙漠だ！

月が碎けてかゝつてゐた。

沙漠は火事の桃色の光と、月の銀色の光とで、暗い眞珠色に燦つてゐた。

戈壁の沙漠だ、戈壁の沙漠だ！

武村と伯とが走つてゐた。

伯が追つかけて來たといふことを、さうに武村は氣が付いてゐた

こいつは大變だと一方で思ひ、ナーニ帽子營へ着きさへしたら、こつちのものだと一方では思つた

だから何うしても伯より先に、行きつかなければ不可ないと思つた。

目茶目茶に彼は馬を燦つた。

十數町の先を走る、武村の姿を睨みながら、伯も馬を燦りに燦つた。

何處へ彼奴行くのだらう？

小夜子と一緒に何處へ行かせても不可ない！さうだ小夜子と一緒にはやらせない

と伯爵は狂人のやうに思つた。

武門血笑記（9）

下村悦夫作　工藤義正挿畫

深夜の刺客（三）

家中の者が、驚いて驅け付けた時には、既に闘ひの終つた時であつた。

太郎左衛門は、流石に荒い呼吸を肩でしながら、血刀を下げて、庭先に立つてゐた。

「旦那樣！」

と、追つ取刀で、眞先に驅け付けた、若黨の左平治が、息をはづませる。

「む、騒ぐな、曲者は仕止めた明りを持て」

「お父上！」

娘のお梨花が、父親の無事な樣子に、ほつと安堵の胸を撫で下しながら、驅け寄つた。

「もうよい、もう濟んだ。女共は歸つて、休むがよい、い、か騒ぐでないぞ」

太郎左衛門は、狼狽へ騒ぐ女達を遠ざけると、左平治と下男儀助に命じて、曲者の覆面を外させた。

「お、これはッ！」

「辻川ッ！」

左平治と儀助が、同時に聲を彈ませたのも無理はない。覆面の曲者は、今宵一夜の宿をしてゐた、辻川幸作と名乘る旅修業者、先程まで、太郎左衛門の酒の相手をしてゐた、かの武士であつた。

「ふむ、辻川ぢやッ……」

太郎左衛門も、思ひがけぬこの有樣に、ぢつと、幸作の死骸を眺めながら、暫くの間は、小首を傾けて、不審の態であつたが、

「儀助、其方夜中御苦勞ぢやが、今から一走り、町奉行松田殿の御屋敷迄、此の始末を屆けて參れ、い、か、町奉行に、御取次の方に迄申上げて置けばよいのぢや、それから、左平治、曲者の死骸は、そのま、、打捨て置け、いづれ明朝檢死の役人が見える事と思はれるから、それまでは、手を附けぬがい、、それよりも、その方一度邸内と、戸閉りをよく見廻つて置いてくれ」

太郎左衛門は、二人の者にこう命じて置くと、靜かに、自分の部屋に戻つて、血刀の始末をすると腕を拱いたま、、ぢーツと深い沈思に墜ちた……。

（何故に、どうして、あの男が、何の目的で、俺の命を？……）

太郎左衛門の頭の中では、考へても考へても考へ及ばぬ、こうした疑問が、渚を打つ波のやうに、去來してゐた……。

稲馬と、作樂が、太郎左衛門の屋敷を訪れたのは、丁度そうした時であつた。

「お、待つてゐた、さあ、ずつと進め、露木は？」

思ひもかけぬ出來事に、心を曇らせてゐた太郎左衛門の面は、二人の顔を見ると、救はれたやうに明くなつたが、ふと、一緒に來る筈の露木源之丞の姿が見えないのに、不審の態で、こう訊れた。

「はあ、それに附きまして、深夜にも拘はらず、お伺ひしたのですが、只今、下の者から伺ひますれば、こちらにも何か御取込の樣子で……」

と、稲馬が沈痛な顔を上げる。

「いや、こちらの事はもう濟んだが、話の樣子では、貴公達の方にも何か……」

と、太郎左衛門の氣掛りらしい催促に、二人の者は、今宵の經緯と、仕置場の樣子を、代る代る話をした。

見る見る太郎左衛門は、不安な面持になつた。

「ふむ……、無事でゐてくれ、ばよいが喃……、兎に角、左平治に露木氏の屋敷まで、見にやる事にしやう」

と、この時、急に、雨戸の外で左平治の周章てた叫び聲が聞えた

「旦那樣ッ、旦那樣ッ、死骸が―曲者の死骸が見えませぬ」

「何ッ？」

太郎左衛門が顔色を更へて立上ると、續いて、稲馬も作樂も、どかどかと縁側へ走り出た。

傷病兵慰問に 大江一行赴奉

中央映畫館主南信次氏の招聘により傷病兵慰問の爲昨日來連した右太プロの大江美智子一行は廿七日別項の如く大連衞戍分院に傷病兵を見舞ひ更に旅順に赴いたが、明廿八日朝の急行で遼陽、奉天、鐵嶺子の傷病兵慰問のためサイン入りのブロマイド及び慰問袋を持つて北行し卅日頃歸連の豫定である

囁話

きのふうらる丸で來連した大江美智子の一行丁度濱松飛行聯隊の地上班と同船し▲兵隊さん達にサイン入りのブロマイドを贈り更に河合ダンスの駒菊と共作した「唐人お吉」をレコードで贈つて船中大賑はひで兵隊さんを慰安した▲また將校さすつかり仲よくなつて飛行通さなり、周水子へ行つて一度空の洗禮を受けなくてはと勇ましく頑張つてゐる

本社特選 新棋戰（其二）

平香交番 香落番

四段△建部和歌夫
三段▲加藤富久

【圖は九六香迄の局面】

▲加藤氏「持駒」歩

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
	桂				金	銀	桂	香	一
	飛		銀	金		王	角		二
		歩			歩		歩		三
			歩	歩		歩		歩	四
	歩	歩							五
香			歩	銀				歩	六
	歩	角		歩	歩	歩	歩		七
			飛			銀	玉		八
	桂		金		金		桂	香	九

△建部氏「持駒」歩

△四五銀　▲八六歩
△同　歩　▲九二飛
△六五歩　▲九九香成
△六四歩　▲八九成香

【土居八段講評】△建部君の四五銀は餘りに伸び過ぎて成功困難である。九三歩と打つて敵飛車の働きを妨げる方が良い。又急戰したいならば直ちに六五歩と突き出し烈しく指すのも一策である兎に角本局の四五銀は効果が薄い續いて六五歩は早い。一旦九三歩と打ち敵に取らせ然して六五歩と突き出す方以下七二角打あつて面白い。

河合映畫「女工」

河合映畫大連支社開設披露として廿八日午後六時半から協和會館で鑑賞試寫會を催し當夜の收入全部を同情週間に寄附する、會費は二十錢で切符はプレイガイドで前賣し當日協和會館入口で取扱ふ

冬を呼ぶ

▼▼▼冬よ来れ！ 野も山も街も田畑も白銀の衾に掩はれて、寒さと風と雪と闘ふ冬はわれらの心を清浄にし活気づける。ふり仰ぐ山嶺の雪をいただく神々しさよ。見わたすかぎり純白の雪に蔽はれたスロープを快走するスキーの壮快さよ。冬を想ふとき、雪へのあこがれがまづ近代人の心をとらへる。肌を襲ふ風・雪・寒さもクラブ美身クリームに防ぎ止めて、冬のよろこびは更に幾十倍加する。若さを誇る活ける肌の麗しさよ。クラブ美身クリームを肌にして近代人は冬を呼ぶ！ 高く高く手をさしのべて、山のかなた、海のかなたの冬を早來よと呼ぶ…▲▲▲

冬の肌アレはどうして防ぐか

よいクリームは殺菌力をも持つてゐる

醫學博士　三内建治

抑々皮膚は人の健康を表徴するものであつて、理想的健康状態においては上皮細胞の角化が完全であり、適度の皮脂分泌等があつて、其表面は常に新しき角質を以て被はれ、美しく滑澤にして柔かく彈力あり、以て外界の種々の刺戟に對して抵抗力を有して居るものである。

然るに 種々の原因によつて一度此皮膚が生理的状態に變調を來し詳しく言へば上皮角質不全乃至缺上の發汗乃至皮脂分泌が障礙せられ皮膚表面の其分泌減退し皮膚表面の粗糙となつた場合には吾人の皮膚表面に附着する細菌數は著しく増加する。

皮膚の性質と細菌數の關係

汗の少い皮膚粗糙で皮脂の少い人	三〇六〇〇
汗の多い皮膚粗糙で皮脂の少い人	一五三〇〇
汗の多い皮膚滑澤で皮脂の多い人	一四一〇〇
汗の少い皮膚滑澤で皮脂の多い人	七〇〇〇

(一、〇平方糎)

而して 斯の如き皮膚の表面に附着する細菌の中には化膿性葡萄状球菌或は連鎖状球菌其他色々の恐るべき病原菌の混在して居るのを見る。之れ、保健衛生上に皮膚の衛生上重大なる意義あるものと言はなければならない。何となれば皮膚の表面の粗糙(皮膚の荒れ)なる場合は或は全身の抵抗力が減衰せる時であり、或は皮膚が脆弱であつて容易に種々の機械的障害に對して損傷し易く萬一あやまれば容易にこの創面より病原菌が侵入すべく局所の皮膚の化膿等はもとより、時に全身の疾患を惹起するを促進するものである。

皮膚の表面の粗糙なつを放任するは斯の如く危險がある。故に最も注意すべきである。況んや荒れ肌は特に美容上多くの人の嫌惡するものであるにおいてをやである。

優良クリームの皮膚に對する衛生學的効果

今、一般に使用せらるる化粧用のクリームに就て考ふるにその目的たるや種々ありと雖も粗糙なる皮膚に對して之れを恢復せしめ乃至之れを防護するにあるが主なるものである。勿論粗糙なる皮膚に對する處置も醫治的には種々あるべし、然しながら吾人の日常家庭に於て最も容易に手に入り得べきは化粧用のクリームである。故に保健乃至美容上斯上の如く危險多き皮膚の粗糙が之れによりて十分に防護し得るや否やは重要なる意義あるものである。

余等はクラブ美身クリームが如何に荒れたる皮膚に效果を顯すやを實驗的に研究した。即ち荒れたる人間の皮膚に就て擴大肉眼的に觀察し又之れを寫眞に撮影し又皮膚細菌數を測定し置き、夫れよりクリームを使用せしめ再び上記の檢査をなし此の前後兩回に於ける結果を比較考察したのである。此の成績によると種々の荒れたる皮膚もクラブ美身クリームの應用によつて其の粗糙に荒れたる表面を滑澤とし細菌數の上にも著しき減少を顯すものであることを確認し得た。

紙上によつて見るもクラブ美身クリームは美容上は固より言ふ迄もなく一般保健上にも極めて有意義のものといふ事が出來よう。(抄錄)

ウインター・スポーツと化・粧・を・語・る

出席者　桂珠子さん　光喜三子さん　入江たか子さん　高津慶子さん　川崎弘子さん　司會記者

記者「皆様お忙しいところを、お集り願ひましてありがたう御座いました。けふは一つ冬のスポーツとお化粧と云つた様なことをお話し願ひたいと思ひまして……」

桂「あら、冬のスポーツとお化粧つてずゐ分かはつたコントラストね」

記者「ところが案外さうでもないんぢやありませんか」

光「さうかもしれないわ。冬のスポーツつて云へばさしづめラグビー全盛時代つてことになるわけですわね、今年はA大がガゼン押へてしまつたけれど、實際ラグビーつて見てゐてとても一生懸命にされてしまふものですわね」

入江「えゝ、あのシュアーなタックルや、ドリブルで敵のパックを拔いたりした時なんか……思はず聲をたてゝしまひますわ」

高津「ほんとにガッチリとした新時代のスポーツつて感じがいつぱいですわね」

光「それではけふのお話は新時代のスポーツ精神を反映するお化粧つていふことになりますわね」

桂「そうすると勿論個性的なもので、それにスピードアップなものでなければならないと思ふわ」

高津「それから手間が少くて最も効果的であるといふこと……」

入江「といふと私の愛用してゐる化粧料はその條件にピッタリしてゐるわけだわ」

川崎「それは、何ですの？」

入江「クラブビシン……」

桂「あゝ、あれね。せいぜい一分もあればお化粧が出來て活き活きとしたツヤがあつて……」

光「洋裝の場合なんかクラブビシンの肌色にクラブほゝ紅のオレンヂ色を刷くとそれだけでもう若々しい明るいお化粧が出來上つてしまひますわ、口紅もクラブの淡紅色のを少しつよ目につけると、とても魅惑的な唇の美が强調されます」

高津「でも私は何だかアレ性なので、クリームなしではとてもお化粧が心配ですのよ。殊にあの壯快なスキーに行く時なんか、冷い風やそれに雪焼けつてこともありますしね。いつもクラブ美身クリームを少し多量につけてクラブ刷白粉を施ひますの」

川崎「私もいつもクリームを下地に使つてますの。クラブ美身クリームをね。それからやはりクラブの桃色水白粉を薄目に溶いて二度か三度重ねてゐります。ほゝ紅はクラブのローズ色のを……」

光「さう。冬は温味を出すために、桃色や肌色の白粉を使ふのは賢い方法だと思ひますわ」

桂「えゝ、それに和裝の場合なら少し濃目にお化粧するのも冬枯れの周圍に花やかな色彩を引きたゝせて實に鮮麗な美しさだと思ひますわ。私は少し濃化粧の場合にはクラブ煉白粉、肌色を、襟にはエリ用のクラブ固煉白粉を使つてゐますの」

入江「下地はクラブのつぼみ？」

桂「えゝ、白粉がよく落ちつきますから」

記者「さうする、この冬のお化粧は勿論十分に個性的であるべきこと、温かい感じを現すこと、幾分濃い目に鮮やかにつくるといふこと等が大切な點といふことになるのですね。いや、どうもいろいろありがたう御座いました。ではこれ位で──」

映畫“曙の歌”スナップ・ショット

新興キネマでは加藤武雄氏原作にかかる「曙の歌」を映畫化し非常な好評を博してゐるがその撮影中、最近大阪ガスビルのクラブ化粧品小賣部でもロケーションを行つた。

この映畫には、新興キネマが誇るスター高津慶子さん、山路ふみ子さん、桂珠子さん、近松里子さんなどオール・スターキャストであるがこれ等のスターが揃つてクラブ化粧品の熱心な愛用者であるのも面白い。

(寫眞はその時のスナップショット。向つて右後向きは近松里子さん、左の洋裝は桂珠子さん。)

化粧の歌

菊さかる朝の庭に妹とむつみ使へるクラブ齒磨　和歌山縣　清水利美

湯上りの温まりたるわが肌にほのかに匂ふカテイ石鹸　大　縣　加藤かじ子

みだれ降る木犀の大路を友と行けば美身クリームの匂ひほのかなり　金澤市　岡本みきを

すがすがし秋の空にも似たらかなクラブビシンのつけ心地よさ　廣島縣　河内良子

クラブ香油の匂ひとどめる朝の髪にわが黒髪を愛でつつぞゐる　鹿島縣　江ノ瀬和子

(化粧の歌・詩等を募る。宛名大阪市北區堂ビル中山文化研究所宣傳部・用紙葉書・「新聞名」記入のこと。掲載の分薄謝。)

街の灯

◆◆ロード・ランプにパッと灯が入ると街は一齊に活氣づく。とりどりのポスターや氣の早いクリスマス・デコレーションの中にクラブデーの幟旗がヒラヒラと風になびくのも懷しい街頭風景だ。

◆◆茶柄の銘仙、毛斯綸の帶、眞白な足袋、赤い鼻緒の黒塗利久を履いて桃割れに結つた娘さんがお買物の歸り、手にした風呂敷包からクラブデーの福引景品がのぞいてゐる。

◆◆眞黒い毛皮の外套、その隙からチラチラのぞく絹の靴下、ペーヴメントに鳴るハイヒールのカンガルー靴の朗らかな響きよ。頬につけたオレンヂ色のクラブ頬紅と唇につけた濃紅色のクラブ口紅からピチピチ活きた若さが躍動する。

◆◆7時8時……時とともに街の雜沓はだんだん度を加へてゆく。家族連れで買物に來たらしい人が、とある化粧店から出て來た。手に手に紙包みを下げて微笑ましげに譲り合つてゐる。

「お父さん、到頭特等を當てたのね。プラトン萬年筆よ」

「うん、上手だらう」

話題はこれもクラブデーの福引景品のことらしい。ラヂオがソプラノの獨唱を送つてゐる。

滿洲日報
發行人　編輯人　印刷人
大連市東公園町　株式會社滿洲日報社
定價　一ヶ月　金一圓二十錢　郵稅　金十五錢　一部　金五錢
廣告料　普通一行　金一圓三十錢　特別一行　金二圓六十錢　場所指定　二割以上加算

本溪湖、石橋子間の鐵道襲擊の行動開始
頭目城子臣の匪賊六百名

安奉線牛心臺東方二邦里の地點に二十五日夜城子臣を頭目とする匪賊六百名が本溪湖、石橋子間の鐵道襲擊の準備行動を開始したので本溪湖守備隊では目下極力警戒中である【奉天電話】

わが討伐諸隊苦戰す
鷄冠山附近の匪賊九百を算ふ

安奉線鷄冠山附近の匪賊の兵力は左の如くで、討伐中の諸隊は相當苦戰であるとの報があつた
鷄冠山附近四百名、鷄冠山、四臺子間四百名、林家臺二十名、五道律八十名
鳳凰城は通信不明のため今なほ不明【奉天電話】

鷄冠山附近は午後七時に至るも匪賊出沒しわが軍と交戰中であるが奉天署の列車乘務員は一先づ歸奉した【奉天電話】

窓際に土嚢を積んで悲慘！
匪賊の襲擊に備ふ　安奉線の不安去らず

安奉線の匪賊は尙各方面に出沒し各所に於て我守備兵と交戰せるため奉天、安東間の旅客列車は危險のため杜絕狀態であるが、沿線中間驛匪賊出沒狀態は（午後八時迄）左の如く危險極まりなく各驛とも窓際に土嚢を積み警戒中で依然として不安が漲つてゐる

草河口驛　警官十二名、兵若干にて嚴戒中驛東方に數十名の匪賊出沒中
通遠堡驛　警官十一名で警備中驛東西兩方面に數十名の匪賊出沒中
林家臺驛　警官十一名、兵若干にて警備中驛前山上に匪賊出沒し彈丸絕えず飛來す驛員家族二十名は安東に避難す
劉河家驛　驛員家族全部避難東西南三方に數十名宛の集團集結中
秋木莊驛　驛員家族十八名は死を決して踏み止り東西南北各所に出沒する匪賊嚴戒中
四臺子驛　驛附近三里の地點に百名宛位の匪賊四ヶ所に集結中
高麗門驛　東西南北四方より驛に飛來する彈丸間斷なく驛員家族全部引き上ぐ
湯山城驛　東方三里の太平山に二百の匪賊集結し其東東湯溫泉には六百の匪賊集結中

僅か二十名の警官で七百の匪賊に當る
鳳凰城死守の北里警部補ら一隊

安奉線鳳凰城を約七百名の匪賊襲擊し附屬地危險のため安東署より大場警部補以下〇〇名は機關銃を携行して二十六日午前一時過ぎ同地に出動、同日午後二時半歸署したが一行と共に出動した門田警部補は語る

敵と一戰も交へず歸つたのは殘念です、一行が鳳凰城と高麗門との中間の破壞された橋梁を軍隊と共に修理をしておつた際二十六日午前三時頃鳳凰城附近にあたつて殷々たる砲聲

銃聲が　聞え、家屋が燒き拂はれてゐるらしく、火焰が天に沖して相當激戰のやうに見えるので一行は氣が氣でなく橋梁を大至急に修理して應援軍隊を乘せてゐる裝甲列車を通過せしめ、直に鳳凰城に向ひ同地に着いた時には既に匪賊は退却した後でしたが、同地城內はみじめな程の荒されやうでした、應援隊が到着まで附屬地に一步も匪賊を侵入させなかつたのは同地派出所勤務の北里警部補以下の殊勳です、われ等一行が橋梁を修理中砲聲が聞えたのは匪賊が附屬地を襲擊したもので北里警部補は部下二十名を三隊に分け輕機關銃一挺を以て約七百名の匪賊と交戰、約二時間餘も附屬地を

死守し　應援隊到着と共に匪賊を擊退したものので同僚をほめるのではありませんが警察官の模範です、敵は一時退却したが尙各方面に潛伏し機を窺つてゐる模樣で同地附近は全く戰時狀態です【安東電話】

一、鳳凰城、高麗門間は通信不能のため被害の程度不明
二、高麗門、鳳凰城間の電柱多數破壞され電線また各所切斷さるその他橋梁一箇所破壞
三、敵は迫擊砲數門を有しその射擊精度良好にして正規兵の指揮せる事を察知するに難からず【奉天電話】

安奉線一部開通

その後の情報によれば安奉線は午後遲くやつと一部開通を見、七列車は十時間二十九分、五列車は六時間一分、六列車は四時間六分、八列車は一時間三分遲れてそれぞれ鷄冠山を發したが、鷄冠山は依然電話不通のため詳報判明しない匪賊はわが討伐軍に擊退され既にその影も見えないがわが軍はこれを殲滅すべく極力搜査中

被害狀況

軍當局の談に依れば二十六日正午までに到着せる安奉線被害狀況左の如し

鳳凰城の支那燒失家屋

鳳凰城における匪賊のため燒き拂はれた支那家屋七十戶邦人家屋十二戶に達してゐる【安東電話】

鷄冠山で鮮人五家族慘殺

二十六日朝鷄冠山より二邦里に居住する鮮人五家族は避難中に支那兵隊のため慘殺され一名は逃れて派出所に急報せるため目下取調中【奉天電話】

板津大隊　安東から鳳凰城に移動

廿五日夜十時から安東ホテルに大隊本部を置き徒步部隊を指揮してゐた板津大隊長は廿六日午後四時ホテルの本部を引揚げ鳳凰城に本部を移した【安東電話】

安東の警備

安奉線高麗門、鳳凰城附近に兵匪の跳梁のため安東より各地に應援のため軍警出動し安東警備手薄のため新義州より守備兵〇〇〇名來安安東の治安に務めてゐる【安東電話】

學良の後方攪亂に近く對抗策をとる
皇軍出動の意義を闡明

【東京特電二十七日發】帝國政府は東洋平和のため斷乎兵馬を進め兵匪の掃蕩を行つてゐるが、張學良は舊地盤の奪還を目的に錦州軍に對し若日本と交戰し敗退する樣であれば再び生還を許さずと嚴命したので錦州軍は同地に堅固な陣地を構築し塹壕內には電流を通じ自動車道路を設ける等頑強に抵抗の準備を整へ難攻不落を期する一面この十八日頃からは別働隊の移動を命じ義勇軍白玉巖の部下五百名が蓋平、大石橋間をクロスしたのを始め抗日鐵血團その他の兵匪をして盛んに滿鐵本線を突發せしめその數約二萬と云はれ、滿鐵本線並に安奉沿線に出沒し或は驛を襲ひ從業員を殺戮しわが軍の後方攪亂を企て更に一方馬占山、于芷山の軍に對しては日本軍恐るゝに足らず一戰以て潰滅せんと豪語し居るので兩軍の旗幟また鮮明ならず油斷のならない形勢にあり、地方民までがその宣傳に乘せられ稍もすれば皇軍の出動を誤解するので軍では近く皇軍出動の使命を判然認識させる爲め何かの對抗策を求る事となつた、なほ別働隊の活動は以上の如く頗る目醒しいものあるので關東州も何時襲擊を受けるやも知れず警戒の時機は迫つて來たとされてゐる

新民占領を目指し錦州軍行動を開始
新民攻擊の意圖濃厚

關東軍司令部發表＝北平より得たる情報によれば騎兵第三旅がその一部を通遼に殘し置き主力をもつて彰武附近に南下せる目的は日本軍の遼西における匪賊討伐を阻止せんがため速かに新民巨流河を占領するにありと又飛行機の偵察によれば廿六日正午約三十騎よりなる騎兵三隊は彰武、臺門道を南下中である、尙支那側某要人のもたらすところによれば義勇軍第四旅司令耿繼周手兵四百名を率ゐて二十六日新民南方約四十支里の某地に至り馬賊頭目君子仁と南方より新民を攻擊すべく協議中である、要するに敵は近く新民に對し攻擊を意圖してゐる徵候いよいよ濃厚となつて來た【奉天電話】

新民方面に移動の匪賊

二十六日田庄臺により派遣された一密偵の報告によれば新屯方面に移動せる匪賊約一千は三家子北大房身より更に飛掌寺方面に移動しつゝありて目下右の三箇所には敵影を認めず【營口電話】

學良の命令

北平來電によれば學良は廿三日發錦州邊防公署あて左の要旨の命令を下した
第一、溝幫子は左中右三路の中心なり飽くまでこれを死守すべし
第二、大虎山は溝幫子錦州の門戶なるをもつてこゝに一同集結し必要に應じ增援す
第三、敵の右翼兵力優勢なるを以て我軍は務めて磐山を保持し機を見て敵の左翼を邀擊すべし
第四、我左翼部隊は錦州北平間の鐵道警備に任ずべし【奉天電話】

決死隊や彈藥錦州に續々到着

錦州に決死隊および彈藥の到着狀況左の如し
一、錦州方面より來れる士民の言によれば北平副司令部參謀處の編成せる決死隊三百名は去る十七日載夜河の陣地に到着せるが彼等は豐富なる手榴彈を有し威勢當るべからざるものあり
二、最近北平より來奉せる有力支那人の言によれば學良は外部の注目を避くるが如く北平より合計十七列車の兵器彈藥を錦州に輸送せり
三、支那某要人の語るところによれば最近再び北平より飛行機二臺錦州に到着せり、なほ目下滯奉中の空軍某國人飛行隊附將校數名は最近切りにその隊長某の招電を受け赴平準備中なるを以て飛機の錦州輸送は事實なるが如し【奉天電話】

わが政府の回答書三ヶ國大使に手交
三國政府の警告問題

【東京廿七日發】永井外務次官は犬養外相代理として二十七日午前十時フランス大使マルテル氏英國リンドレー氏及佛フォーブス氏を各別に外務省に來訪を求め錦州不攻略問題に關する三國政府の警告に對する帝國政府の回答書及び二十七日附帝國政府の聲明書を手交した

南京政府干涉を要求

【上海二十六日發】南京來電に依れば昨夜深更まで協議した外交特別委員會は今朝ジュネーヴに向け日本軍の錦州攻擊愈々切迫せる事に就き國際聯盟に干涉を要求する樣支那代表に命じた

更に部隊を派遣
きのふ閣議にて決定

【東京二十七日發】本日の閣議で滿洲に一部隊を派遣するに決定した、みぎは〇〇より〇〇〇〇を出す方針である

北支那の政情動く
閻錫山中央軍の出兵を提議し平津地方乘出の魂膽

【上海二十六日發】閻錫山は中央政府に錦州應援の中央軍出兵を提議し之れを機會に失墜した張學良の後を襲つて河北地方を自己の勢力下に置くべく平津に乘り出すものと見られ近く北方政局の變化が期待されてゐる

中支の共產軍益々猖獗

南京來電によれば江西省の孫連中軍は殆ど全部共產軍に投降し寧都興國、吉水、泰和の四縣は共產軍に占領せられ、また蔣介石の下野後滿洲における日支軍の抗爭に乘じ共產軍は益々猛威を逞しうせんとしてゐる【奉天電話】

張學良免職
南京全體會議の決定

【南京二十六日發】張學良問題に關し全體會議は本日秘密裡に會議を開き協議の結果全國統一の目的は飽くまで果さねばならぬから張學良の免職も已むを得ぬとの意見が勝を占め陳銘樞を使者として午後四時半上海に派し右の意見を孫科、汪精衞等に傳へ兩氏の來京を求むる事となつたがため會議は延長に決し主席各院長及び部長等の選定は來週月曜に持ち越さるゝ事となつた

錦州死守嚴命

【北平二十六日發】學良は昨日の中央全體會議の決議により錦州死守を嚴命され來平中の榮臻に對し至急歸還を命じた榮臻は昨夜深更離平錦州に急行した

熱河軍を增援

某外國觀察員の報告によれば錦州附近の支那兵は意氣旺で榮臻は最近北平に來り學良に諸報告をなすと共に熱河軍の增援を切望した、これに對し學良は必要に應じ熱河軍を增援するので速かに歸任する樣命じた【奉天電話】

廣東派錦州死守を主張

【南京二十六日發】全體會議は今や重大なる暗礁に乘り上げた其の原因は錦州問題に關し南京、廣東兩派の意見の相違によるものであるが即ち廣東派は飽迄錦州死守を命ずると共に蔣介石も速かに北上對日戰事に當るべし之れがため場合によつては閻錫山の提議を容れ山西軍をして北支を守らせ東北軍や中央軍を關外に出し蔣張をして之を指揮せしめよと主張したるに南京派は右は蔣張追出し策なりと大反對せるためである

天津の支那街防禦作業開始

【天津二十六日發】我が航空隊の來着により當地支那側は極度に神經を尖らせ廿五日又もや支那街要所々々に各種の防備作業を開始したゞこれがため人心動搖今朝來英佛租界に避難するもの激增した

田庄臺の渡河成功を納む

【田庄臺廿七日神藏特派員發】田庄臺における徒河作業は非常に困難なる作業なるにもかゝはらず廿六日工兵隊の援護による野砲七門の作業も良好の成績をもつて成功したが廿七日午後一時半には重量四トンの軍用トラックの輸送試驗を行ひたるに、うまく成功した、この附近の氷は厚さ廿五サンチ乃至四十五サンチでこの軍用トラックの輸送試驗成功はレコード破りと言ふべきである廿七日に到着した步兵第〇〇聯隊と砲兵部隊は何等の危險なく渡河した

わが部隊田庄臺に到着

二十七日午前四時營口を出發した騎兵二個中隊は若松中佐に引率され十時田庄臺に到着したなほ八時に營口を出發した〇〇旅團は午後二時隊伍堂々田庄臺に到着天野旅團長は駐屯の桂大隊長に出迎へられ田庄臺に到着した【營口電話】

多門師團長某方面に出發

多門〇師團長は部隊を率ゐ廿七日午前十一時五十九分發某方面に向け出發した【遼陽電話】

多門師團着營

第〇師團司令部は廿七日正午遼陽驛發南下各驛において熱誠なる萬歲歡呼に迎送され同午後二時四十分多門第〇師團長は上野參謀長、宮城高級副官等幕僚を隨へ營口驛に到着した同日朝第〇〇旅團を田庄臺に送つた營口は師團司令部の來着によつて再び賑はひ驛頭には官民多數小學生等日の丸の旗を振つて出迎へた、多門師團長一行は直に料亭武藏野に入り第〇師團司令部は臨時此處に置かれた【營口電話】

公安隊と新民で衝突

二十六日午前十一時新民府に於て騎馬公安隊と日本軍の衝突あり、新民騎兵公安隊百二十名はこれがため反旗を飜へし逃走し馬賊に變じたので市民は不安に陷り軍隊警戒中【奉天電話】

亂石山に一千の匪賊
我裝甲列車出動

滿鐵線亂石山（奉天の北方三十二哩）驛西方に一千の騎馬匪賊襲來し滿鐵線を破壞すべく東進中との報に我裝甲列車は午後八時奉天驛發急行嚴戒中【奉天電話】

田庄臺の治安維持
營口公安隊が當る

我軍の手に依り掃蕩された田庄臺のその後の治安維持の方法については桂大隊長は支那側役員と協議中の處營口公安隊の手に依り治安維持される事になり、廿六日午前十一時佐藤憲兵屯所長は同局長白銘陳と共に田庄臺に來り桂大隊長と協議の上更に同午後二時營口公安局員九十餘名田庄臺に來り愈々當地の治安維持に任する事となつた【營口電話】

匪賊團愈よ奉天を包圍

わが軍の遼西匪賊討伐を牽制すべく錦州政權の命により滿鐵沿線各地に蜂起した匪賊は恰も奉天を四方より包圍した態である、卽ち安奉線の兵匪はなほ討滅し能はざるに本夕刻來南方海城南臺附近に各二百名の兵匪襲來し、牛莊城は再び兵匪二千五百によつて奪回され北方新臺子、亂石山にも一千餘名の兵匪襲來し各地とも錦州政權と連絡を執つて奉天に襲來しつゝあるものゝ如くである【奉天電話】

姬路部隊奉天につく

姬路〇師團〇〇部隊は二十六日午後六時四十五分安奉線で着奉、驛頭多數の出迎へあり小憩後〇〇方面に向ふ筈である【奉天電話】

馮玉祥南京へ

【北平二十六日發】支那側の消息によれば馮玉祥は今朝南京に立つたと

天津經由南下

【北平廿七日發】馮玉祥氏は南京の全體會議に赴くべく太原より平漢線で北平經由天津に出で南下した蔣介石軍の充滿せる隴海線の近道を避け安全な天津廻りをした處に彼の要心深さがうかがはれる

英公使熱心に學良を支援

【天津二十六日發】英公使ランプソン氏は南京より歸平以來張學良の尻押をし日本との對抗を強硬にせしめる傍ら、錦州方面において日本側が主張してゐる別働隊なるものは全く認めない、又學良は日本に對しては絕對無抵抗主義であるといひ更に北平からソンヒ氏天津からは英總領事を錦州方面に出張せしめてゐる

土匪を買收一個旅編成

【天津二十六日發】二十五日榮臻より通遼方面の土匪五千打虎山方面土匪一千を救援し一個旅團に改編し武器彈藥を支給し錦州守備の任に就かしめる旨學良に報告したので北平よりは買收土匪に支給のため直に六千の軍服を調達二十五日關外に向け輸送した

學良軍が糧秣購置會設置

【天津二十六日發】當地には新に東北軍糧秣購置會設置され正式業務を開始したが、右は今後東北軍に對する糧秣一切を扱ふもので其活動頗る活潑である、尙東北軍は外國側より盛んに移動式無線電信機を購入し一方當地遺兵廠にては貨物自動車を裝甲車に改造しつゝある

正規軍と匪賊區別不明

【東京二十六日發】二十五日遼西方面の情報を接受せる陸軍當局は遼西方面の匪賊に關し左の如く語つた
支那匪賊は計畫的統制ある積極行動を各地で行つてゐる、彈藥輸送や種々の行動は正規軍以上と思はれる節がある、捕虜の言葉や押收せる書類によれば此等匪賊並に別働隊の指揮者は黃顯聲で關東警備總司令の名を使用してゐる、昨日の匪賊は本日正規軍で本日の正規軍は明日の匪賊であり兩者の區別は全く不明だといふのが現下遼西方面の現實である

本庄軍司令官多門師團長會見

本庄軍司令官は二十六日午後二時半來遼、多門師團長と司令部にて會見、同日午後四時四十七分發列車で歸奉した【遼陽電話】

見目氏研究會入會

【東京二十七日發】見目淸氏は廿七日研究會に入る

香港丸船客

【門司特電廿七日發】香港丸の主なる船客左の如し
大倉組社長大倉喜七郎、同重役横山信義、同社員平木泰治、新賀保成人、三井社員大野孝雄、海軍省奧田喜久司、明大講師諸尾源藏、關東軍司令部附足立幸近藤三哉、三浦延治、大森一聲鈴木宗正

家庭

一般の野菜類今年は安い
購買力が減つて　蜜柑は銀の影響で二割高

年末になると一般に野菜類の値段が多少騰り殊に三ツ葉、芹、山葵などは滅茶苦茶に騰貴するのが例ですのに今年はもうあと四日といふのに一向その氣色がありません大連中央卸賣市場事務所ではそれに就いて次のやうに説明して下さいました

今年は どこの役所や銀行會社も時局柄忘年會、新年宴會を廢止してゐるし一般の人々も料理屋あたりへ出入するのを遠慮してゐるために三ツ葉とか芹とかいふやうな所謂料理屋ものが例年の樣に捌けない結果こんなに安いのです、銀が騰つたから野菜も上るだらうと心配してゐた方もあつたやうですが、此の頃市場へ出てゐる野菜は白菜人參等をのぞいては全部內地物ですし、大連で陸上げされる

野菜は 大てい大連附近で消費される關係から金で勘定されますのでほとんど銀の影響を受けないのです、たゞ蜜柑だけは銀の騰貴につれて二割もあがりましたが、これは相當多量に奧地へ送られるために自然銀に支配されるわけです、今年は野菜類が一般に安く昨年の暮と比較すると約二割方下落してゐますが、これは事變のために奧地への輸送がほとんど杜絶してゐるのと、一つには

不景氣 で一般の購買力がへつて需要がずつと少くなつたせいかと思はれます、例年ですと二三月になれば一般に値が上るのが常ですが、今の樣子では多少の變動はあつてもいつものやうにあがるやうなこともありますまい、で今年は買ひためて貯藏法に腐心せずとも時々に新鮮な野菜を入用なだけづゝ安くかつた方が却つて經濟で合理的でせう、これは當事務所と關係ありませんが、今年は松飾りを大分手控へして仕入れてゐるやうですから或はこの方はおしせまつて品不足のために騰貴しはしないかと見られてゐます

お茶代りの冬向き飲料
冷めたい物、暖かい物

外は何もかも凍りつくやうなこの頃、ポカくとあたゝかいペーチカや眞赤に燃えるストーヴのそばで頂く冷たい飲物の味は何にも例へられません、總じて洋酒はつめたくして頂く方が洋酒本來の香や味があり飲んだ後の氣分も爽かです、ここにカクテールなどは爽快が混合器と同程度に重要な役目をつとめてゐます、しかし追々寒くなるにつれて戶外からかへつて來た時などあたゝかい飲物のほしい時もありますから極簡單に御家庭で出來る冬向のお茶代りに用ひられる薄い飲料で、つめたいものとあたたかいもの數種の拵へ方を申上げませう

レモネード

中型コップに角砂糖二個を入れ水小匙二杯をそゝいて砂糖をよく溶かし、生レモン一個の露を搾りこみ氷の小塊二、三個を入れてソーダ水を八分目まで注ぎ入れ靜かにかき混ぜます、レモネード、ホットの時はソーダ水の代りに熱湯を等量注ぎます、これにレモンの輪切一片を浮べストローを添へて供します、これは酒精が少しもありませんからお子樣方にも大變よろこばれます

クラレット レモネード

中型コップに角砂糖を入れて小匙二杯の水でとかし、カクテールグラス一杯量の赤の生葡萄酒を注ぎレモン半個分の露を加へてよくかき混ぜ氷の小塊二、三個を入れソーダ水を八分目まで注ぎ、レモン一片を浮べストローを添へます

ホット物ならばソーダ水の代りに熱湯を用ふればよいのです、赤の生葡萄酒がなければポートワインでも蜂葡萄酒でもよく、レモン汁の代りにオレンヂを使つても結構です

ウイスキー ソワー

中型コップにレモン半分の露をしぼり入れこれにシラップ、グレナヂン、ストロベリー、ラスベリーのうちお好みのもの一種をレモン汁と同量だけ加へ、カクテールグラス一杯量のウイスキーを注ぎ碎き氷を入れてよくかきまはし、これに八分目までソーダ水を滿たしてパイナップルの薄い切かオレンヂの一片を浮べて供します、ウイスキーの代りにブランデー、ジン、ラム酒等を用ひてもよく、ソーダ水の代りに割氷をコップの中まで入れレモンの一片を浮せばコブラーといふ飲み物になります、あたゝかい物がよろしければ氷水の代りに熱湯を注いでスリング、これもなかなか風味があります

ウイスキー ホット

中型コップに角砂糖二個を入れ水小匙二杯を加へてよくとかし、カクテールグラス一杯量のウイスキーを加へ熱湯を注ぎ入れてレモンの一片を浮します、ウイスキーの代りにブランデー、ジン、ラム等を御用ひになつてもかまひませんがこれは相當酒精分がつよいのですから婦人や老人向にはポートワインや生葡萄酒、又はキュラソーマラスキノ等のリキュール酒を代用した方がよろこばれませう、右はいづれもなるべく御手許にあるやうな材料を選びましたし拵へ方も右の通りごく簡單ですからどうぞ御活用下すつて來客や御家族をよろこばして上げて下さい（吉永八郎氏談）

お正月の遊戯に相應しい追ひ羽根カルタ
何れも運動になる
面白い變遷のお話

歴史的 にわが國民に深い關係をもつてゐる古典玩具……羽子つき、カルタ遊びはお正月の樂しい家庭での遊戯として相應しいものでございます、この羽子つきは優雅な古典的遊戯であると共に注意力を練り、筋肉の統制力を練るのに價値があり、カルタ遊びは記憶、注意力を養ひまた敵を覗ふ推理の練習となります、然し運動の點に於ては羽子つきには比較なりません、これら古典的玩具もいろく變遷してをります、この羽子は昔は胡鬼子と稱し、羽子板を胡鬼板と呼んでゐたものです、これは隨分古いもので室町時代には旣にあつたものですがこの羽子の古名には深い意味がありこの羽子板の變遷を物語つてゐます

胡鬼と は蚊の意味で、胡鬼板とは蚊を追ひ拂ふ板と云ふ意味で、最も古い時代には、その板に五節の像を描いて護國の意味を含めたものです、後には殿樓や神樣を描く樣になりましたがこれもやはり護國の象徵であつたのです、その後、七福神や三番叟を描いて正月の緣起を尊ぶやうになりましたが、現在では俳優の似顏や當り狂言を現はし、最もモダンなものでは子供の繪など描かれ時代思想の變遷を如實に現はしてゐます

カルタ には歌カルタ、花カルタ、メクリ札などがあり、いろはカルタは比較的新しいものですが、西洋カルタ――トランプは早元祿時代に娼妓間に盛に用ひられてゐます、歌カルタは普通百人一首が用ひられてゐますが、その他古今集、伊勢物語等の歌を用ひたものもあります、花合せ遊びは平安朝時代に貴族の間に四季折々の花、風物を配して遊んだ時代を偲ばせる風流な遊戯です

不景氣は同じ暮の日蔭町
賣上げは昨年の半分

深刻な不景氣風は限りなく吹き荒み市內陽の街の大小は青息吐息の狀態なのです、斯うした時代にはさぞ例年よりは好成績を擧げてゐるものと日蔭町を眺めて見ましたが、いづこも同じといつた陰鬱さです……で某古着屋さんの主人は次の樣に語りました

不景氣 はこちらの方にも影響して例年ですと今頃は忙しくなりますのに今年の不景氣さいつたらお話にならず、昨年の半分に滿つか滿たぬの賣上げ狀態です、ボーナスが手に入つた頃少しばかり人足があつただけで全く今年は春らしい氣分がちつともいたしません、流質品も着物などは花柳界のものが主で流質着を利用する女給向きには柄合袖丈が合はぬため全く駄目なのです、貸衣裳も昭和二年に大連で初めて試みましたが最初の二三年間は非常に結果もよく月三百圓の

利益を 擧げてゐましたのですが最近では婚禮衣裳など六ケ月、十ケ月の便利な月賦販賣法が應用され殆ど借りる者はないやうに尠くなりました、葬式衣裳は用意して置くといふ方は割合に尠い樣で貸衣裳を利用し借りる方が相當ありますが最近は美粧院、葬儀屋などでも拔目なく損料貸をして居りますので其の結果こちらの方の利用者も減つて來てゐるものと思ひますが兎に角初めた頃に比較しますとまあ四分の一位の利を見る丈でうんと減つてゐます、私の方さ

親類筋 の質屋さんもひどいでせう、入質期限が切れ利が入らぬからと云つて入質品を流すと質屋の損になり、もしかしたら受出しに來るかも知れぬとかすかな希望をもつて質屋ではその方では受出したくとも金の運轉がうまく行かないのと流す質屋の蒙むる損失を知つていつまでも受出さず又利も入れずに放つておくといふ有樣で質屋業も苦しい立場にあるやうです

滿日婦人團へ慰問金贈呈に對して
中谷警務局長から感謝狀

今月中旬滿日婦人團からこの重大時局に際して出動軍人と共に警備の第一線に立つて獻身的な活動をつゞけてゐる警察官に對して慰問金を贈つて勞勞の意を表したことは既報の通りですが、これに對し中谷關東廳警務局長から二十一日附にて左の通り鄭重な感謝狀が參りました

謹啓初冬之候益々御清祥奉賀上候陳者今回の事變に關し警備の第一線に勤務致居候警察官の勞苦に對し深甚なる御同情を寄せられ慰問金三百十圓御寄贈に預かり御芳情洵に難有感謝の至りに不堪候、固より秩序の維持、治安の萬全を期するを職司と身する警察官の斯る非常時に際し身命をも不顧奉公の誠を致す事は當然の事に有之候、斯る御高配を蒙り恐縮の外無之益々以て其の責任の重きを感ずる次第に御座候、早速御趣旨に適ひ候樣州外警察官一同に對し御芳志を頒ち可申候、玆に一同に代り不取敢御禮旁々上度尚御配慮被下候諸賢に對しては貴殿より宜敷御傳聲願上候　敬具

昭和六年十二月二十一日
關東廳警務局長　中谷政一
滿日婦人團長
松山忠二郎殿

●訂正● 二十六日本欄所載「勅題に因んだ新春の束髮」の寫眞は左右入ちがひになりましたから訂正します

オコトワリ

エモノガタリ『アサヒハノボル』ハ イヨイヨオモシロク ナツテキマシタガ オショウグワツヲ ムカヘルタメニシバラクオヤスミニ イタシマス

おはなし
いたづら狸（下）
平方久直

いたいはずです。こぶくしたかたい木ぎれを、力まかせになぐりつけるのですから。

「さあ、おれのばんだ」

狸はおかしくてふきだしさうになるのを、やつとこらへて云ふのです。

そして、そつと、かれてから用意しておいた石ころをとりだして、ゴツン！

「あいたツ」

あまりいたいので若者は、ぴよこんととびあがつて、頭をかゝへます。

そこで、いふのそこをはたいて狸に渡すと、むくりむくとはれあがつたこぶをおさへて、べそをかいてどこかへ行つてしまふのでした。

狸はこんなおもしろいことは、うまれてはじめてなので、まいばんく村をあらしまわりました。

村には、おでこやらびんたやらに、むつくりとだんごを、つくつた人たちが、一ばんごとにふへました。そしてくやしさうな顔をして、あのふしぎな坊主のことについてはなしあひました。

あるばんのこと。

いゝごきげんで狸は、のそりのそりと村にやつてまゐりました。

ちやうど、村の入口にさしかゝると向ふから、これもまた狸とおなじやうなかつこうをした、ちんちくりんの坊さんがちよこちよこやつてまゐりました。

通りすぎやうとして、相手が聲をかけました。

「あなたかね、えらくげんこつのつよいおかたは？」

「ウン、おれだよ」

狸はいばつてこたへました。

「わしと一つかけをやりませんかな」

狸はこんなちびがとけいべつしましたが

「いゝとも、やりましよ」

と、すぐひきうけました。

「わしから一つやつてもらひませう」

相手の坊主は、小さな黑まめのやうな頭を、ひよいつと狸の目の前へさしだしました。

狸は「ようつし」と云ふと、いつもの石ころのげんこで、ポカリツ！。

が、いやはやその頭のかたいこと！。

キーンと云ふやうな音がして、石ころのすみが、ポロリとこぼれたので――

これにはさすがのたぬ公もどぎもをぬかれて、そろくきみわるくなつて來ましたが、いまさらいやと云ふわけにはゆきません。

こわく、そうつと頭を出すと待つてましたと云はぬばかりに、ブーンとおそろしい音をたてゝ、黑い鐵のかたまりのやうなげんこがとんで來ました。

狸は「アツ」と云ふと、ちよつとの間あたりがぐらくとしましたが、あとは何がなんだかわからなくなつてしまひました。

×

あくる朝、いつも早出の五平爺さんが、大きな狸が、かあいさうに頭をわられてあふむけにひつくりかへつてゐるのをみつけました。

それは村の入口の、石地藏のそばでありました。

爺さんは、これは地藏さんのおさづけだと云ひながら、うんしよくと狸をしよつてかへつて、皮ははいで賣り、肉は料理して狸汁にしてたべました。

「すこし、へんなにほひがするぞ」など、ぜいたくを云ひながら――（をはり）

滿日各地版

滿鐵中間驛の不安　遂に全線的に迫る
匪賊の跳梁愈々積極的となり　奉撫線驛員家族避難

【撫順】奉撫線中間各驛の危機…數次に亘る安奉線の襲撃に鑑み奉撫線中間驛現業員各家族の脅威遂日濃厚となつた其安全保護問題に就き廿六日午前九時より宮澤庶務課長寺田署長杉町警部宮城驛長伊東地方係主任清水炭礦社宅係主任下田助役等撫順驛々長室で鳩首協議前記中間驛各家族全部を炭礦管理の撫順驛前社宅に

收容 する事と決定した、爲に同線從業員は後顧の憂ひなく安んじて作業に精勵する事を得一方婦女子老幼等も戰々兢々たる生活から救はれる事となつた奉撫中間各驛が危險にさらされてゐる事實を示す一例としては二十五日午後七時二十分蘇家屯基點三十七キロ奉撫線深井子李石寨間遠方信號所附近に十餘名の便衣隊現はれ撫順驛午後八時四十分着列車顚覆陰謀畫策中保線區員王樹春(二七)が發見李石寨分遣隊に急報せんとするや便衣隊は逸早く是を發見狙撃數彈をブッ放したので王樹春は死を裝ひ斃れたる處彼等は王を足蹴にしさやかくする內目的の下り列車の通過時刻となり一まづ線路上より姿を消し撫順午後九時二十五分發列車に

危害 を加へんとする準備行爲に移つたので王は折柄の闇を利用李石寨に駆付け急報依つて後藤少尉の指揮する分遣隊約一ケ小隊は彈丸各百二十發攜行便衣隊を渾河對岸に掃蕩漸く事なきを得たが彼等の出沒は頗る巧で奉撫線が油斷大敵の實狀である

張臺子附近小驛　驛員の家族避難
遼陽蘇家屯間も不安

【遼陽】煙臺西北方沈旦堡方面より張臺子附近に亘り百五十名乃至二百名の兵匪が橫行部落に侵入掠奪を行ひ漸次附屬地に接近し來り廿五日張臺子西方天河泡(邦里一里半)を襲ふに至り同夜我守備隊及び警察官が附屬地を警戒せる爲め近寄れなかつたが廿六日は更に同部落に襲來廿七日は附屬地を襲ふべしとの情報あり張臺子では警察官の家族が殘留する外驛員の家族は全部廿五日夜遼陽に引揚げた又十里河沙河間の保線工場在勤社員の七家族も其の前日蘇家屯と遼陽兩地に引揚げた

南臺邦人に引揚命令

【大石橋】南臺西北一二三四邦里各部落に兵匪集結漸次鐵道沿線に向ひ進出の傾向ありとの情報を得たる猪苗代大石橋署長はその眞相調査をなしたが兵匪の集結確實なるを以て同地の警備に全力を竭ぐると同時に在住邦人驛員家族六十名に對し滿鐵側と協議の上二十六日午後三時二十分引揚命令を發すると共に地方事務所と打ち合せ之等家族の宿舍周旋中である

遼陽附近匪賊

【遼陽】頭目三勝は老北風と合同成立して錦州政府から旅長に任命され長銃五百挺彈藥五萬發機關銃十五挺の供給を受け其の部下は小北河、七臺子、蒲河口、大駱駝背、唐馬寨一帶に在つて各渡河地點を把持して居る

頭目老要以下十數名は廿四日午後六時頃何れも農民に裝ふて城西羊角灣(城西三十支里)村の胡忠恕方に闖入家人を脅迫して現洋三十餘元と銃一挺彈藥五十發を掠奪逃走したと

城北沈旦堡(煙臺西北方)北方約三十支里の新開河村に頭目張小獸以下約百五十名の騎馬匪は長銃及機關銃數挺を攜へ廿四日同村に到り潛伏中なりしを遼陽縣公安隊百餘名が出動討伐に向ひ殆ど一晝夜に亘る交戰の結果公安隊は彈藥つきて一先づ後退賊團は今尚同部落に潛伏中であると

城北小煙臺から廿五日午後六時頃約廿名の農民が避難せるを初め午後三時頃には干河子村から十七同午後二時頃には施河堡から十名が城內に避難して來た

百名の匪賊團

【鞍山】鞍山農商聯合會の急報によれば二十五日午後海城縣騰鰲堡西南方部落房申方面に約百名の匪賊が襲來したとの報に接し秘事隊の調査によれば頭目海紅の一團は二十五日午前十時頃前記部落を襲撃せんとしたが我軍の飛行機飛來せるを見て西方に逃走したと尙遼陽縣唐馬寨方面に約五百の匪賊が橫行せる模樣で目下警戒中

兵匪の爲斃れた五勇士の告別式
淚を誘つた奥村中尉の遺兒　廿六日盛大に執行

【鐵嶺】去る十五日馬家寨の激戰に於て壯烈なる戰死を遂げた奥村少尉以下四名の勇士並に二十一日夕顧子溝附近で線路巡察中兵匪の襲撃を受け交戰の結果戰死したる庄司[illegible]等兵の告別式は二十六日午後一時より當地小學校講堂に於て執行されたが遺族席には奥村未亡人と無邪氣に戯れる遺兒孝成さん嘉納曹長の遺兒涼ちやん政ちやん等の姿があり參列者は同情の餘り淚新たなるものがあつた、參列者は在鐵官民有力者は勿論小學生職友等も多く二宮憲兵少將も列席した各宗僧侶の讀經に次で鐵嶺守備隊第三中隊長上田大尉憲兵分遣隊長上田特務曹長、二ノ宮憲兵少將、田所守備第五大隊長、本線特務機關代表木下軍曹正、下士官代表大橋特務曹長、石塚領事代理、前田地方事務所長、小野地方委員議長、河村在郷軍人分會長、紀藤商議會頭、濱田熊本縣人代表、山下鹿兒島縣人代表、岡山小學校長、本多青年團代表等の哀悼に滿ちた弔辭あり關東軍司令官、守備司令官、關東長官、滿鐵總裁を始め各方面から寄せられた弔電の朗讀があつたが其中小林伍長の父啓三郞氏より

愚息の死に滿足す

の一文は參列者の耳朶に強く響き勇士を子に持つ親の雄々しさに多大の感動を與へた、斯くて一般の燒香まで約二時間靜肅なる告別式であつた、式場は各方面から贈られた花環に埋もれ香煙縷々として嚴肅な氣分を引立てた

哀れな姿で　同胞避難者到着
長春で保護につくす

【長春】農安方面における邦農十六戶五十名餘は過般懷德縣の匪賊討伐後その敗殘兵が農安に入込んだので危險に直面し同地を引揚げ二十四日長春に避難、領事館に保護を願ひ出たゝめ領事館では長春署及鮮人民會と協力し北二條通りに前長春商務會長所有の萬合興糧棧空家に收容すべく二十五日萬合興及民會長金東曉その他の關係者が實地檢分し造作は萬合興にて行ふことゝなつた邦農十六戶五十名餘は農安から徒歩雪の曠野を寒風に吹かれながら避難女子供多數もあつたゝめ三日を要して着長したのだが彼等の內には凍傷にかゝつたものさへあり見るも悲慘な狀態である尚長春に於ける避難邦農の收容は餘りに多く從つて今日のところ家屋がなく案ぜられてゐたが今回特產商萬合興が義俠的に糧棧の空家を造作して無料提供することゝなつたゝめ今後の避難邦農が相當押かけても同家屋內に收容し得るだらうと見られてゐる

避難同胞救濟

【鞍山】暴戾なる支那兵匪の暴虐を受け北滿其他各地より鞍山附屬地に避難して來た朝鮮人は既に數十名に達し生活困難の狀態にあるので鞍山警察署では遼陽領事館に對し之等貧民救濟方を申請した處廿六日領事館より避難鮮人救濟金として金二百七圓五十二錢鞍山署に到着したので山本保安主任は鮮人會長及普通學校長を始め避難鮮人六十餘名を呼び出し夫々分配した尙衣囊に鞍山小學校自治會より寄贈された書籍やシャツ、ズボンエプロン其他及び現金等も分配されたので彼等は非常に喜び淚ながらに帝國の有難さを感じながら引揚げた

まるで駄々兒
同胞患者の手當

【鐵嶺】當地に收容せる避難鮮人中に多數の流行病患者を續出せる爲め臨機の處置としてこれを隔離したるは既報の如くなるが二十五日朝隔離病舍で二名の死亡者が出たのに驚いた鮮人患者は自分も死ぬやうな恐怖に捉はれ監視の隙を窺つて續々と逃げ出し係員を手こずらせた、訓戒の結果納得再び隔離所に入つたが更に重患者十名を滿鐵醫院に收容百方手を盡してはゐるが何分にも無智な鮮農の事とて係員は其取扱ひに困り拔いてゐる

丸で無警察狀態　法庫門市民脅ゆ
市民は續々として避難

【鐵嶺】法庫門に入城せる我軍は兵匪掃蕩の目的を達して既報の如く二十三日同地を引揚げたるが皇軍撤退後の法庫門市街は想像以上の恐怖に襲はれ大部隊の兵匪襲來說頻りに傳はり避難民は先を爭つて危險を脫せんと焦慮しつゝあり奉天、營口方面から行つてゐた店員達百餘名も一團となつて鐵嶺に避難し來つたそれらの談によると同地は未だ公安隊歸還せず全くの無警察狀態で一度兵匪の來襲を受けんか防禦の策なく彼等の毒手は無盡に振はれるであらうといふので居住民は生きた心地もなく搬出し得るものは悉く纏め攜行し得ないものはドシ／＼と埋藏して掠奪を免れんと苦心してゐる今後引續き避難民は續出するであらう

滿洲の上空氣象は仲々複雜してゐる
滿洲定期飛行の計畫を前にして　奉天觀測所の研究

【奉天】南北滿洲を繫ぐ定期飛行の計畫はその後着々準備が進められてゐるがこの航空事業に直接關係のある滿洲における氣流、風速その他天候等の狀態につき奉天觀測所では左の如く語つた

近頃飛行も毎日のやうに行はれ奉天を中心に航空路の開設も計畫されてある程で從つて氣象の觀測も非常に重要となつて來たのである、去る十七日から七時といふ一日中最も寒さの嚴しい時外氣に直接觸れ三十分も四十分もレンズと睨つこをしてゐる、滿洲の天候は好晴が多いので氣象觀測も非常に單調のやうに考へられるが實際は仲々そうはいかぬ、地上は南風であつても五六百米上空に揚れば北風が吹いてゐるし又地上は無風態であつても五六百米上に上れば十五米乃至は廿米の強い風が吹いてゐることが往々ある、今まで觀測した最高記錄は五千八百米であるがこれから航空事業が開發せられるやうになると一萬米も二萬米も上層の觀測が必要となつて來る、從來滿洲の氣象觀測には餘り重視されてゐなかつたがこうした觀測に迫られ滿洲には少くとも五六箇所の觀測所を設置し氣象研究方面に手を伸ばすことが非常に必要となつて來る、又この氣象觀測が今後滿蒙における產業開發に重大に關係があることは勿論である

駐剳隊出動

【鞍山】奉天駐剳步兵第二十九聯隊は二十六日午前十時三十五分鞍山驛通過某方面に出動した、尙遼陽駐剳步兵第十六聯隊は同日午前十一時鞍山驛通過某方面に出動したが鞍山在郷軍人分會、實業會、靑年團、時局委員會其の他官民約百名の多數が驛頭に於て日の丸の小旗を振りかざし盛大なる見送りを受け萬歲聲裡に出動した

油頁岩工場の跳躍的擴大
輕油精製工場を建設

【撫順】帝國海軍に多大の貢獻をなしつゝある撫順オイルセール工場の跳躍的擴大——同工場主產物たる重油は一般重油に比し引火點低く且特種の臭氣ありその中に燈油揮發油等の多量の輕油分を含有是が分離は重油自體の危險性を除去する上に於て半面安價なる重油から遙かに

高價 なる揮發油等の輕質油を分離精製する事は同工業をより以上經濟的有利ならしむる上に於て頗る重大なる懸案であつた、而も是が化學的研究は撫順炭礦研究所所長岡新六、沖中忠一兩博士指導のもとに既に完成の域に達してゐた殘る處は製油工場に繰戾して輕質油分離工場の建設問題であつた處が果然オイルセール工場內に輕油精製工場建設される事が今回決定七年度解氷期早々第一次約十五萬圓を投じて建設される事と確定した右は同工場產全重油を純然たる工業的見地から輕油化する決定的一段階として重要視され勢ひ製油工場第二期擴張を促進する誘因たるものである、因に同所產重油中には

燈油 二十二%乃至二十六%揮發油三%から五%車軸油十五%乃至二十%等を抽出精製し得る事が多年の研究の結果實驗濟で遊上各輕油を遊離したる殘部の重油は引火點高く全く危險性なきわが海軍注文通りの重油となり得るのであり從つて重油は從來通り重油として賣り高價な輕油を餘分に生產し得それだけ儲けが多くなる譯である

飛行隊　着石
戰時氣分濃厚

【大石橋】錦州方面兵匪の狀況日に急迫せるにより軍部に於ては當地鐵西飛行場に格納庫を築造しつゝありしが二十四日完成したるを以て本日當驛午前零時三十五分着第一八列車にて飛行第七大隊第三中隊自動車○○輛來石す將校○○名は飛行機○機に搭乘午後零時三十分飛行場に着陸直に中隊本部を驛前梅澤家旅館に置く本田少佐以下幹部卸着事務を開始せるが午後二時三十分頃某附近に兵匪約三千(四門裝甲自動車四輛を有す)現れたとの情報に接し輕爆機○臺は爆彈各○個を攜帶之れが殲滅すべく同方面に出發兵匪に相當の損害を與へた同四時卅分無事歸來した目下大石橋は空に飛行機の爆音地に自動車軍用サイドカーの轟音絕え間なく全く戰時氣分に滿つ

篤志看護婦人　看護打切り

【[illegible]】連日連夜旅順衛戍病院に於て傷兵の看護、診療材料の手傳ひに努めつゝあつた修養團婦人及び國防婦人會員も頃日到着した內地からの看護婦が到着し充實したので廿四日限り一先づ休止する事となり追つて入院患者增加次第再び御手傳ひをなす由で矢澤院長を始め多數の傷病兵は非常なる感謝をなし特に鄭重なる謝辭を述べる處があつた

鞍山の火事

【鞍山】鞍山北三番町一丁目二八裴龍運方より二十六日午前六時三十分出火したので消防隊出動し午前七時鎭火したが原因は放火の疑ひあり目下取調べ中損害枯草二千斤

小學生商業實習
旅順第一の高等二年生　注連飾りを賣り出す

【旅順】本夏初めての試みとして夜店露店を出した旅順第一小學校高等科二年生一同の商業實習は今回更に本年最後の實習として正月用注連飾り外二三點を賣出す事となつた場所は舊市街購買組合前で品物は大連で不況時哀れな我が邦人救濟の意味で作られた品物、華人の製作物とは格段の相違ある極上等品である

鞍山市民の義擧
續々現はれる慰問獻金

【鞍山】鞍山に於て時局勃發以來市民の緊張した熱誠は日毎に向上し昨今の慰問金、軍資獻金等は續々として現はれ小學校の二年生雪組の如きは各人が赤ン坊のお守りやお使、雪はき等をなし一錢二錢を貯へ全員で金四圓を六大隊本部に慰問金として贈つたが亦鐵西の支那人側でも警察官の日夜警備の勞苦を犒ふべく金一封を持參し署員の慰安として贈呈する外飲食店組合或は質屋或は個人として毎日の如く贈られてゐるこれらの主なるもの左の通りである

▲鞍山北二條町白川組三浦源七氏は二十四日鞍山警察署に出頭して金五百圓を左の如く贈呈した

二百五十圓　軍費獻金
百圓　北滿出征中六大隊へ
五十圓　警察署員一同へ
四十圓　第三大隊第三中隊へ
四十圓　第六大隊殘留部隊へ
二十圓　憲兵分遣隊員一同へ

▲鞍山飲食店組合長荻野伊三郞氏は二十六日本署に出頭し金一封を鞍山署員慰問の爲め贈呈した

▲鞍山北二條町質屋お島七之助氏は鞍山警察署警備費として金五十圓を寄贈した

△鞍山小學校二年生雪組は二十五日金四圓を鞍山署經由六大隊に慰問金として贈つた

△鞍山鐵道西の支那人商務會では二十六日本署に出頭し金一封を贈り署員の慰問を爲した

あつた

分遣隊長後任

關東軍憲兵隊本部に榮轉する上田憲兵分遣隊長の後任として仙臺憲兵隊より須瀬季三氏が任命された

奉天

奉天神社典祭

奉天神社では十二月三十一日午後四時大祓式同午後七時より除夜祭一月一日午前九時より歲旦祭三日午前十時より元始祭を擧行する由

角力ファンに告ぐ

春場所好取組の勝敗は今から滿都の血を湧かしてゐるが斯界の大權威栗島狹衣氏が富士新年號に豫想を發表して到る處話題の中心！ファン必讀の名記事である。

鞍山

鞍山人口動態

鞍山署管內に於て昭和六年一月より十二月二十六日までに出生した男女數は二百五十四名にして死亡者百二十一名である尙居住屆出四百六十四人轉居七百七十三人である

圖書を寄贈

鞍山製鐵所工作課員瀨尾春二郞氏は二十六日北二條町圖書館に單行本一揃ぎを持ち込み軍隊慰問の陣中文庫に寄贈した

軍隊等を慰問

鞍山時局委員會では二十六日警察署、守備隊、憲兵分遣隊等を訪問し金一封を贈り第二回の慰問を爲した

鐵嶺

兩校の卒業式

鐵嶺縣立師範學校では二十四日下期卒業式を擧行し三十八名の卒業生を送り又縣立中學校は二十五日卒業式を擧行卒業生は四十八名で

市中便り

△北二條町風呂桶造り井ノ口寅吉(五四)さんは獨身者にて至極眞面目に働いて居た夕飯の時支那白酒一杯やるのが樂しみであつたが二十四日の夜も例の如く支那白酒一升を買ひ二合程飲み就寢した、しかるに二十六日朝近所の人が訪れたけれ共一向起きないので山本ヒデさんや北本の靴屋さんが立會で開扉した處蒲團を着て眠つた如く死んで居た石川醫師の診斷によれば死後二十四時間を經過して居ると△遼鞍新聞社野尻彌一氏奉天新聞鞍山支局江頭輝一氏の兩氏は二十七日十二時二十二分發列車にて錦州方面に從軍した乘馬一頭に馬丁まで頂き上長官待遇だと

遼陽

署員に賞與

遼陽警察署長は廿六日の定期召集日に一ケ年間精勤にして成績良好なりし左記十六名に對し銀盃一個に賞狀を添へ授與したと

西巡查部長山田(榮)阿部(淸)坂元、諏訪、岩田、內藤、佐々木松野、高藤、畑、松本、大川、岡松、川上、船山各巡查

稅捐局長更迭

遼陽稅捐局長は今回昌圖に轉出後任には同縣から張蠹恒が近日着任すると

大石橋

警察年末警戒

大石橋警察に於ては例年の通り年末警戒實施中であつたが愈々時局も本舞臺に切迫せる折柄本日より署員總出動警戒主力本部を海城臺に置き兵匪の警戒警備に全力を擧げつゝあり偵察聞込みは本部の作戰計畫上最も肝要事であるとの理由にて晝夜兼行私服にて三四里奥地部落に潛入その任務に就き警察官吏及密偵の辛苦實に想像の餘りあり盤山及風老北風賊團の勢力散せる二三百名組の賊徒滿鐵線近くに進出しつゝあり南臺海城他各驛方面の危險日に切迫しつゝあり是れ等に對し限りある警察官の辛苦活動振りは誠に目覺ましく淚ぐましき極みである

旅順

商協評議員會

旅順商工協會では二十六日午後六時から民政署學臺クラブに於て第一回評議員會を開催し購買會に對する問題に就て大に協議を遂げ明春匆々積極的對策に關する重要案件を討議する處があつた

小學校奉拜式

一月一日御眞影を奉拜する旅順第一小學校及び第二小學校、各學校では當日午前九時三十分迄それぞれ講堂に參集同十時より左の式順に依り行ふ

敬禮(樂器合圖)、開扉、君が代(奉唱)、最敬禮、閉扉、勅語奉讀、誨告、唱歌、敬禮、退場

子供に大金

二十四日午後一時半頃旅順正隆銀行支店へ年齡十二歲位の子供が預金一千三百四十圓を引出しに來たが詰合の金子巡查は萬一を思ひ自宅迄附添送り屆けたが其筋では餘り放膽過ぎるので銀行側及び兩親へ注意を與へる處があつた

兎耳鷲目

時局の推移に依り市役所の庶務課は日夜大多忙を極めつゝあるが手不足の爲め二十六日から對時局旅順市民會よりとして各方面への連絡及び時局に關する一部業務の圓滑を圖る爲め內藤寬、西野菊次郞兩氏が交代市役所に於て庶務の擔當を爲す事となつた

日本橋際興和公司では二十六日金二十圓を出動中の旅順警察官へ寄贈した

◇

二十四日午後十時三十分永山旅順市長宛松江步兵第六十三聯隊第三大隊中尾副官より左の如き入電があつた

一死報國を期して征途に上るに當り遙かに敬意を表す兵神丸は二十八日大連着の豫定松江步兵第三大隊將士一同旅順を懷かしむや切なり

◇

二十五日午後六時からヤマトホテルで催されたクリスマス祭は百十餘名の參會者あり盛會を極め幸運の金指輪は玉置小兒科醫長、津田博物館長夫人に當つた

◇

榮町一〇段瑞孫妻段高氏(一八)は二十五日夜家人の隙を覗ひ自宅に於て縊死を遂げたが原因不明

第二の反抗 (115)

三宅やす子　阿部金剛畫

東京へ(三)

「いらつしやい」

埃だらけのテエブルの上に、枯れかゝつた植木鉢がのつかつて居た。

ガランとして客は一人も居ないが威勢よく「いらつしやいまし」ともう一度云つた少女は

「何にしますか」

と注文をきゝに來た。

「何でも」あいまいなことを云つて、ライスカレーを持つて來て貰ふやうに云つた。

お靜は坐りの惡い椅子にかけて亂れた髮をさきつけた。

さつきから、時々氣持が惡かつたのだが、急に下腹がさしこんで來たやうに感じた。めまひがくるくする。

(きつと、あんまりおなかがへつたんだ)

少女が飯を一杯盛つけて、眞黃色なカレーをかけた皿を運んで來た。

すると、カレーの匂ひがプンと鼻を打つて、食べないうちから、すつかり腹がはつてしまつた。

お靜は冷水をぐいとのんだ。

「冷たのかしらん」

慣れない汽車と、電車、そのうへ、汽車に乘るまでの、乘合自動車が、とても搖れて苦かつたが、あれがいけなかつたかしらん。

柱に何とか商店と赤字を浮せた柱鏡がぶらさがつて居た。それに顏をうつして、お靜はハッとした。

眞蒼な顏——自分から。あんなに眼のくぼんだ病人みたいな女。

お靜は思ひ切つてスプーンを持つた。無理に、ものをたべやうとした。

食事をしてしまふと、お靜は、急に立ち上るのも大儀になつて、しばらく、ボンヤリ、椅子によりかゝつてゐた。

「これから、何處へゆかうか」

もう日がすつかり暮れて、夜の景色になつた。

(今夜どこかに泊らなければならない)

何だか、夢を見てゐるやうで、お靜は分別も何も出なかつた。

こゝらは郊外の、場末町であらうが、何て、賑やかに、家がたてこんで、商店が軒を並べてゐるのだらう。

こゝらにもたづねて見たら、キット、宿屋はあるかも知れない。

(あのお上さんに訊れて見やうか)

奥の間から主婦らしい小ぶとりの女が時々こつちを見て居る。

思案をして居るうちに、お靜はまた下腹の痛みをひどく感じた。

お上さんに云つて、厠を貸してくれと云つて、お上さんの前を通りぬけ、薄暗い三尺の厠にしばらくうめくやうにして居たお靜は、手を洗つて廊下に出ると、ぐだりとうつぶしに倒れてしまつた。

「どうしたの、氣分が惡いんですか」

お上さんがすぐに氣がついて介抱をしてくれた。

「さあ、藥をおのみなさい」

お靜はぐつしより冷汗をかいて居た。

お上さんの部屋に座蒲團を二つ並べて敷いて、毛布をかけてくれたのも、よくは覺えて居ないほどだつた。

時々うなつて——お靜はうとうとされむつたやうな氣で、眼をさました。

弱い乳兒の育て方

牛乳、ミルク、重湯育ての人工榮養兒でもかうして立派に發育します

虚弱 兒は、何れも健康兒に比べて、身體も小さく、顔は皺だらけで皮膚には光澤がありません。そして泣聲にも力が無く弱々しくて、發育が悪いものであります。

かうした弱い乳兒を持たれた母親の苦勞は並たいていではありませんが、それなら、どうすれば弱い乳兒を丈夫に育て上げることができるかと申しますと、先づ何よりも乳兒の榮養に注意して發育を促すことが第一であります。

乳兒の哺育料として、母乳に優る物の無いことは言ふまでもありませんが、其實際を見ますと、規則正しく授乳しても

綠便 や顆粒便、下痢などを出して榮養發育が不良に陥るものもあります。

これは健康兒でも、乳兒は消化力が極めて弱いものでありますから、充分に消化しきれないために起るのであります。況して、これが弱い乳兒でありますと、消化不良も一層激しいわけであります。

又、母親には何等の症狀も無く至極健康であるにもかゝはらず、乳兒が急性の衝心脚氣に罹ったりすることがあります。これは、母乳成分中のヴイタミンBの不足に原因するものであることは、既に皆樣が御存知のことですが、乳不足とか母親の病氣のためとかで、止むを得ず母乳に劣る牛乳その他の人工榮養料で育てる場合には一層この點が多いのであります。

ところが面白いことには、最近

牛乳等に加へると、忽ち母乳同等の榮養價が生じ、同時に母乳にも無い消化作用が賦與され、

脚氣 に罹る虞れも一掃されるといふ驚くべき作用を持った藥物が發見されました。それは、ヘーフエといふ一種の黴菌から製られた「錠劑わかもと」といふ藥であります。

これは非常に強力な消化作用をもってゐますので、乳兒にもっとも多い消化不良には大變よく効きます。綠便や粘液便も普通の健康便となり、人工榮養兒でも安心して育てられます。殊に牛乳育ちの乳兒には

便秘 が多く、所謂石鹸便といって、白いコロコロした固い便が出たりして困るものですが、この藥を常用させますと、非常に好い具合の軟便が毎日あり、人工榮養兒におそろしい消化不良や榮養不良の危險も防止されます。

また虚弱兒には腺病質で風邪をひき易く、神經質で癇が強く、

夜泣 といって、別に譯もなしに夜分泣き叫び、よく眠らぬことがありますが、この「錠劑わかもと」には、身體の抵抗力を強め、神經を靜める作用もありますので、それらの乳兒にも賞用されます。

乳幼兒の成育に必要な榮養成分

澤村博士の苦心によって理想的の榮養酵素劑成る

乳兒の發育成長 に必要な榮養素は二三に止まりませんが、中でも最も缺くべからざる物は、ある種の蛋白質の中に含まれてゐるリヂン、チスチン、ヒスチヂン及びヴイタミンA、B、Dであります。

蛋白質中に含まれてゐる前述の成分が、乳兒の發育成長に著るしい效力を有し、何れも血となり肉となる貴重な榮養素であることは内外諸學者の厳密な

動物 試驗に據って實證されたところでありますが、ヴイタミンのみに就て申しましても、其のAは身體の抵抗力を強める效があり、殊に結核に罹り易い腺病質な小兒に必要です。同じくBは一般に脚氣に對する效能ばかりが知られて居りますが、一方には成長を

促進 する作用があります。同じくDは骨格の形成に無くてはならないもので、これが缺乏しますと骨が軟かくなって所謂佝僂病になります。

牛後五六ケ月を經た人工榮養兒には、一日二三回果汁、人參、大根等の野菜汁や果物の汁をよく與へますが、これはそれらの成分中に含まれてゐるヴイタミンの攝取によって、乳兒の發育をよくするのが目的であります。前項でもちよつと述べました「錠劑わかもと」の成分には此のヴイタミンA、B、D、Eを初め前述のリヂン、チスチン、ヒスチヂン等を豊富に含んでゐるのであります。

我國榮養學の泰斗として有名な東京帝國大學名譽教授

澤村 眞博士は多年苦心研究の結果、獨特の特許方法によって、此のヘーフエ菌の全成分に米胚芽の有効成分を加へて、この「わかもと」を創製することに成功されました。

乳不足と乳兒脚氣　かんたんに防げる

赤ちゃんが生れた時お乳のよく出ないのには、殊に初産の若いお母樣はよくお困りになって、やれ、鯉こくだの、お餅だのとお上りになりますが、近頃では澤村博士の「錠劑わかもと」をお服みになって、乳不足から救はれた方が隨分澤山ございます。これは乳を出すだけの藥ではなく、榮養劑として、胃腸藥として、非常に廣い効能を持って居りますが、催乳の作用では他の催乳藥や、乳のマッサージを凌ぐ效果をもって居ります。

それにヴイタミンB其他の榮養素も豊富ですから、産後の衰弱を恢復させる効著るしく、産前産後の脚氣はもとより、乳兒脚氣に對しても專門の脚氣藥にまさる効果があります。

尚「わかもと」は粉末新藥の他に服用者の便宜のため、錠劑として一般に頒布されてゐますから此の錠劑「わかもと」を碎いて牛乳や重湯等に加へますと、母乳同樣の榮養價が生じ、充分に消化吸收されますので、發育困難とされてゐる人工榮養兒でも、丸々と立派に育成されます。

右の「錠劑わかもと」はわが國民の健康增進、乳幼兒の死亡率遞減のために種々の社會事業を行はんとする榮養と育兒の會から左記の如き大衆的廉價で發賣されてゐます。御希望の方は發賣元、東京市芝公園大門際六、榮養と育兒の會(振替東京一七〇〇〇番)へ藥價だけ御送金になれば送賃は會で負擔して急送されます。藥價は二十五日分一円六十錢。八十三日分

「わかもと」粉末=新劑 九〇瓦入 卅日分一圓六十錢

「錠劑わかもと」同樣各藥店に販賣

母の手記

生れ變った健康兒に

生後六ケ月で重い消化不良の子と常習便秘の六歳兒が

(東京) 横山繁子

私は 六歳と二歳になった二人の子の母でございます。下の子は生れつき弱さうな子でしたが、果して生後六ケ月の頃から、胃腸をこはしてしまひました。手を替へ品をかへ藥も樣々なものを服ませましたが少しも快くなりません。むつがつて、乳ものまず、夜もろくろく眠りませんので、まるで骨と皮とになってしまひました。主人も、

一層 自分が身代りになれるものならなどとも云ひましたが、いくらあせっても捗々しくないので、私までがすっかり衰弱して半病人になりました。すると或日、知合ひの方が來られて、よい藥があるから是非試してみてはどうかといって、「わかもと」のことを知らせて下さいましたので、早速附近の藥店から買求めて與へて見ました。

處が 二三日の間にもう効驗が見えまして、これ迄永い間一日に五六回もいやな便がありましたのが、二三回位に減り、それが又段々と回數も少く、便の質もよいのが出る樣になりました。そして夜もよく眠り、お乳もよく飲みだしましたのでほっと致しました。其後は毎日缺かさず頂かしてをりますが、此頃ではまるまると肥って、迚も元氣になりました。また六歳になります上の子供は小さいのとは

反對 に五日も六日も通じが無く、時々浣腸をせねばならぬ有樣で、食事も充分に頂かず、顔色もすぐれず他家の子供に比べものにならぬ程不健康でしたが、「わかもと」を毎日頂かす樣になりましてからは、食事も餘程おいしく食べる樣になりまして、肉つきもめつきりよくなりましたので、家内中大喜びでございます。そして主人などは、『わかもと』のお蔭で助かったのだと毎日の樣に申してをります。

月明のもと灯を消し 恐怖の列車鳳凰城へ
カーテンを下し車内は死の沈默
二十六日鳳凰城にて 島田一男特派員發

匪賊によって破壊された安奉線張家堡子河鐵橋へ急行すべしとの命を受けた記者（島田特派員）は西村寫眞班員と共に奉天を午後一時二十五分の急行列車に飛び乗つたが實にこの列車こそは噴火山上を走るが如き無氣味な空氣に包まれてゐた、ポツ〳〵と語る乘客達の話題は何れも匪賊の襲擊に集められ滿洲には珍しく變化に富んだ安奉沿線の風景は一瞥すら與へられない、却て山があればトンネルの破壊を恐れ河があれば鐵橋の爆破に怯える有樣だ、それも未だ日のあるうちはよかつた陳相屯あたりから全く夜の帷に包まれて仕舞ふと列車內は完全に死の如き沈默に包まれて仕舞つた

無心な幼兒の笑聲すら不安に怯えてゐる母親の制止に打消されて仕舞つた、臨時停車でもしやうものなら忽ち乘客の顔から生色が失はれてゆく、本溪湖で下馬塘に匪賊百五十名、草河口に匪賊百二十名襲擊の噂を聞く、愈々危險地帶に近づいたのだ、而し幸ひにして列車は何等の被害を受けずして鷄冠山に到着した、目的地たる鳳凰城は目前だ、然し此處には更に驚くべき情報が這入つてゐた、こゝより五龍背までが眞の危險地帶だ、所によつては交戰中のところすらあるといふのだ、列車は全部灯を消して行くことになつた

窓には完全にカーテンが引かれた、電氣は消された、たゞ折柄の月光を便りに一路南下の進路を急ぐのだ、微にカーテンを開いて表を見れば師走の月は寒天に冴えわたり白雪に覆はれた山河峽谷を皎々と照らしてゐる、常ならば美しと見るこの風景も徒らに戰慄を覺えさすのみだ、**列車內には咳拂ひ一つしない、**たゞ進行する列車の音のみ高い、列車には僅に三名の警官が便乘してゐるのみだ、然し午後九時十五分我々は無事鳳凰城に到着することが出來た、不安と恐怖に滿ちた列車を下り緊張し切つた驛の空氣の中へ捲き込まれて仕舞つた、今乘り棄てた列車のオープン號の運命さへ安全だとは斷言出來ない我々であることを悲しまねばならない程危險な安奉線の現狀だ

安奉線各驛の警官は 從來の五倍を增置
まだ〳〵警官は不足

匪賊續出せる安奉沿線附屬地の警備充實は今や不安に曝られてゐる居住民の等しく待望してゐるところで軍部乃至關東廳警務局でも過般來の馬賊襲擊に目下出來得る限りの軍警を同地方に派遣し極力賊團の襲來に備へてゐるが、右に關し事變以來專ら警備事務に忙殺されてゐる中谷警務局長を訪へば

いやどうも安奉沿線は御承知の通り山谷が迫つてゐて地理に明るい賊團が單線のため思ふやうに應援も繰り出せないといつた警備海の地點を出沒襲擊して來るわけなので仲々警備も骨です錦州地方に牽制して置いて安東沿線を騷し遼西地方の官匪と相呼應して奉天を攪亂しやうといふ彼等の計畫は此處を先途と今後は益々油斷はならぬ次第だ、こんなことは當局でも初めから分つてゐたので取敢へず二百名增員の分を同地に派遣したがまだ〳〵こんなことではとても駄目だから先般來なほ千四百人ばかりの大增員を行ひたいと思ひ滿鐵にも交渉したし政府にも追加豫算を要求中であるが追加豫算は議會の協贊を要し滿鐵の方もまだ海のものとも山のものともつかぬし兩者とも今の處急場の間に合ひそうにもない、併し安東線各驛には最近軍隊も增派され警察官もこれ迄の約五倍を增置してゐるのでさして心配はない

海城縣下の慘害
破害村落五十九ケ村

匪賊の暴虐が如何なる慘害を良民に與へてゐるかを知る一適例として海城縣公安局が縣內の滿鐵線西部地方の匪害狀態を調査せるところによれば次の如き驚くべき數字を示してゐる

▲第五區　被害地域二十五ケ村、被害者戶數三百七十二戶、二千五十八人、燒失家屋百二十四戶、破損家屋三百二十五戶、人質五十七人、人質となつて逃歸つた者三十三人、死者三人

▲第八區　被害地域十六ケ村、被害者二千八百九十戶、二萬十八人、燒失家屋三十五戶、破損家屋二百六戶、人質二百四十五人、人質となつて逃歸つた者百八十三人、死者八人

▲第九區　被害地域十二ケ村、被害者一千九百五戶、九千四百八十八人、燒失家屋四十七戶、破損家屋百五十二戶、人質六十八人、死者四十四人

▲第十區　被害地域六ケ村、被害者六十四戶、三百六十二人その他不明

▲合計　五十九ケ村、五千二百三十一戶、三萬一千九百十八人、燒失家屋二百六戶、破損家屋六百八戶、人質三百七十八人、人質となつて逃歸つた者二百十六人、死者五十五人

なほ第六、第七兩區は現在完全に匪賊に占據せられて調査不能であるが被害程度は以上各區に比し更に甚だしきものがあらう、この方面の匪賊は老北風、海紅、海樂、青山等を頭目とするもので總計二萬に達すると【海城電話】

田庄臺の戰鬪が 生んだ美談三つ
牧岡・惣角・新谷三君の事
廿六日　藤井特派員發

田庄臺における戰鬪は大部隊の衝突ではなかつたが敵は夜陰と地物を利用せる計畫的襲擊であつたゝめ激烈なる方であつた、わが大隊は各部隊との連絡を斷たれ敵の重圍に陷つた形となり一時は非常な苦戰であつたが良く敵を擊退せるはわが勇敢なる將士の活動に依るものである、當時の戰鬪において我が勇士の壯烈なる行爲をあぐれば數限りなく直に陣中美談として日本男子の模範となるものばかりである

◇

第一中隊第一小隊附屬上等兵牧岡信義君は廿三日夜九時、田庄臺河岸を守備してゐた二個分隊の危險迫れりとの報に接し高橋小隊長の命を受け救援のため部下五名を率ゐて對岸に急行した、河のなかばに到つて敵彈雨の如く危險この上なく、一同は氷の上に伏せていざり進んで行つたが敵の一彈は遂に牧岡上等兵の鼻下から下顎を貫き上等兵は重傷に堪へず「天皇陛下萬歲」と叫んで倒れた、再び息を吹き返し銃を執り敵前に進まんとしたが身の自由を失ひ僞に一同は上等兵を抱へて本部隊に歸つた、上等兵は高橋小隊長の前に到るや直に直立不動の姿勢をとり「牧岡は小隊長の命を果さすこんなことになりました、殘念です」と報告したまゝその場に倒れた、かなりの重傷で一時は生命の安否さへ氣遣はれてゐたが目下營口滿鐵醫院に入院治療中で經過良好である、當時河岸にあつて五六十名の賊團と苦戰した戰友達は上等兵の天皇陛下萬歲の叫び聲を聞きながら「殺られた」と知りつゝも助けにも行けず悲壯なる當時を回想して皆淚を流してゐた

◇

大隊本部所屬の惣角軍曹は廿三日夜の激戰で本部隊と停車場に駐屯してゐた第二中隊との連絡を執るべく命を受け午後四時半、後藤上等兵以下三名を從へ彈が雨霰と降る中を出て行つたが一里半隔つた停車場に着いたところ、第二中隊は應戰のため既に地を變へたあとであり停車場は敵軍に滿されてゐた、惣角軍曹は大膽にも停車場附近まで忍び寄り完全に敵狀を視察して本部に歸り着き部隊戰鬪に有力なる材料を報告した、四名とも奇蹟的にも一彈を蒙らずその勇敢なる行爲には桂大隊長始め各將校連何れも激賞した、尙後藤上等兵は昂々溪において敵兵に襲はれわが經理部員が全滅した際只一人生殘つた幸運兒である

◇

營口憲兵分遣所より特派された新谷伍長はわが大隊が田庄臺を占據せるとき大隊長の命により公安局第一分局の武裝解除に赴かんとして部下二名と共に午後三時四十分大隊本部內から四、五間出たとき突如潛伏せる敵の狙擊を受けたがこれが當時戰鬪の第一彈であつた、この時新谷伍長は僅か二、三米離れた敵十數名とモーゼル拳銃を以て應戰し敵の重圍を脫し本部に引揚げたが同君の沈着なる行動は大隊一同の激賞するところとなつてゐる

また鄭通線を 匪賊が破壞
約八百名が大林進出

軍當局談によれば通遼、鄭家屯方面の匪賊狀況左の如くである

一、通遼方面に於ける錦州軍の使嗾する匪賊は先般わが軍の威嚇によりて退却せるも最近再び約八百名は通遼東方大林に進出し彼等はまた〳〵鄭通線を破壞せり

二、金龍好、中央樂多、古天等の匪賊頭目の率ゆる部隊約六百名は二十三日來、三沙口東南方三十支里の太平山にあつて盛んに掠奪中なり

足立氏から謝電

軍人時局後援會より派遣され內地を遊說中の足立興一氏は廿七日門司より本社に左の電報を寄せた

貴社御厚意により內地遊說任務達成謝す、大阪京都東京各地熱狂す感激のあまり素封家より家傳の銘刀寄贈を受く廿九日着連の豫定皆さんによろしく

奉天近郊に 匪賊猖獗
石佛寺中心に

關東軍當局談＝奉天西北地區の匪賊猖獗狀況左の如し

一、奉天を西北方に距る三十粁の石佛寺方面唐三家子には最近わが守備隊法庫門附近匪賊討伐のため北上の虛に乘じ約五六百の匪賊來襲し暴虐を極めつつあり

二、廿三日朝石佛寺に騎馬隊約二百名來襲し公安隊と交戰後逃走せり

三、既報の板橋子北方八粁の四臺子附近に廿五日約八百名の兵匪現はれ目下南下中【奉天電話】

小型電線電話で 通信連絡を圖る
考案者小澤大尉來る

【東京二十七日發】小型無線電話機の考案者步兵三十七聯隊附日本大學大阪中學服務小澤大尉は長谷部旅團長が以前三十七聯隊長當時小澤氏の研究を援助した關係から今回臨時關東軍司令部附に任命され二十六日午後十時十二分大阪發渡滿した、その目的は全線との通信連絡に新考案機を使用せしむるためで今回昂々溪の場合の如き全く全線との通信連絡上非常な困難を感じた結果もあり之が改善は焦眉の急とされてゐる

朗かに 「一夜を民家に……」
白鷺城下の兵隊さん達
いづれを見ても物凄い元氣

「もうわし等が來た以上皆樣に御心配はかけん」と上陸と共に出迎へ何萬の市民を狂喜せしめた村井濟規旅團長は長髯黑髯、初めつから支那側を呑んで掛つてゐる、滿洲に第一歩を印した廿六日夜「思ひ出多い滿洲で假寢の夢を結ぶんじや」と

旅團司令部 に當てられた遼東ホテル四階の會議室で中園參謀長と共にキユウと一杯利きの好いところをきこしめしてゐる最中に「御苦勞さまです」と記者が顔を突き出す

わしは滿洲には緣故深いよ昭和二年から四年迄、そう〳〵例の外山少將が譚家屯で演習をした時は俺のこの面も交えてゐたもんさ、君達新聞社の人がもつと徹底的にやつてくれんと困るぞいゝか戰爭はわし等がする、その後始末は君達がやるんだ、今度は來た以上どうにか目鼻がつくまでは歸らないつもりだ

こゝまで一氣〳〵、咬みつく樣な熱のある言葉が續けられると後を引ついで中園參謀長

一つ叩けば 百叩き返す位の物凄い元氣ぶりでおい若人よしつかりしろ、どうも大連の人達は內地に比較してまだ〳〵熱が足らんぞ、地元のくせにそれじやいかん、えゝか解つたか、さあ一杯呑めこの目の中に入れても痛くない樣な部下の潑剌さを見てさすがの少將も終始微笑を洩らしてゐるどうです元氣でせう、おい中園滿富に賴むぞワハ……爆發する樣な哄笑が

晩餐の席に 當てられた會議室からドツと溢れ出す「寫眞を一つお願ひを……」「ウンよかろう、これでえゝか、皆わしの身體につかまつてくれそして元氣なところを一枚」氣持よくキヤメラに入つてくれるにかく元氣者の中園參謀長、櫻井參謀、齊木、富田兩副官も豪傑とした村井旅團長は全く聯隊の神に惠まれたと云つてもよい

×　×

廿六日來滿上陸、市內に分宿した派遣部隊の將兵はこの滿洲での第一夜をどうして送るか

慰問と感謝 を兼ねて宿所の扇芳亭を訪れる「おい俺には一つ浪花節をかけてくれ」宿所のおかみさんの心盡しの一杯にホツと赤くなつた姬路の兵隊さん、隣りから遊びに來た小ちやい若い綺麗な鄕子君に駄々をこねてゐる、その言はんとするところは要するに浮いたジヤズやカフエー小唄なんかのレコードはやめちまつて國粹主義の浪花節をかけろと云ふのだ「どやこれ？」と云つて掛けたのが赤穗義士寺坂のレコード、邂逅につれ無邪氣な兵隊さんの咽喉がウウウと一緒にうなり出す、白鷺城下の兵隊さん達は全く家に歸つた樣な氣安さで一部のものは

手紙書きに 專念してゐる「私儀頗る壯健……」と云ふ書出しだ、朴訥な彼等の心情についホロリとさせられる、二十七日はもう奧地に戰線に出發する兵士等だ、それが國家の生命線擁護のため懷しい故山をあとに赤い夕陽の滿洲に來たのだ、しかも何と云ふ明晰さだ澄みきつた國家への盡忠の志は全く感謝の外はない

【寫眞は（上）扇芳亭に軍服を脫いだ兵隊さん（下）×印村井旅團長、その後が中園參謀長】

大連射擊大會
滿日賞獲得者決まる

去る二十日及二十五日兩日本社、大連市民射擊會共同主催のもとに行つた大連射擊大會は既報の如く非常な好成績と盛會裡に終了したが、滿日賞獲得者について役員參集審議の結果左記の人々入賞した尚賞品受取り場所は追つて發表の答

▲小銃射擊之部　一等藪內丈平（三九點）二等財滿鑛澄（三八點）三等横田公雄、上田删三（三七點）四等山本善五郎、井手重武、松野新一、緒方秀達（三五點）五等松田松次郎、昌四彥、淺川盛光（三四點）六等今藤隆、小林慈策、緒方末彥、八代國丸、多良木三雄（三三點）七等池田正次、大越寅、門脇誠郞、林巖、坪井茂男（三二點）八等前田春一、島海周吉、大場春吉、山崎勇助、安田孝三（三一點）九等德永勇吉、豐永利一郎、朝永里一、渡邊英雄（三〇點）

▲拳銃之部　一等松田松次郎、久保田賢一（四一點）二等財滿鑛澄（四〇點）三等井上武、梅田嘉三郞、松原國隆、內野末吉（三九點）四等國松滿雄、大下勳（三八點）五等富部勇、緒方末彥、山中芳德（三七點）六等北島巖（三六點）七等大西斌（三五點）八等梓澤敏司、上田删三、阿久井武流、西村榮、緒方秀四、菅原隆（三三點）九等中野重道、奧山敏男（三二點）十等東榮太郎、渡邊正助、中尾昇、後藤一郞（三十點）十一等白川英三、篠原龜三郞、吉田康、久保繁雄（二九點）

最近流行する新語

引ッ切りなしに產れ出る尖端語には全く緜らせられるが「現代」新年號の別冊附錄「新語新知識」を見れば新語なら一切合切分り重寶無比なので物凄い人氣である。

陣中文庫の 圖書募集
極めて好成績

滿鐵地方部で今回新設することゝなつた陣中文庫の各地における圖書寄附募集狀況はいづれも良好な成績を收めつゝあつて大連でも廿四日までに埠頭五百册、沙河口六百册、伏見臺五百册に上り沿線でも大石橋の如き青年聯盟、婦人聯盟、地方事務所等協力して活動を開始し廿五日頃までに約五百部となつたが、その他公主嶺方面でも第一回締切日の廿七日までに可成り應募をみる模樣で社會教育係では更に廣く一般の參加を希望してゐる

スケート選手權大會は中止

明年一月十七日奉天に於て開催することになつてゐた滿洲體育協會主催の全滿スケート選手權大會は時局のため中止することゝなつた

スポーツ課稅 反對運動開始

【東京二十七日發】野球のみならずスポーツ一般に課稅を行はんとの機運再度紛擾具體化せんとして來たのに對し廣田氏他十四、五名のスポーツ團體代表は二十六日午前十時半文部省に集合、鳩山文相に面會課稅反對の陳情書を提出懇談後更に打揃つて大藏、內務等關係各省並に東京府知事を歷訪同樣陳情書を提出猛運動を開始した

新友邦エチオピアに移住

【東京二十七日發】新發展地をアフリカに求め新友邦エチオピアに向ふ大阪日惠商會の原藤左衞門氏らは二十八日午後七時三十分東京驛發一月一日神戶を出帆する事となつたが、荒木陸相は二十六日午後官邸に招き明治大帝の御眞影と日章旗を送つて激勵した

極左各團體が 歲末デモ計畫

【東京二十七日發】極左の日本共產青年同盟失業同盟の各團體は二十六日夜半を期し歲末鬪爭デーとし全市一齊に街頭デモを決行せんとの計畫あるを警視廳で探知同夜十時までに六十二名を檢擧した

安樂椅子

內田滿鐵總裁は何よりも書が一番苦手だと謙遜しながらも請はるればさうイヤな顔もせず筆を揮ふ、總裁の號は龍峰だが安廣元總裁も同じ龍峰なので總裁就任以來は龍峰違ひのないやうに「龍峰康」と署名してゐることは議に本欄で紹介した通り。

……◇……

この康龍峰總裁がこの間赴奉した折奉天新政權の兩大立物袁金鎧老と于冲漢老を招致して清宴を張つたが書談に移るや御兩人とも當代一流の書家だけに氣焰當るべからざるものがあつた。

……◇……

總裁曰く「書家としては袁老の方が名聲が高いやうに思つてゐたが于老の眼中袁老無しの概で筆を持つ時は弓を射ると同樣兩手に渾身の力を集めて懸腕直筆しなければならぬなどと解釋するので苦擊手がイヂけて拙い字が餘計に拙くなつたヨ」と呵々大笑。

曙の鐘 (152)

倉田潮 河野想多畫

山の夜(五)

たえ子はあけみの言葉にますます怒りをあふられた。

「あけみさん」ときつと居住居を正して、彼女は云つた。「私、春木を絞首臺にのせても悔いない、なぞと云つた覺えはありませんわ。あなたの仰有ることを默つて聞いてゐると、私、失禮ですが、執念の蛇につきまとはれてゐるやうな氣がしますのよ。道理にもとつたあなた達の意思なのみ、何處までも通さうとして、周圍を全然かへり見ないんですもの。でも、あけみさん、今のたえ子は昔よりずつと強くなつてゐるわ。それに此處はあなたの御屋敷とは少し譯が違ひますから、あなたが何んなに高壓的に出ても、無理は決して通りませんわ。たゞとにかく遠くから御出でたのですから、今後私が夫の春木を救ひ出さうとして取らうと思ふ行爲を參考までに御知らせして置きますわ。あけみさん、私は明日にも上京して、御承知か何うかしりませんが淺草に駒太郎さんと云ふ、私達二人の恩人がゐる――その駒太郎さん夫婦に事情をよく打ちあけて、一緒に警察へ行つて貰はうと思ふのよ。そして、あなた方御兄弟が私に加へた暴虐の最初から、あの洋館の最後まで、洗ひざらひ正直に打ちあけてしまはうと思ふのだわ。あなたの家には大變不名譽ですまないけれど、夫の春木を救ふ爲には、私は他をかへり見てゐる闇がないのよ。これが私の春木を救ひ出す爲めに、先づ取らねばならぬ妻としての手段ではないかと思ふのですわ」

あけみは憎惡に燃える瞳で、燒きつくさうとするやうにたえ子の眼をにらんでゐた。が、たえ子は勝ちほこつて

「それにあけみさん」とあけみを冷やかに見下して言葉をついだ。「今夜あなたが此處で云はれたことも、私、出るところへ出ればそのまゝ云はねばならないと思ふのですわ。私、何處までも眞すぐな道を通つて、正面から救ひの門を開き度いと思ふのですから、あなたも私の性質を考へて許して下さい。私、春木に限つて決して人を殺すやうなことはしないと思ふのですが、もし春木が私の爲に人を殺したと判れば、その時は私も潔よく死ぬ覺悟ですわ。死んでも私、一度身をゆるした春木と別れる氣にはなれないのよ」

あけみはその言葉を聞いてゐるに堪へぬやうに憎々しげに顏をしかめてゐたが、言葉がとぎれると

「たえ子さん」と唇をわなゝかせながら、低い聲で云つた。

「そんなことであなた、春木さんが救ひ出せると思ひますか」

「私、正しいことは最後には勝利を得ると思ふのよ」

「では、やつてごらんなさい。私の家の內幕や今私がこゝで申しあげたことは、何處の誰に云つたとて、私、決して恨みには思ひませんわ。やつてごらんなさい」

「やりますとも」

「たゞ私、その爲に春木さんを殺してしまはねばならぬ結果になるのが殘念です。でも、かうなつてはもう仕方がありませんわ」

あけみは思ひがけない靜な低い聲でさう云つて、そのまゝ座を立ちあがつた。

「私、では、おいとまするわ」

「でも、あなた、こゝには宿は一軒しかないのよ」

「それは知つてゐるわ。私、山をこれから下るつもりよ」

「こんな夜更けに」

「夜はかへつて氣持ちがいゝぢやないの」

あけみはさう云つて、何んなにとめても聞き入れずに宿を出た。

たえ子が歸りがけに廊下を眺めると、月の山路を落ちついた足並でぶらぶらと歩いてゆくあけみの背ろ姿が眼に止まつた。その意外な氣強さに、たえ子はまた驚かずにはゐられなかつた。

新刊紹介

▲爾靈(第三〇四號) 價三十錢、關東廳警務局內南滿洲警察協會

▲かご(新年號) 價四十錢 東京市本郷駒込曙町二番地俳句月刊社

▲顯祭(十二月號) 價四十錢、東京市外大崎町谷山二二二顯祭發行所

▲教育問題研究(十二月號) 價四十錢、東京市麴町區四番町七第一出版協會

▲棋道(十二月號) 價五十錢、東京市麴町區永田町二丁目一番地日本棋院

▲中央佛教(第十二號) 價三十五錢、東京市牛込區矢來町五十七番地中央佛教社

▲拓殖公論(十二月號) 價三十五錢、東京市麻布區六本木町三二番地拓殖公論社

けふの放送

大連 JQAK 十二月二十八日

▲午後三時三十分 ニュース

▲午後六時十分 ニュース (以下內地中繼六時三十分)

▲掛合噺「藏拂ひ」大丸民之助、海老一菊藏、同芳之助、同清繁、柳家さし松、囃子連中

▲放送舞臺劇(大阪より)曾我廼家五郎一座「笑を忘れた人々」(堺漁人作)(場景)一(雪の夜の工場裏空地)二、福井家の庭先、町內の夜警(一朝)質屋の店員(五六)同番頭(蝶六)同伜(林蝶)同隱居(五樂)同嫁(時和)カフエーコック(なたれ)同主人(一郎)同女給(葉蝶)老たるルンペン小林平吉(五郎)或る會社の重役(四郎)大工の棟梁(時右衛門)重役の夫人(五郎丸)鑵詰問屋福井卯之助(蝶六)其の娘高子(秀蝶)福井の娘藤子(桃蝶)若きルンペン三浦辛一(五月)福井家下女おさき(蝶幸)同下男久八(小次郎)同仲働きお小夜(蝶壽)藤子の母おつれ(大磯)其他囃子連中 (以下大連放送局より)

▲ニュース

▲天氣豫報

▲職業紹介事項

兒童教訓の良雜誌

幼年俱樂部が常に家庭に於ける兒童の智、德、教育に就き其他この繪畵等最善の留意を拂つてゐる特に新年號には東京高等女學校長棚橋絢子先生が「國を盛んにするには教育の振興にある事勿論であるが、別けても幼少年時代の教育こそ國家の消長を左右する大問題である」との尊い教訓は各家庭必讀のものである

現代(新年號)

卷頭の時局論に民政の永井、政友の鳩山の對立、聯盟の影武者米のドース、英の新聞王エキスプレス紙のビーヴアブルーフ卿の對立論戰、創作は久米、武者小路、青果其他の文豪のオンパレート、附錄として「短篇集」「最新新語新知識」「最近海外百話」「最近化學の實際化」其他新年讀物とし推奨すべき記事豐富

メヌマ化粧品本舖 井田京榮堂新築成り

大量生產と品質向上に努力すメヌマ、ポマード及クリームで有名な井田共榮堂では創業以來僅か十年にして一躍化粧品界の寵兒となり非常の發展をとげ從來の店舖では狹隘を感じつゝあつたので今春來東京市本所區林町に宏壯なる邸宅及近代科學の粹を盡した宏大な工場及事務所を新築中であつたが此程竣成した、新工場は模範的の諸設備を有し規模に於ても從來の數十倍の製造能力を持つ理想的工場でメヌマ化粧品が國產化粧料品界に萬丈の氣を吐くものである、過般丸の內東京會館に於て得意先其他二百數十名を招き盛大なる新築披露の宴を催し同業名士多數參會盛況であつた、同社の前途益々有望である(寫眞はメヌマ化粧料本舖新工場)

滿洲日報

發行人 鈴木… 編輯人 橋本… 印刷人 本村武… 發行所 大連市東公園町… 株式會社滿洲日報社

定價 一ヶ月 金一圓三十錢 郵税 金十五錢 一部 金五錢

廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算

今曉巡察中のわが兵 大連市內で射殺さる

匪徒は直ちに逃走逮捕されず 暴威遂に大連に迫る

滿蒙の險惡なる狀勢、就中錦州附近に占據して張學良軍隊の眼覺しき活動に鑑みて十二月二十六日大連に上陸した姫路○○隊は同夜大連市內に警戒宿營したが、今曉二時ごろ○○中隊小野美騎兵中尉の指揮する巡察兵が市內龍田町陸軍倉庫附近を通行中突然便衣隊らしきものから拳銃をもつて狙撃された、その際先頭に立ち勇敢に行動をして居た小野一等兵は臨機の措置をなしたにも拘らず胸部貫通銃創をうけ瀕死の重體に喘ぎ乍ら巡察長等に救けられ最寄りの憲兵分隊に一時收容せられ軍醫の手當をうけたが二十七日午前三時遂に悲壯なる最後を遂げた、急報に接するや憲兵隊長は直に部署を區分し大連憲兵分隊と共に極力匪徒の搜査に努めつゝあるも未だ逮捕に至らない、同一等兵は特別進級により上等兵となる＝號外再錄＝

攪亂された大連の平穩

豫期出來ぬ匪徒の行動

殘虐極まりなき支那兵の暴威は遂に大連市內にまで及び今曉龍田町陸軍倉庫附近に於て巡察中の姫路部隊小野一等兵が便衣隊員らしき者に突如射殺された重大事件が突發してより市內の平穩は忽ち攪き亂されて、歲末の繁雜と共に不安は刻々募つて來た、これより先二十六日夜張學良の密令を帶べる抗日義勇軍、抗日鐵血團の決死隊十數名が大連市內に潛入、皇軍の擾亂を策しつゝありとの報に接し軍部及び警察方面では水も洩らさぬ嚴重警戒網を張つてゐたところ、突如我兵の射殺事件が發生し神出鬼沒の便衣隊員の行動には驚くの外なく死もの狂ひとなつた便衣隊員が今後如何なる行動に出づるとも計られない危險狀態で、今や市民は支那兵の暴威を前にして戰々兢々たるものあり、軍隊及び警官增員の聲は今や大連市民の輿論となつて擡頭してゐる

小野一等兵遭難模樣

巡察中匪賊に狙撃され賊彈に斃れた小野一等兵は同夜巡察長下士一名と共に宿營せる清水町一帶から馬繫場を巡察任務に服し馬繫場の巡察を終り馬繫場に赴く途中旭町の東北隅から陸軍倉庫の東側廣場に出んとした際小野一等兵は巡察長に前方を見るから巡察長より約百米突前進した時突然三發の銃聲が聞へたので巡察長が駈けつけて見ると小野一等兵は左胸部に貫通銃創を受け銃を持つたまゝ路上に仰向けとなつて倒れてゐたので急報により旅團司令部よりは加藤二等軍醫正等が駈つけ酸素吸入其他で應急手當を加へたが遂に蘇生せず午前三時悲壯なる最後を遂げた、匪賊の所持せる拳銃はブローニングにて附近には三發分の藥莢が遺棄されてあり人數は少數のものらしい

小野一等兵遭難現場

矢印の場所

犬養首相參內

【東京廿六日發】犬養首相は午後一時十五分參內陛下に拜謁仰せ附けられ英、米、佛三國よりの錦州攻略に對する帝國政府の回答ならびに帝國政府の聲明書及び錦州方面の情況等に關し委曲奏上御下問に奉答した

匪徒搜査 手掛りなし

巡察中匪賊のため狙撃され小野上等兵即死したとの急報に接した大連憲兵分隊には即時旅團司令部附憲兵隊と協力して全市に亙り非常警戒線を張り匪賊逮捕に努めたが二十七日正午に至るも何等手がゝりなく引續き警戒中

小野一等兵遭難現場附近略圖（×印）

殘念に堪へないが 一死無駄ではない

全軍將士に非常に緊張を與へた 村井旅團長 暗然と語る

…洩らすも上陸第一夜において愛する部下の一名を潛入便衣隊の狂暴な魔手によつて失つた村井姫路○○旅團長を遼東ホテルの司令部に訪ふと軍務に忙殺されて居る旅團長は寸暇を割き暗然として語る

未だ滿洲の土を踏んだばかりで戰地といふのでもないのに不意討を喰つてこんな最後を遂げさしたのは洵に可哀想である、私としても假令一名でもこんな處で部下を失はふとは豫期して居なかつたので頗る殘念である、支那人のやることは全く判らない油斷も隙もならぬから我々は十分警戒せねばならぬ、小野上等兵の死はわが旅團の全軍に非常な緊張を與へた、士氣は却つて鼓舞されて居る、上陸して以來いろいろ御厄介になりながら斯ういつては甚だ失禮であるが大連に來て見て感じたのは市中の人が案外未だ緊張して居ない、こんな斯う云ふ不幸な出來ごとでもそれが市民に對する刺戟となつて一層の緊張を誘つたならば一死決して無駄ではないと思ふ、われわれはこの兵卒を犬死に終らせ度くない決心を十分に持つて居る

射擊の名手 模範兵士だつた

中隊長不破大尉語る

巡察中不幸匪賊のため狙撃され勇敢なる部下小野上等兵を戰死せしめた中隊長不破大尉は哀然として語る

小野上等兵は岡山縣倉敷町出身で平素非常に溫厚なそして責任感念の強い模範兵士で初年兵の時既に上等兵候補者となり出發前には聯隊の上級佐官附き當番で當時の佐官は渡滿せず本人は自分の希望で出征して來た出動後も率先して涙ぐましい傳令に當つて居り小野上等兵は射擊にかけても非常な名手で聯隊でも名譽ある射擊章を貰つてゐたので花々しい戰ひもせず上陸の第一夜賊彈に倒れたことは誠に可愛想なことをした私はもうこれ以上何んにも言へませんどうか察してやつて下さい

流石の不破大尉も暗涙にむせびながら「キツト部下の敵は討つてやる」と固い決心の程を示し隊內も異常な緊張振りを示してゐる

北支軍長會議

【天津廿六日發】學良を中心とする北方各軍長官會議は昨日北平で開かれ錦州作戰協議の結果左の如く決定した

一、錦州方面が危機に瀕せば關內の北軍は全軍を擧げて應援に出動し平漢、平綏兩線は山西軍、津浦線は山東軍が警備する

湖北の興安 共產軍占領

【漢口二十六日發】湖北省興安で共產軍に包圍された中央軍第三十一師張印相は決死的戰鬪に依り活路を見出し二十四日拂曉全軍城外に突擊したが共產軍に擊退され師長以下各旅長等全部戰死し同縣城は共產軍の手に陷り武漢は直接脅威を受くるに至つた又天門でも討伐軍は共產軍の包圍を受け大損害を蒙り共產軍の勢力優勢を示してゐる

植民地長官更迭 明春早々解決か

首相、拓相等協議

【東京二十六日發】秦拓相は二十六日午後四時半犬養首相を訪問植民地長官更迭問題につき協議したが犬養首相は朝鮮臺灣關東廳並に滿鐵正副總裁の更迭問題は明春早々解決する意嚮で年內には植民地人事には手を附けぬ方針である

塚本長官辭任

【東京二十七日發】去る十五日附を以て塚本關東長官の辭表提出しあり年內に後任決定の筈である

關東長官は 山岡氏有力

【東京廿六日發】秦拓相は關東長官の後任を詮衡中なるが山岡萬之助氏最も有力一兩日中に正式決定を見る模樣である

將士感謝文可決 全院委員長選擧

日曜日の衆議院本會議

【東京二十七日發】衆議院本會議は二十七日午前十時半開會劈頭陸海軍將士に對する感謝決議文を滿場一致可決我權益擁護のため酷寒の滿洲に轉戰しつゝある將士に對し國民の總意を代表して深き感謝を捧げた、この日全院委員長、常任委員長の選擧を行つたが野黨は各委員長を獨占して絕對多數の威力を發揮し之を以て院內書記官は擧げて野黨の占むる處となり政府野黨は愈々するどい對立を見せつゝ休會明けを待つ事となり休會明け劈頭の解散は最早必至の事となつた、午前十時廿分振鈴と共に議員着席又犬養、大角、荒木、前田秦の各閣僚も本會議に於て初めて大臣席に就く午前十時三十五分中村議長開會を宣し起立して總員起立の內に勅語を捧讀す次いで一松定吉氏の動議により議事日程變更小山松壽氏外四十二名提出の陸海軍將士に對する感謝決議案を上程

一松定吉氏(民)

酷寒の野に戰つてゐる我忠勇なる將士に對し國民の意志を代表して感謝の意を表明したい、これは我全國民の切なる意志である

と述べて降壇滿場拍手裡に可決決定す

大角海相

滿場一致を以て可決された決議に對しては感謝の外ありません、直に全軍に傳達致します

と謝意を述べ次で

荒木陸相

我陸軍は海行かばみづく屍の心を以て命を國家に捧げて我生命線確保に轉戰してゐます、然るにこの溫かき決議に對しては將士も感泣するでありませう、軍も今後奮鬪これ努め御期待に反かないことを期する積りであります

と熱と力の感謝演說を行つて決議文の議事を終り各閣僚退出次で全院委員長の選擧に入り堂々廻りとなる、開票の結果

投票總數　三六二票

二一九票　鳩澤　宇八(民)
一四一票　土井　權大(政)

外大竹貫一、太田信治郎各一票、鳩澤氏絕對多數で全院委員長に當選十一時二十五分休憩、午後零時五分再開、增田副議長議長席に就き休憩中に行はれた常任委員選擧の結果を報告した後

增田副議長

本會期中本會…

貴院全院委員長

松平賴壽伯當選

【東京二十七日發】貴族院本會議は午前九時五分振鈴と共に德川議長紳爛たる大禮服にて眞先に着席次いで各議員入場衆議院の解散氣構へも一向に響かずなごやかに開會劈頭德川議長より二、三報告あり昨日の開院式に賜りたる勅語に對する奉答文の議事に入り全會一致可決、議長奉答文捧呈のため同九時十四分離席す、副議長議長席に就く議事日程に入り全院委員長の選擧を行ふ其の結果投票總數百九十五票の內

一八九票　松平　賴壽
二票　細川　護立

その他四票蜂須賀、柳澤、本間氏らに一票無效一票斯くて松平伯全院委員長に當選次いで常任委員の選擧を行ふこととなり同九時卅五分休憩、午前十時五十五分再開德川議長は一同の起立を求め勅語を朗讀す、次で一條實孝公の動議に依り日程を追加陸海軍將士に對する感謝の決議案を上提提案の理由を說明し別項の感謝文を朗讀し滿場一致可決さる、次で答禮のため大角、荒木海陸相續いて登壇感謝の意を述べ滿場拍手を以てこれを迎ふ、終つて德川議長より本院は議日は火木土とする事委員會日は月水金とする事質問日は火曜とする事に異議ありませんかと諮り之れを可決し增田副議長より明廿八日より明年一月二十日迄休會する旨を述べ午後零時十三分散會し年內における政戰は一先づ幕を閉ぢた

陸海軍將士感謝決議案

【東京二十七日發】衆議院各派交涉會は二十七日午前九時開會陸海軍將士に對する感謝決議案上提に關し協議の結果本日本會議日程を變更し開會劈頭左の決議案を上程し滿場一致可決することに決定して散會した

陸海軍將士に對する感謝決議案

我陸海軍は近時頻發する滿洲北支方面の禍亂を掃蕩し以て帝國の權益を保全し居住臣民の擁護に盡瘁す、これ國民の感激措く能はざるところなり、時寒に際し將士の勞苦更に大なるものあらむ、衆議院は茲に院議を以て感謝の誠意を表す

右決議す

貴族院決議文

【東京二十七日發】貴族院の陸海軍將士に對する感謝決議文左の如し

滿洲事變勃發以來我帝國陸海軍は勇戰奮鬪支那兵匪の暴逆を膺懲してこれが掃蕩の功を奏し今又酷寒風雪の中に艱苦行動して克く我同胞の生命財產保護と我權益の擁護とに任ぜり、貴族院…

貴族院奉答文

【東京二十七日發】貴族院奉答文內容左の如し

貴族院議長臣德川家達誠恐誠惶謹て奏す　天皇陛下茲に第六十回帝國議會を開院の盛典を行はれ優渥なる勅語を賜ふ臣等謹て叡旨を奉體し愼重審議協贊の任を竭し以て皇猷を贊襄せむことを期す臣家達恐懼の至に堪へず謹て奉答す

芳澤大使出發

【パリ二十六日發】芳澤大使は外務大臣就任のため歸朝を命ぜられたが明二十七日午後一時十五分パリ發歸國する事となつた

佛國から勳章

【パリ二十六日發】フランス政府は二十七日午後一時パリ發歸國の途に就く芳澤大使に對し日佛親善上の貢獻及び國際聯盟理事會としての世界平和のための活動を感謝するため二十六日レジオン、ドノール大十字章を授與した

天津領事會議

【天津二十六日發】我軍の錦州進擊切迫せるを感知したアメリカ領事の主唱により天津の治安維持白河の航行を維持するため日本を除く領事會議を開く事となり今明日中に開會の筈である

蛇角

衆議院、劈頭陸海軍將士に對する感謝狀を決議す、之れこそ全國民意思を代表する者。

◇

滿洲の土を踏んだばかりの小野上等兵匪徒の狙擊を受け悲壯の最後を遂ぐ、遺憾、氣の毒、憤慨。

◇

全滿匪徒の活躍、便衣隊の出沒我軍の任務愈々大、其勞苦益々多し。

◇

奉天自治指導部の于沖漢、先づ匪賊を討伐せれば自治の基礎は出來ないと力說す、匪賊の討伐には先づ其の操縱者から片づけるべし。

◇

英米佛獨、蔣張を助け日本を抑へんとす、是れ固よりあるべき事。南京特別委員會、機に乘じて國際聯盟に干涉要求電を發す、我國民愈々腕を固めて、協力奮鬪の秋來る。

◇

廣田大使の暗殺計畫者は、チエツコスロバキヤ公使館書記官、日露戰を起して、世界戰爭誘發の魂膽と分る、露國其手に乘らなかつたは賢明。

◇

チエツコスロバキヤ人は多く親日感情を抱く、そこにもこんな危險人物が居る、亂を好む世界人心の頹漫、油斷ならず。

◇

南京執監全體會議、張學良罷免の議あり、又蔣張は兵を率ゐて關外に赴き失地回復に當る可く、北平は閻錫山をして守らしめんとの議あり、何れも蔣張を窮地に陷れる腹本案。

東亞の謎 (161)

國枝史郎 作
挿畫 伊藤順三

黃帑の巢窟 (一)

伯は次郎をかへり見て云つた。

「人質どもが邸から出た。あの連中が後方から、自動車庫の方へ驅けかゝつたら、僕達の軍は完全に勝つがれ」

「彼等は也該速を憎んでゐるのですから、さういふことになりませうよ」

「さうだ僕もさう思ふ。……オツ見給へ！武村ぢやアないか！ヤツ小夜子さんをひつ攫つて行く！」

「大變だ、伯爵、武村です！」

「さうだ、こいつ、うつちやつては置けない！よし、僕、追つかけて行かう！……次郎君、洋子が心配だ！すぐに、君は、將校宿舍の一つ張り馬で、たつた今しがつた」

「そりやア大變だ？さうして一人で？」

「さうです、一人で、だから心配です……」

「よーし！」

と南部は叱るやうに云つた。

「僕、行かう、伯一人ぢやアあぶない！」

さう云つた時にはもう南部は、數間の彼方を馳せてゐた。

次郎は安心して將校宿舍の方へ走つた。

× × ×

沙漠を二騎が走つてゐた。

その後方に火の手があがつてゐた。

音車頭城の一廓が、盛んに燃えるのであつた。

それが一里の後方にあつた。行手も左右も漠としてゐた。

戈壁の沙漠だ、戈壁の沙漠だ！月が碎けてかゝつてゐた。

沙漠は火事の桃色の光と、月の銀色の光とで、暗い眞珠色に燦つてゐた。

戈壁の沙漠だ、戈壁の沙漠だ！

武村と伯とが走つてゐた。伯が追つかけて來たといふことを、さうに武村は氣が付いてゐたこいつは大變だと一方で思ひ、ナーニ帽子驚へ着きさへしたら、こつちのものだと一方では思つただから何うしても伯より先に、行きつかなければ不可ないと思つた。

目茶目茶に彼は馬を煽つた。十數町の先を走る、武村の姿を睨みながら、伯も馬を煽りに煽つた。

何處へ彼奴行くのだらう？小夜子と一緒に何處へ行かせても不可ない！さうだ小夜子と一緒には？——さう伯爵は狂人のやうに思つた。

「馬ならあります、あそこに一頭！」

すぐ側の建物の門口に、黑馬が一頭つないであつた。

伯は走つて行つて夫れに乘つた。さうして武村の後を追つた。

次郎はちよつとの間見送つたが將校宿舍の方へひた走つた。

さ、その時南部正雄が、騎馬で此方へ馳せて來た。

「おゝ次郎君、味方勝利だ。……伯爵は何處にゐるれ、え、伯爵は！……人質どもが此方になつてれ、それで旨く成功した。……伯爵は何處にゐるれ、え、伯爵は？……數十臺の自動車、數十頭の驢こいつが此方のものになつた。…だから直ぐに其奴を利用し、此處を出て沙漠を越さうといふのだ、音車頭城を脫出しやうといふのだ！……伯は何うしたれ、え、伯は？」

「大變です、南部さん、武村の奴が、小夜子さんを攫つて、驢に乘つて、向ふへ行つたんです。……ですから伯がそいつを追つて、矢一に…」

船中に一夜を明かし けさ堂々と上陸

岡山、小倉、久留米各部隊を 埠頭に迎へて歡聲

滿蒙の各地に跳梁する兵匪、馬賊を掃蕩しわが國權を擁護し三千萬民衆の平和郷を招來せしむべき重大任務を帯び廿六日上陸した村井旅團の一部、岡山、小倉、久留米の各部隊〇〇〇名は第十一平榮丸に乘艦、航海中濃霧と時化のため豫定より遲れ二十六日夜半入港乙埠頭第二十一番バースに繫留、安奉沿線に於ける匪賊襲擊の報を耳にして早くも勇心勃々たる身を船中に明かし午前八時よりそれぞれ上陸を開始した

萬歳の聲轟き渡り 感激の渦巻き

これより先埠頭は晴れの勇士を迎ふるべく早朝から塵一つ殘さず綺麗に掃き清められ歡迎の準備成る、午前七時を過ぐる頃より市内各男女中等學校、小學校、在郷軍人、青年團、青年訓練所及一般市民は續々と押かけ埠頭狹隘のため甲埠頭に

整列 し上陸時刻を今や遲しと待ちあぐむ、この間輸送指揮官山本大佐は各幹部と共に森本陸軍運輸部出張所等と上陸後の豫定について協議を重ねる、定刻となるや防寒具に身を固めた武裝兵は陸續と上陸を開始し始めるや早くも彼方より萬歳の聲が上る、一先づ乙埠頭廣場に堵列し歩武堂々と甲埠頭に行進を開始する、劉喨たるラッパの音は寒空に冴え渡り忽ち起る萬歳の轟き、打振る旗の波學生達の元氣な

軍歌 裏に派遣部隊を迎ふるに相應しい情景である、八時四十分各部隊は甲埠頭にヒタリと整列する小川大連市長は市民を代表して

生還を期せず死力を盡すと 山本指揮官の挨拶

事變發生以來我が皇軍は各地に轉戰して匪賊を掃蕩せられ滿蒙におけるわが權益を擁護せらるゝのみならず在留邦人の生命財産の保護に當つて居られます、御承知の如く張學良軍を始め兵匪跋梁は益々甚しく滿蒙の平和を脅しつゝある折柄、今

新進 氣鋭の皆樣をお迎へするを得たのは我々の最も感謝に絶えぬ所であります、言ふ迄もなく皆さんが兵匪の掃蕩に活動せらるゝことはたゞにわが權益を確保するばかりでなく實に三千萬民衆がその堵に安心すべき平和郷を實現するわけであります、目下酷寒愈よ熾烈ならんとする時、皆樣の御苦勞さぞかしと御察し申上げ同時に我々の感謝措く能はざる所であります

と歡迎の辭を述ぶ、次いで輸送指揮官山本準一大佐は

元氣 そのもの〻姿を演壇に運び

「第十一平榮丸の上陸部隊を代表し輸送指揮官たる山本は一言御挨拶を申上げます、我々は内地各地に於て國民の熱誠なる歡迎を受けましたが、今又敵地に第一歩を印するに當りまして早朝からかくも官民多數の歡迎を受けましたことは實に感激の極みであります、我々命を受けてこの地に來りまするや元より生還を期して居りません、滿蒙問題解決のためには死力を盡して戰ふ決心であります、希くば皆樣御安心あらんことを」と流石に武人らしき感激を以て

心强 い挨拶があり、自らも眼がしらが熱くなる、期せずして發せられた萬歳の聲、更に小川市長の發聲で皇國の萬歳を三唱するかくて一部は直に市内所定の家に散宿した

國民の熱誠な 歡送迎に感謝

派遣部隊の輸送指揮官山本準一大佐をサロンに訪へば

門司を出港する迄内地各地に於て國民の熱心なる歡送迎を受けたが、船中でも船長以下の心からなるもてなしに預り、只感謝するばかりである、我々はもとより生還を期してゐない、船中に於ても絶えず戰闘準備を行つてきたし、上陸と同時に寸刻を待たず戰闘行爲に移る準備と決心をしてゐる

と言、簡にして而も溌剌たる氣魄を以て語つた

明朝八時に 上陸開始

二十八日入港の御用船平仁丸は午前九時入港の豫定であつたが午前六時入港同八時上陸開始することに變更した

吉長線の不安 更らに加る

昨夜から興隆店にて 討伐軍と賊團對峙中

二十四日孤店子驛を襲擊された吉長線では各驛の警備充實に力めてゐるも一方賊はその數を增加し益々猛威を揮はんとしてゐるが二十六日は百五十名餘の匪賊が夜九時半頃より興隆山驛を襲擊すべく同驛東北方十町餘の三家子部落を通過の際、同部落居住支那人自警團と衝突し激戰中、二十七日朝四時半まで七時間の戰闘を繼續したが双方とも頑强で賊はこれを占領する能はず長春より騎馬隊五十名及び沿線護路軍これが應援に向ひ賊も遂に驛の占領不可能になつたが午前九時なほ興隆山では討伐軍と賊と對峙中である、なほ吉長沿線には目下全線に亘つて匪賊の集結が夥だしいので長春附近も漸く不安の度が濃厚になつて來た【長春電話】

タブレット線を命の綱に 驛を枕に討死の覺悟

一時匪賊は五十米まで迫る

二十六日鳳凰城にて 島田特派員發

緊張しきつた鳳凰城驛に原口驛長以下驛員について當時の模樣を聞けば二十六日零時二十分頃鳳凰城驛東南方に當つて突然物凄い銃聲が聞こえたのでかねて匪賊の來襲を豫期してゐた驛では直に**非常警鐘を亂打して附近の邦人を驛地下室に避難せしめ** 同時に自警團は直に警官隊と力を合せて警戒配備についた間もなく二百米突餘に亘る散兵線を敷いた、賊は驛の後方より猛烈なる一齊射擊を開始したが時に零時四十分であつた敵の勢力は不明であるが、その砲聲よりみて侮り難い數であることが肯けたがこれに對して味方は五十餘名それに銃は四十餘挺あるのみである、味方の不利と知つた驛長は直に各方面に向つて應援を求めんとしたが周到なる、**賊は既に電話線は勿論電信線も切斷され殘るは僅に四臺子に通ずるタブレット線一つを殘すのみであつた、驛長はこの一線を命の綱として鷄冠山に應援を求め既に死を決し一同に驛を枕に討死する覺悟でおれと命じ自分一人驛内に止まつてタブレット線の連絡をなし四分、五分おき位に應援の急派を求め**た、この間驛を守つた自警團並びに警官隊は奮戰力闘四百名の敵と決死的な交戰を續け漸く敵に對し攻勢に出づることが出來たが一時は驛ホームを距る五十餘米まで迫つて居た、然し攻勢に出でたと云ふもののすでに彈藥はとぼしくなり應援の兵は來たらず依然悲觀すべき狀態にあつたが漸く午前二時二十五分鷄冠山の應援隊來り賊を完全に擊退し得たのであつた**この間約三時間餘驛員一同の奮闘は實に感激の外はない驛長の如きはタブレット線を枕に死を決して居た**とのことである

この賊團は鄧鐵梅の率ゆるものであるが、その一部隊八十名、劉玉田に率ゐられ張家堡子河の鐵橋に石油をかけて放火したものであるが、幸ひこれは大した被害を受けずに匪賊退却後直に修理する事が出來たのである

掃蕩を開始 今朝安奉線復舊

二十六日來安奉線各地に襲來した匪賊團はその後我守備隊の必死的活動によつてこれを南方山中に驅逐し安奉線は今朝來復舊した、なほ新に滿洲に增派された姫路〇〇聯隊の鳥取部隊と連山關駐屯獨立守備隊板津大隊は協力して今朝來鷄冠山、鳳凰城より南方山中に向つて附近一帶の匪賊掃蕩を開始した【奉天電話】

今朝また林家臺に 匪賊百名來襲

討伐隊が交戰し擊退

二十七日午前六時又復安奉線林家臺驛に百名の匪賊襲擊し來りわが討伐隊と四十分間大交戰の後これを擊退したが林家臺、通遠堡間の電柱四本倒されてあつた【奉天電話】

寫眞說明 上圖は甲埠頭廣場に集合するわが勇士、下圖は歡迎の辭を述べる小川大連市長

北滿の激戰に傷き あす内地へ歸る

還送兵八十六名來連る

朔風吹き荒ぶ北滿の果、チチハルにわが生命線を守つて轉戰、激戰に

敵彈 のため傷いた戰傷者二十名、零下三十餘度の極寒に晝夜を分たず奮戰し凍傷にかゝつた五十九名、極度の疲勞のため病に犯された七名の名譽の我勇士は鐵嶺、奉天、遼陽の各衛戍病院に收容手當を受けながら再び戰場に臨む喜びの日を待ちわびてゐたが、望みはゝかなくも絶たれ傷いた身を故郷に歸ることゝなり、二十七日午前六時四十五分着列車で小出二等軍醫以下戰友に護られ着連した、午前八時までには白衣の傷病兵八十六名は自動車で大江町關東軍衛戍病院に

收容 され、直に廣島衛戍病院から派遣された小竹、太田兩一等軍醫等の手で、繃帶の取替へその他手厚い治療をうけた、これより先大連聯合婦人會員は名譽の傷病兵を迎ふべく早朝から衛戍病院に詰めかけ、受付、炊事、接待等各役割を定め心からなる萬端の用意が整へられてゐた、やがて各病室に收容された兵士達の治療が終るや、婦人會員の手で蓄音機をかけるやら、茶菓の接待をするやら、娯樂雜誌の配給が行はれるなど、兵隊さんの目も

接待 する婦人會員の目にも互にあつくなるのを感ずるのであつた「唐人お吉」の蓄音機に聞き入つて子供に還る兵隊さん、キャラメルをしやぶり乍ら雜誌を讀むもの、故郷の親兄弟に歸還を報ぜる手紙を書くもの、あちこちの病室から賑やかな蓄音機のリズムが流れて今まで痛ましい空氣に包まれてゐた病院内は忽ち春のやうな和かな氣分に一變して終つた、しかし重傷者の一室をのぞけば敵彈のため一部を三分通り削られた痛々しい姿、手と足の指を

凍傷 のため十八本まで切斷されたといふ者、腕の肉は彈丸のため千切り取られ骨のみ殘つてゐるといふ者、聞くも戰慄を覺える重傷者は本を讀む力も、蓄音機を聞く氣力も失つて、たゞコンコンと眠りを續けるばかり、何と痛ましい限りではないか、たゞ感謝と同情の淚がこみ上げてくるばかりである、かくて正午十二時、在滿將士慰問のため右太プロから特派された女優大江美智子、駿井凌伎、冬木薫子の三孃が玉置、安田氏に伴はれて病傷兵お見舞のため自動車で駈つける、振袖姿に

美々 しく着飾つた三孃は各病室に傷ついた兵隊さんを訪れて心盡しの慰問袋と自分のブロマイドにサインしては兵隊さんに手渡しゝ「どうぞお大切に」と心から慰問して傷ける勇士を喜ばせた

なほ病傷兵八十六名は出迎へのため來連中の廣島騎兵第〇聯隊附小竹一等軍醫、陸軍運輸部附太田一等軍醫外十一名の看護兵に護られ廿八日午前十一時出帆の御用船で一路廣島に還る豫定である【寫眞は大江美智子一行のお見舞ひ】

警官殉職者に對し 祭祀料を下賜

州外勤務者には眞綿

關東廳發表＝二十六日拓務大臣より關東長官宛今般支那事變に際し關東廳警察官の殉職したる者に對し祭祀料を天皇、皇后兩陛下より御下賜と相成るべき旨宮内大臣より通牒ありたり同樣に支那事變地に勤務する關東廳警察官吏（州内勤務者を除く）に對し防寒用として眞綿を皇后皇太后兩陛下より御下賜相成りたることの通牒に接した

中谷警務局長謹話

右に對し中谷警務局長は謹んで語る「寔に皇恩無窮感激の至りに絶えぬ、部下警察官一同に思召を傳へ益々以て盡忠奉公の誠を至すことを誓ふ次第である」

各驛の家族 續々避難

鮮人も引揚げ

高麗門以南は匪賊の襲擊により驛員家族は二十六日午後八時着の列車で安東に避難して來たが十五家族約四十五名で、また午後九時着列車で四臺子より六家族十二名が同じく避難して來た、なほ鮮人も多數これに加はつて來た【安東電話】

亂石山附近の 支那部落掠奪

奉天を東北方に距る卅キロの亂石山の西北方十六キロの高石屯部落に廿六日夕約千名の匪賊が來襲し盛んに掠奪を行ひ更に滿鐵沿線に迫らんとする模樣あり目下警戒中【奉天電話】

支那部落火災

廿七日午前五時頃安奉線沙山驛を西方二邦里の地點に銃聲起り附近は火災中の模樣にて砂嶺南方四臺子部落に約七、八十名の匪賊來襲掠奪しつゝあり公太堡襲擊の一團の移動せるものと推定されてゐる【奉天電話】

驅逐隊旅順に 入港

第十六驅逐隊は二十七日午前八時旅順に入港、第十三驅逐隊早蕨、呉竹、若竹三隻は同九時入港東港に繫留、出雲は港外碇泊中尚午前八時港外入港豫定の航空母艦能登呂は豫定を變更旅島に向つた

民政黨慰問使

【東京廿七日發】民政黨の支那派遣帝國海軍の慰問使添田敬一郎氏ならびに高橋壽太郎氏は廿七日午後九時廿五分東京發西下し廿八日神戸出帆の長崎丸で渡支の豫定である

天氣豫報 二十八日

北の風曇但し驟雪模樣あり

各地溫度

	廿七日午前十一時 最(高)	二十六日 最低
大連	六、〇	零下 一、五
旅順	二、〇	同 二、〇
奉天	零下六、五	同 一三、三
營口	同 三、九	同 七、三
長春	同 一二、六	同 一四、九

武門血笑記（9）

下村悦夫作　工藤義正挿畫

深夜の刺客（三）

家中の者が、驚いて駈け付けた時には、既に闘ひの終つた時であつた。

太郎左衛門は、流石に荒い呼吸を肩でしながら、血刀を下げて、庭先に立つてゐた。

「旦那樣！」

と、追つ取刀で、眞先に駈け付けた、若黨の左平治が、息をはづませる。

「む、騒ぐな、曲者は仕止めた。明りを持て」

「お父上！」

娘のお梨花が、父親の無事な樣子に、ほつと安堵の胸を撫で下しながら、駈け寄つた。

「もうよい、もう濟んだ。女共は歸つて、休むがよい、いゝか騒ぐでないぞ」

太郎左衛門は、狼狽へ騒ぐ女達を遠ざけると、左平治と下男儀助に命じて、曲者の覆面を外さした。

「お、これはッ！」

「辻川ッ！」

左平治と儀助が、同時に聲を彈ませたのも無理はない。覆面の曲者は、今宵一夜の宿をしてゐた、辻川幸作と名乘る旅修業者、先程まで、太郎左衛門の酒の相手をしてゐた、かの武士であつた。

「ふむ、辻川ぢやッ……」

太郎左衛門も、思ひがけぬこの有樣に、ぢつと、幸作の死顏を眺めながら、暫くの間は、小首を傾けて、不審の態であつたが、軈て

「儀助、其方夜中御苦勞ぢやが、今から一走り、町奉行松田殿の御屋敷迄、此の始末を屆けて參れ、いゝか、叮重に、御取次の方に迄申上げて置けばよいのぢや、それから、左平治、曲者の死體は、そのまゝ、打捨て置け、いづれ明朝檢死の役人が見える事と思はれるから、それまでは、手を附けぬがいゝ、それよりも、その方一度邸内を、戸閉りをよく見廻つて置いてくれ」

太郎左衛門は、二人の者にこう命じて置くと、靜かに、自分の部屋に戻つて、血刀の始末をすると、腕を拱いたまゝ、ぢーツと深い沈思に墜ちた……。

（何故に、どうして、あの男が、何の目的で、俺の命を？……）

太郎左衛門の頭の中では、考へても考へても考へ及ばぬ、こうした疑問が、渚を打つ波のやうに、去來してゐた……。

織馬と、作樂が、太郎左衛門の屋敷を訪れたのは、丁度そうした時であつた。

「お、待つてゐた、さあ、ずつと進め、鷺木は？」

思ひもかけぬ出來事に、心を曇らせてゐた太郎左衛門の面は、二人の顏を見ると、救はれたやうに明くなつたが、ふと、一緒に來る筈の鷺木源之丞の姿が見えないのに、不審の態で、こう訊ねた。

「はあ、それに附きまして、深夜にも拘はらず、お伺ひしたのですが、只今、下の者から伺ひますれば、こちらにも何か御取込の樣子で……」

と、織馬が沈痛な顏を上げる。

「いや、こちらの事はもう濟んだが、話の樣子では、貴公達の方にも何か……」

と、太郎左衛門の氣掛りらしい催促に、二人の者は、今宵の經緯と、仕置場の樣子を、代る代る話をした。

見る見る太郎左衛門は、不安な面持になつた。

「ふむ……、無事でゐてくれゝばよいが喃……、兎に角、左平治に鷺木氏の屋敷まで、見にやる事にしやう」

と、この時、急に、雨戸の外で左平治の周章てた叫び聲が聞えた

「旦那樣ッ、旦那樣ッ、死骸が―曲者の死骸が見えませぬ」

「何ッ？」

太郎左衛門が顏色を更へて立ち上ると、續いて、織馬も作樂も、どかどかと縁側へ走り出た。

傷病兵慰問に大江一行赴奉

中央映畫館主南信次氏の招聘により傷病兵慰問の爲昨日來連した右太プロの大江美智子一行は廿七日別項の如く大連衛戍分院に傷病兵を見舞ひ更に旅順に赴いたが、明廿八日朝の急行で遼陽、奉天、鐵嶺子の傷病兵慰問のためサイン入りのブロマイド及び慰問袋を持つて北行、[illegible]日頃歸連の豫定である

噂話

きのふうらら丸で來連した大江美智子の一行丁度濱松飛行聯隊の地上班と同船し▲兵隊さん達にサイン入りのブロマイドを贈り更に河合ダンスの駒菊と共作した「唐人お吉」をレコードで聽かして船中大賑はひで兵隊さんを慰安した▲また將校とすつかり仲よくなつて飛行通となり、周水子へ行つて一度空の洗禮を受けなくてはと勇ましく頑張つてゐる

本社特選 新棋戰（其三）

平手香落交番　四段 △建部和歌夫　三段 ▲加藤富久

【圖は九六香迄の局面】

▲加藤氏「持駒」歩

△建部氏「持駒」歩

△	▲
四五銀	八六歩
同歩	九二飛
六五歩	九九香成
六四歩	八九成香

【土居八段講評】△建部君の四五銀は餘りに伸び過ぎて成功困難である。九三歩と打つて敵飛車の働きを妨げる方が良い。又急戰したいならば直ちに六五歩と突き出し烈しく指すのも一策である兎に角本局の四五銀は効果が薄い續いて六五歩は早い。一旦九三歩と打ち敵に取らせ然して六五歩と突き出す方以下七二角打あつて面白い。

河合映畫『女工』 河合映畫大連支社開設披露として廿八日午後六時半から協和會館で鑑賞試寫會を催し當夜の收入全部を同情週間に寄附する、會費は二十錢で切符はプレイガイドで前賣し當日協和會館入口で取扱ふ

冬を呼ぶ

▼▼▼冬よ來れ！ 野も山も街も邸も白銀の衾に蔽はれて、寒さと風と雪と闘ふ冬はわれらの心を清淨にし活氣づける。ふり仰ぐ山嶺の雪をいただく神々しさよ。見わたすかぎり純白の雪に蔽はれたスロープを快走するスキーの壯快さよ。冬を想ふとき、雪へのあこがれがまづ近代人の心をとらへる。肌を襲ふ風・雪・寒さもクラブ美身クリームに防ぎ止めて、冬のよろこびは更に幾十倍加する。若さを誇る活ける肌の麗しさよ。クラブ美身クリームを肌にして近代人は冬を呼ぶ！ 高く高く手をさしのべて、山のかなた、海のかなたの冬を早來よと呼ぶ…▲▲▲

冬の肌アレはどうして防ぐか

よいクリームは殺菌力をも持つてゐる

醫學博士 三内建治

抑々、皮膚は人の健康を表徴するものであつて、理想的健康状態に於いては上皮細胞の角化が完全であり、適度の皮脂分泌等があつて、其表面は常に新しき角質を以て被はれ、美しく滑澤にして柔かく彈力あり、以て外界の種々の刺戟に對して抵抗力を有して居るものである。

然るに 種々の原因によつて一度此皮膚が生理的状態に變調を來し詳しく言へば上皮角質不全乃至叙上の發汗乃至皮脂分泌が障礙せられ皮膚表面の其分泌減退し皮膚表面の粗糙となつた場合には吾人の皮膚表面に附着する細菌數は著しく增加する。

皮膚の性質と細菌數の關係

汗の少い皮膚粗糙で皮脂の少い人	三〇六〇〇
汗の多い皮膚粗糙で皮脂の少い人	一五三〇〇
汗の多い皮膚滑澤で皮脂の多い人	一四一〇〇
汗の少い皮膚滑澤で皮脂の多い人	七〇〇〇

(一、〇平方糎)

而して 斯の如き皮膚の表面に附着する細菌の中には化膿性葡萄狀球菌或は連鎖狀球菌其他色々の恐るべき病原菌の潜在して居るのを見る。之れ、保健衛生上重大なる意義あるものと言はなければならない。何となれば皮膚の表面の粗糙(皮膚の荒れ)なる場合は或は全身の抵抗力が減衰せる時であり、或は皮膚夫れ自身の榮養障礙があつて皮膚が脆弱であつて容易に種々の機械的障害に對して損傷し易く萬一あやまれば容易にこの創面より病原菌が侵入すべく局所の皮膚の化膿等はもとより、時に全身の疾患を惹起するを促進するものである。

皮膚の表面の粗糙なるを放任するは斯の如く危險がある。故に最も注意すべきである。況んや荒れ肌は特に美容上多くの人の嫌惡するものであるに於てをやである。

優良クリームの皮膚に對する衛生學的效果

今、一般に使用せらるる化粧用のクリームに就て考ふるにその目的とするや種々ありと雖も粗糙なる皮膚に對して之れを恢復せしめ乃至之れを防護するにあるが主なるものである。勿論粗糙なる皮膚に對する處置も醫治的には種々あるべし、然しながら吾人の日常家庭に於て最も容易に手に入り得べきは化粧用のクリームである。故に保健乃至美容上叙上の如く危險多き皮膚の粗糙が之れによりて十分に防護し得るや否やは重要なる意義あるものである。

余輩はクラブ美身クリームが如何に荒れたる皮膚に效果を齎すやを實驗的に研究した。即ち荒れたる人間の皮膚に就て豫め肉眼的に觀察し又之れを寫眞に撮影し又皮膚細菌數を測定し置き、夫れより之れに一定時日の間クラブ美身クリームを使用せしめ再び上記の檢査をなし此の前後兩回に於ける結果を比較考察したのである。此の成績によると種々の荒れたる皮膚へクラブ美身クリームの應用によつて其の粗糙に荒れたる表面を滑澤とし細菌數の上にも著しき減少を齎すものであることを確認し得た。

叙上によつて見るもクラブ美身クリームは美容上は固より言ふ迄もなく一般保健上にも極めて有意義のものといふ事が出來よう。(抄錄)

街の灯

◆◆ロード・ランプにパッと灯が入ると街は一齊に活氣づく。とりどりのポスターや氣の早いクリスマス・デコレーションの中にクラブデーの幟旗がヒラヒラと風になびくのも懐しい街頭風景だ。

◆◆茶柄の銘仙、毛斯綸の帶、眞白な足袋、赤い鼻緒の黒塗利久を履いて桃割れに結つた娘さんがお買物の歸り、手にした風呂敷包からクラブデーの福引景品がのぞいてゐる。

◆◆眞黒な毛皮の外套、その裾からチラチラのぞく絹の靴下、ペーヴメントに鳴るハイヒールのカンガルー靴の朗らかな響きよ。頰につけたオレンヂ色のクラブ頰紅と唇につけた濃紅色のクラブ口紅からピチピチ活きた若さが躍動する。

◆◆7時8時……時とともに街の雜沓はだんだん度を加へてゆく。家族連れで買物に來たらしい人が、とある化粧店から出て來た。手に手に紙包みを下げて微笑ましげに語り合つてゐる。「お父さん、到頭蛙等を當てたのね。プラトン萬年筆よ」「うん、上手だらう」話題はどれもクラブデーの福引景品のことらしい。ラヂオがソプラノの獨唱を送つてゐる。

ウインター・スポーツと化・粧・を・語・る

出席者 桂珠子さん 光喜三子さん 入江たか子さん 高津慶子さん 川崎弘子さん 司會記者

記者「皆様お忙しいところを、お集り願ひましてありがたう御座いました。けふは一つ冬のスポーツとお化粧と云つた樣なことをお話し願ひたいと思ひまして……」

桂「あら、冬のスポーツとお化粧つてずゐ分かはつたコントラストね」

記者「ところが案外さうでもないんぢやありませんか」

光「さうかもしれないわ。冬のスポーツつて云へばさしつめラグビー全盛時代つてことになるわけですわね、今年はA大がガゼン押へてしまつたけれど、實際ラグビーつて見てゐてとても一生懸命にされてしまふものですわね」

入江「えゝ、あのシュアーなタックルや、ドリブルで敵のバックを拔いたりした時なんか……思はず聲をたてゝしまひますわ」

高津「ほんとにガッチリとした新時代のスポーツつて感じがいつぱいですわね」

光「それではけふのお話は新時代のスポーツ精神を反映するお化粧つていふことになりますわね」

桂「さうすると勿論個性的なもので、それにスピードアップなものでなければならないと思ふわ」

高津「それから手間が少くて最も效果的であるといふこと……」

入江「といふと私の愛用してゐる化粧料はその條件にピッタリしてゐるわけだわ」

川崎「それは、何ですの?」

入江「クラブビシン……」

桂「あゝ、あれね。せい〳〵一分もあればお化粧が出來て活き活きとしたツヤがあつて……」

光「洋裝の場合なんかクラブビシンの肌色にクラブほゝ紅のオレンヂ色を刷くとそれだけでもう若々しい明るいお化粧が出來上つてしまひますわ、口紅もクラブの淡紅色のを少しつよ目につけると、とても魅惑的な唇の美が強調されます」

高津「でも私は何だかアレ性なので、クリームを使はないと、化粧が心配ですのよ。殊にあの壯快なスキーに行く時なんか、冷い風やそれに雪焼けつてこともありますしね。いつもクラブ美身クリームを少し多量につけてクラブ固白粉を使ひますの」

川崎「私もいつもクリームを下地に使つてますの。クラブ美身クリームをね。それからやはりクラブの肌色水白粉を薄目に溶いて二度か三度重ねてゐります。ほゝ紅はクラブのローズ色のを……」

光「さう。冬は温味を出すために、桃色や肌色の白粉を使ふのは賢い方法だと思ひますわ」

桂「えゝ、それに和裝の場合なら少し濃目にお化粧するのも冬枯れの周圍に花やかな色彩を引きたゝせて實に鮮麗な美しさだと思ひますわ。私は少し濃化粧の場合にはクラブ煉白粉、肌色を、襟にはエリ用のクラブ固煉白粉を使つてゐますの」

入江「下地はクラブのつぼみ?」

桂「えゝ、白粉がよく落ちつきますから」

記者「さうすると、この冬のお化粧は勿論十分に個性的であるべきこと、温かい感じを現すこと、幾分濃い目に鮮やかにつくるといふこと等が大切な點といふことになるのですね。いや、どうもいろいろありがたう御座いました。ではこれ位で――」

映畫"曙の歌"スナップ・ショット

新興キネマでは加藤武雄氏原作にかかる「曙の歌」を映畫化し非常な好評を博してゐるがその撮影中、最近大阪ビルのクラブ化粧品小賣部にもロケーションを行つた。

この映畫には新興キネマが誇るスター高津慶子さん、山路ふみ子さん、近松里子さん、桂珠子さんなどオール・スターキャストであるがこれ等のスターが舉つてクラブ化粧品の熱心な愛用者であるのも面白い。

(寫眞はその時のスナップショット。向つて右後向きは近松里子さん、左の洋裝は桂珠子さん)

化粧の歌

鏡さかる朝の庭に妹とむつみ使へるクラブ齒磨 和歌山縣 清水莉英

湯上りの温まりたるわが肌にほのかに匂ふカテイ石鹸 大分縣 加藤かじ子

みぞれ降る邦大路を友と行けば美身クリームの匂ひほのかなり 金澤市 岡本みゝを

すがすがし秋の空にも似たるかなクラブビシンのつけ心地よさ 廣島縣 河内良子

クラブ香油の匂ひこぼるる朝の髮にわが黒髮を愛でつつぞゐる 鹿島縣 江口満和子

(化粧の歌・詩等を募る。宛名大阪市北區堂ビル中山文化研究所宣傳部。用紙葉書。「新聞名」記入のこと。當籤の分薄謝。)